

## 東京スクーリング(4月期)第1期開講科目一覧

講座コード	講座名	担当教員	開講 単位数	充当 科目 コード	科目名	併用	配当 学年	備考
DCA1	総合科目	根岸 良征	2	B101S0	総合科目Ⅰ	×	1年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
				B102S0	総合科目Ⅱ			
				B103S0	総合科目Ⅲ			
				B104S0	総合科目Ⅳ			
				B105S0	総合科目Ⅴ			
				B106S0	総合科目Ⅵ			
DCA2	英語 M	桑山 啓子	1	C10100	英語Ⅰ		1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語Ⅱ			
				C10300	英語Ⅲ		2年	
				C10400	英語Ⅳ			
DCA3	税法	黒川 功	2	K31500	税法		2年	
DCA4	英語学特殊講義	山岡 洋	2	N311S0	英語学特殊講義	×	2年	
DCA5	史学概論	古川 隆久	2	Q30100	史学概論		2年	
DCA6	観光事業論	村上 和夫	2	S32000	観光事業論		2年	
DCA7	教育の方法・技術論 B	古賀 徹	2	T21700	教育の方法・技術論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。



# 講座内容（シラバス）

## 〔総合科目〕

根岸 良征

◆**授業概要** 最初のコンピュータから現代のパソコンまでの変遷を通して、コンピュータの仕組み、インターネットの仕組みを講義する。また、近年対策が強く求められている情報セキュリティの基礎知識を講義する。IT 企業における IT 基礎教育の実務経験、IT システムの開発、運用経験を踏まえて、近年の実務的な動向を取り入れた講義を行う。

◆**学修到達目標** ・情報技術について基礎的な知識を習得し、パソコンを有意義に利用できるようになる。  
・メディア授業を受講するためにはどのような機器を用意すればよいのかを自らで情報収集でき、判断できる。  
・情報セキュリティの基本とその対策について理解し、実践することができる。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

講義映像を視聴し、配布した資料中に講義内容をまとめる。各回の講義は、講義映像の視聴が 45 ～ 60 分、講義内容を配付資料中にまとめる作業が 30 ～ 40 分である。また、講義視聴後にミニテストに解答する。講義によっては、パソコンを操作してケーススタディをする場合がある。対面授業は、オンデマンド講義を受講済みであることを前提に進めるので、対面授業前に、5 回分全てを受講しておくこと。

#### ・対面授業

講義とともにワークを行い、事例を通して理解を深める。また、インターネットを利用して自らで情報を収集して、ワーク課題を作成する。教科書は講義で利用するので必ず持参すること。参考書に示した文献は受講前に目を通しておくことが好ましい。

◆**履修条件** 特になし。

◆**教科書** 丸沼『情報セキュリティ読本「IT 時代の危機管理入門」』五訂版 情報処理推進機構（IPA）著 実教出版（ISBN978-4407347753） 612 円

◆**参考書** その他 ネットワークビギナーのための情報セキュリティハンドブック  
<https://www.nisc.go.jp/security-site/handbook/index.html>

◆**成績評価基準** 授業への参加度（各回の小課題の評価）による評価が 40%、最終課題の内容による評価が 60%。  
なお、最終課題は最終試験の位置づけとする。最終課題を提出しない場合には成績評価をつけない。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

### ◆授業計画

#### ・オンデマンド

授業内容	① 計算機の開発、電話網の開発とコンピュータ、計算機から情報処理装置への変遷 ② 電卓開発とマイクロコンピュータの登場、パソコンの登場 ③ パソコンのハードウェア（CPU、メモリ、補助記憶装置、入出力）の種類と役割 ④ ソフトウェアの種類と役割、OS の役割 ⑤ Windows の基本操作（ファイルの取り扱い）
事前学修	① 計算する道具はいつの時代から存在していたのかを調べる。ホストコンピュータとはなにかを調べる。 ② 真空管、トランジスタ、リレーについて、役割を中心に調べる。1980 年ごろのパソコンについて、どのようなメーカーが、どのような機器を販売していたのかを調べる。 ③ 自宅で利用しているパソコンのスペック（仕様）を調べる。 ④ 自分で利用しているパソコンやスマートホンの OS の名称を調べる。日頃利用しているアプリケーションソフトをまとめる。 ⑤ パソコンの基本的な操作（キーボード、マウス操作など）を習得しておく。
事後学修	① 授業で指示したワークを行う。講義と資料の内容を年表でまとめる。 ② 電卓の開発競争でなにが起きたのかをまとめる。パソコンの普及のきっかけをまとめる。 ③ パソコンのハードウェアの種類と役割をノートに整理する。様々なメーカーのパソコンのカタログを見て、スペック（仕様）を比較する。 ④ OS とアプリケーションの違いをわかりやすくノードにまとめる。 ⑤ 自分の PC に保存してあるファイルを整理する。ファイルの圧縮・展開を独力でできるように練習する。

#### ・対面授業

1 日目	授業内容	① コンピュータにおける情報表現、データの種類 ② データサイズの計算、情報圧縮 ③ インターネットの開発史とインターネットの仕組み ④ 情報セキュリティとは何か ⑤ 様々な脅威：コンピュータウイルス、標的型攻撃
2 日目	授業内容	① スマートホンのセキュリティ、情報家電（IoT）のセキュリティ ② ウイルス対策、ウイルス対策ソフトウェアの導入と運用 ③ 不正アクセス対策、パーソナルファイアウォールの導入と運用 ④ 情報セキュリティ関連法規、関連組織 ⑤ 最終試験（講義内容についてのレポートを作成する）
	事前学修	・教科書第 1 章、第 2 章、第 3 章を通読し、キーワードを拾い上げる。 ・参考書として指定した Web サイトの冊子を通読し、キーワードを拾い上げる。 ・最近発生した情報セキュリティ事件をウェブサイトや新聞で調べる。 ・自分で今現在行っている情報セキュリティ対策をまとめる。
	事後学修	・授業中に配布したプリントを完成させる。 ・最新の標的型攻撃についてウェブサイトですべて事例を調べる。 ・市販されているウイルス対策ソフトの特徴を調べる。

# 講座内容 (シラバス)

〔英語〕

桑山 啓子

◆**授業概要** グローバル化に伴い世界が狭くなり、海外に行く機会が多くなっている。現在海外でコミュニケーションを取るのに必要な言語は英語である。そのため基本的な英語力を養成すると同時に、英語を通して英語圏の文化を学ぶ。

◆**学修到達目標** リーディング、リスニングの力をアップさせるために単語、熟語の量を増やし、辞書を使わずに英文を読むことが出来たり音声を聴いて話の内容を理解できる。

## ◆授業方法

### ・オンデマンド

最初の5回はオンデマンドで授業を行うので動画と課題を配信する。この5回分の授業では動画を視聴してから課題に取り組んで提出する。1回の動画ではテキストの中心となるストーリー、英文の重要な点を解説して、dictation部分の解答、Exercisesの解答と解説を行う。テキストのEpisode 1つを2回分の授業で読んでいく。動画を視聴した後で、Google classroomに出してある課題に取り組んで提出する。この課題の答えと解説は次回の動画で解説をする。課題等の受け渡しは全てオンラインでGoogle classroomで行うので、課題は必ず期限内に提出すること。

### ・対面授業

土・日と2日間の対面授業で6～14回の授業を行う。進め方は対面でも基本的にオンデマンドとあまり変わらないようにするが、ストーリーの内容やExercisesの答えを学生が発表して、教師が解説したり説明を補足する。最終時に1時間使用して試験を行う。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 丸沼 『「プレントン青春白書」一学園ドラマで学ぶ総合英語』上村淳子著 センゲージラーニング

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 対面授業最終日の最後の1時間で試験を行う。(50%) 課題は全てGoogle classroomに掲載された課題は全て提出すること。(30%) そして対面授業の時に一人1回ずつテキストの英文について和訳や解説などの発表をしてもらう。(20%) オンデマンド授業と対面授業の両方に全て出席していることを前提として評価する。オンデマンド授業では動画の視聴と課題の期限内の提出で出席とする。

◆**授業相談 (連絡先)**：質問や連絡はメールでお願いします。メールアドレスは Kuwayama.keiko2020@nihon-u.ac.jp です。またはGoogle classroomのコメントで対応します。

メールは1日1回は確認する予定ですが、他大学、他学部の授業の合間にメールを確認するため時間指定が出来ません。時間がかかることもありますが、必ず返信はしますのでお待ちください。

## ◆授業計画

### ・オンデマンド

授業内容	(第1回) ガイダンス：授業に関する説明と諸注意 / Episode 1 : A big day (pp.12 - 15) (第2回) Episode 1 : A big day (pp.16 - 17) / Episode 2 : Ash (pp.18 - 19) (第3回) Episode 2 : Ash (pp.20 - 23) / Episode 3 : A Bad Day (pp.24 - 25) (第4回) Episode 3 : A Bad Day (pp.26 - 29) (第5回) Episode 3 : A Bad Day (pp.28 - 29) / Episode 4 : Episode 4: A Lie (pp.30 - 33)
事前学修	Episodeの前半は単語と文法の確認のExercisesとListening、後半はReadingの問題を解きながら話を読み進めていく。その回の動画を視聴する前に、テキストの単語と文法の確認のExercisesの問題を解く。わからない語は辞書で調べる。Listeningはテキストの音声を聴きながら穴埋めしたり、質問に答える。Exercisesの答えを準備しておく。
事後学修	動画を視聴しながら予め準備した答えがあっているかどうかを確認して、ストーリーの内容をまとめる。わからなかった単語、英文等を復習する。

### ・対面授業

1日目	授業内容	(午前) ① Episode 4 : Episode 4: A Lie (pp.34 - 35) ② Episode 5 : A Talk (pp.36 - 39) (午後) ③ Episode 5 : A Talk (pp.40 - 41) ④ Episode 6 : An accident (pp.42 - 45) ⑤復習
2日目	授業内容	(午前) ① Episode 6 : An accident (pp.45 - 47) ② Episode 7 : Mom Visits (pp.48 - 51) (午後) ③ Episode 7 : Mom Visits (pp.52 - 53) ④復習及び試験勉強 ⑤試験
	事前学修	対面授業で読むEpisode 4～7を予め準備しておく。単語、文法の問題を解いて、Listeningは音声を聴いて質問に答え、穴埋め問題は英文に語(句)を書く。教室で答えやエピソードの内容を訊かれても大丈夫なように準備をする。
	事後学修	教室で解答と解説を聴いて、解答が間違えているところを重点的に復習する。その後でListening、Reading全体を見直して、エピソードの内容を確認する。

## ◆授業概要

昨今、我が国の税制は、経済の多様化とグローバル化により、めまぐるしく変化していません。この変化は、毎年の税制改正として現れ、我々納税義務者を取りまく環境は絶えず変化し、複雑化しています。ただ、税法の基礎理論や納税者の権利は、いかに経済社会が複雑化しようとも変化することはありません。そこで、本講義では、我が国が抱える税法問題を考え、税法の基礎理論を学習していきます。

## ◆学修到達目標

税法に関する具体的問題を考えながら、税法の基礎理論の修得を目指します。つまり、我が国が抱える税法の問題を理解した上で、問題の解決にどのようにアプローチできるのかを考えます。そこで、講義においては、各人が税法に関する問題を理解し、判断できるだけの基本的知識および考え方の修得を目指します。

## ◆授業方法

## ・オンデマンド

授業動画は、各論点ごとに分割して作成しております。まず、教材の該当箇所を通読し、授業動画を視聴してください。その後、教材の該当箇所を精読して知識の定着を図ること。わからない部分があった場合には、該当箇所の動画を重点的に視聴し、わからない用語やイメージがわきずらいところは文献やインターネット等で調査をしてください。それでもわからない箇所が生じた場合には、内容をまとめて対面授業の際に質問をしてください。

## ・対面授業

対面授業は、オンデマンド授業で提示された動画をすべて視聴した上で臨んでください。対面授業は、原則講義形式で進行します。受講前には、授業計画に従い、教材の該当箇所の事前に通読した上で講義を受けるようにしてください。

## ◆履修条件

なし

## ◆成績評価基準

成績の評価は、授業の最後に行う論述試験（80%）、これに平常点（20%）を加味します。なお、平常点は、リアクションペーパーが評価対象です。論述試験については、テキスト・自筆のノート・配布資料の持ち込みを許可します。当然、電子機器等の持ち込みは認められません。

## ◆教科書

市販本 『税法学原論 第8版』 黒川 功 北野 弘久 勁草書房

## ◆参考書

市販本 『納税者の権利』 北野弘久（岩波新書、1981年）

市販本 『現代税法入門塾』 石村耕治編（清文社、第10版、2020年4月刊行予定）

市販本 『租税判例百選』 中里実ほか編（有斐閣、第6版、2016年）

## ◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイダンス・発展する現代社会と税法学の接点 我が国の税財政の課題を確認し、我が国が抱える税法問題を考える。</li> <li>・ 国際的租税回避と我が国の税制 国境をまたぐインターネット上の取引が台頭してきた経済と我が国の税制と課税取扱いの問題を考察する。・8. アメリカの経済と経営</li> <li>・ 税法学の特質－税法学と隣接法学との関係および法認識論と法実践論の異同－ 税法と隣接する近接する法領域すなわち行政法や民法ひいては財政学との関係を考察することにより、税法学の多角的検討の必要性を学ぶ。</li> <li>・ 「租税」の法的概念（1）理論的背景 我が国の基本的税法に「租税」を定義した規定は存在しない。そこで、「租税」の従来の定義と日本国憲法下における定義とに分け、「租税」の特質について検討する。</li> <li>・ 「租税」の法的概念（2）事例研究 「租税」の定義に関わる裁判例を確認し、その定義づけの重要性を考察する。</li> </ul>
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シラバスを読む</li> <li>・ 教科書の（とその内容に関連した参考書）を読み、自身の考えをまとめる。※授業では扱いませんが、導入として「1. 序章 アメリカ研究を始めよう」を読んでおいてください。</li> <li>・ 課題に取り組み、提出する</li> </ul>
事 後 学 修	<p>学習した内容を復習し、自身の考えをまとめる。</p>



## ◆授業概要

日本の英語教育においては、従来より「5文型」が文構造理解の基本とされてきた。最近では5文型偏重の傾向は少なくなっているが、それはあくまでも、学習指導要領の改訂によるところがおおいが、この講義では、5文型がどのようなものであるのかという基本から説明を始め、5文型を十分に理解した上で、5文型の功罪について考えていく。

## ◆学修到達目標

英語の文構造を理解していく上で、日本の英語教育で伝統的に活用されてきた5文型の基本を理解しながら、その5文型のどこに利点があり、どこに問題があるかを理解できるようになることを目標とする。その上で、5文型の欠点を補うべく提案されている7文型を理解し、さらにその7文型の問題点もどこにあるかを理解できるようにする。

## ◆授業方法

## ・オンデマンド

動詞や文型に関する動画第11章と第12章（それぞれ自己点検を含む）を見て、理解度チェック4を解く。同時に、教科書のPart 1のIntroduction・第1章・第2章を熟読し、文型や補部に関する理解を深める。教材（自己点検を含む）は19日（月）午前0時より25日（日）の23時59分まで。理解度チェックは19日（月）午前0時より21日（金）の23時59分までとする。

## ・対面授業

原則として、教員側からの講義の形式で行っていく。但し、教員側からできるだけ頻りに学生側に対して疑問を投げ掛け、極力「双方向的な」授業にしていく。質問は、授業中でもしてもらいたい。素朴な質問は、質問者本人だけでなく、他の受講生、ひいては担当教員のためにもなることが多い。

## ◆履修条件

特になし。過去に同じ教員の文型の授業を受けたとしても試験などは別のものになるため再度の受講も可。

## ◆成績評価基準

“授業参加度：10%（対面授業半日欠席につき5点減点）

理解度チェック4：10%（自己点検は評価対象外）

最終試験：80%（教科書・参考図書・ノート・電子辞書持ち込み可）”

## ◆教科書

市販本 山岡洋（2014）『新英文法概説』 開拓社。

## ◆参考書

市販本 江川泰一郎（1991）『英文法解説』 金子書房。

市販本 綿貫陽・宮川幸久・須貝猛敏・高松尚弘・マークピーターセン（2001）『ロイヤル英文法』 改訂新版，旺文社。

市販本 中邑光男・山岡憲史・柏野健次（2017）『ジーニアス総合英語』 大修館。

市販本 安藤貞雄（2008）『英語の文型—文型がわかれば、英語がわかる』 開拓社

市販本 安井稔（1996）『英文法総覧』 改訂版，開拓社。

## ◆授業相談先（連絡先）

yamaoka.hiroshi2020@nihon-u.ac.jp



◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	第 11 章「動詞 (1)」(自己点検を含む) 第 12 章「動詞 (2)」(自己点検を含む) 理解度チェック 4
事 前 学 修	教科書『新英文法概説』Part 1 の Introduction および第 1 章を熟読し、 文型に関する理解を深める。
事 後 学 修	参考図書のうち 1-2 冊の中の、特に動詞および文型の箇所を熟読し、 できるだけ対面授業の時に質問できるようにいくつかの質問を用意しておく。

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	午前中に、金曜日までに学んだ 5 文型・7 文型・補部などの総復習を行う。 午後は実際の英文を使って文型の見分け方や、文型には分類できない文な どを分析する。
2 日 目	授 業 内 容	午前中は前日の午後に引き続き実際に英文の分析を行い、午後は最終試験 と最終試験の解説を行う。
事 前 学 修		参考図書のうち 1-2 冊の中の、特に動詞および文型の箇所を熟読し、 できるだけ対面授業の時に質問できるようにいくつかの質問を用意しておく。
事 後 学 修		様々な英文を読みながら、講座の中で学んだ文型のどれに当てはまるかを 実践演習し、質問がある場合には email で質問をする。

# 講座内容（シラバス）

## 〔史学概論〕

古川 隆久

- ◆**授業概要** 歴史学とはどういう学問か？歴史は何の役にも立たないという人もいるが本当か？大河ドラマや司馬遼太郎の小説は歴史を学ぶ手段になるのか？歴史学とは何かについて、様々な観点からの議論を通して考えていく。
- ◆**学修到達目標** 授業計画に示した14の問いについて考えたり議論することを通して、歴史学の対象、方法、学問史、歴史認識についての問題の所在、歴史学や歴史の社会的役割を知り、歴史学とはどのような学問なのか、人類社会に対しどのような役割を担っているのかについて説明できるようにする。
- ◆**授業方法**
  - ・オンデマンド  
「歴史」や「史料」など基本的な用語の意味、「史料批判」という手順の意味、研究の段取りなどについて学ぶことを通して、歴史学について理解し、考えるのに必要な基礎的な概念や方法論を学ぶ。
  - ・対面授業  
オンデマンド部分で学んだ知識をふまえ、できるだけ教室での議論も交えつつ、歴史学の学問や社会における意味や役割について多角的に考え、歴史学という学問の特性について考える。
- ◆**履修条件** 積み重ねを不可とはしないが、史学概論という科目の特性上、扱う事例は異なっても、全体の趣旨は前年度と同じであることに留意されたい。
- ◆**教科書** **資料配布 (Classroom)** 1回ごとに課題作成に必要な材料を掲載したプリントを配布する（1回目、6回目、7回目、14回目は課題の指示のみ、15回目は試験のため課題なし）
- ◆**参考書** 丸沼『歴史学ってなんだ？』小田中直樹 PHP新書 2004年（通信教育教材、教材コード000574と同じもの）
- ◆**成績評価基準** 事前課題と授業についての感想や質問のレポート（14回分）30%、授業参画度（6回目～14回目の自発的な発言の度合い）20%、試験（電子機器以外持ち込み自由、論述形式）50%。すべて出席していることを前提として評価する（オンデマンド授業の部分については、課題の提出が出席を兼ねる）。
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上で行う

### ◆授業計画

#### ・オンデマンド

授業内容	1. 歴史・史料の語義は何か？ 重要な用語の意味を確認する。 2. 史料批判の意味とは？ 歴史学で最も重要な段取りについて理解する。 3. 歴史を研究する段取りとは？ 研究のやり方について理解する。 4. 近代歴史学はどのようにして生まれたか？ 歴史学のあり方を考えるために歴史学が生まれるまでについての歴史を理解する。 5. 歴史学はどう変化してきたか？ 歴史学の今のあり方を理解するために史学史を振り返る。
事前学修	それぞれ、1回目は指示した方法で、2回目～5回目は配布プリントをもとに、回ごとに指示する事前課題を（100字程度）を用意して授業に臨む。
事後学修	オンデマンド授業を受けての感想や質問（合計100字程度）を事前課題に追記して提出する。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	6. 史料館・文書館の意義とは？ ネットで史料館・文書館HPを調べてきた結果をもとに、史料館・文書館の存在意義について考える。 7. 史跡はどう残したらよいか？ 研究の史料となるだけでなく様々な役割をもつ史跡の残し方を考える。 8. 歴史の真実はわかるか？ 歴史哲学の最重要問題について、いくつかの説を題材に考える。 9. 歴史学でしかできないことは何か？ 学問の世界の中での歴史学の位置づけについて考える。 10. 義務教育で歴史を学ぶはなぜか？ 歴史教育の意味について考える。
2日目	授業内容	11. 歴史小説で歴史を学べるか？ 歴史学とその他の歴史叙述の方法との関係について考える。 12. 大河ドラマと歴史学の関係とは？ 歴史学の社会的役割について、娯楽との関係から考える。 13. 偏った歴史観を見破る方法とは？ 歴史学の社会的役割について、歴史観の問題から考える。 14. 歴史学とはどのような学問か？ 授業のまとめとして、歴史学という学問の形と存在意義について考える。 15. 試験 電子機器以外持ち込み可の論述試験。
	事前学修	毎回、配布プリント等に指示した方法で事前課題（100字程度、討論時の発言の材料となる）を用意して授業に臨む。
	事後学修	授業を受けての感想や質問（1コマにつき合計100字程度）を事前課題に追記して提出する。提出は1日目分、2日目分をそれぞれまとめて指定の締め切りまでに提出する。

## ◆授業概要

観光客を誘致し、人々の移動交流によるサービス生産の発展と文化理解を促進するのが「観光事業」である。地域政策であると同時にビジネスや市民の生活創造活動でもある。本授業では、観光事業を理解するための基礎知識を学び、観光の動向を踏まえながら観光地や旅行を活かして生活を創造する課題を学ぶ。担当者の研究経歴と地域計画の実務経験を活かし事例を用いた授業を行う。

## ◆学修到達目標

「楽しみのための旅行」が個人の生活を充実させる効果と過程を理解し、観光移動や観光地における観光の創出の意義について学ぶ。その上で観光関連産業の核であるサービスが、製造業も含めて現在の産業を主導する仕組みを学ぶ。インターネットの普及によるコトの伝播がサービスやモノの流通に与える影響について観光を事例に学ぶ。そして、グローバルな世界における観光の意義を学ぶ。

## ◆授業方法

## ・オンデマンド

観光事業に関する基礎知識を中心に授業する。扱った概念や事例を基礎に対面授業を組み立てるので、十分に理解しておくこと。大切なことは、観光事業者と観光者で性格が変化することに注意すること。特に観光者として学ぶ場面で、「楽しむこと」「遊ぶこと」「消費すること」に偏見を持たず学ぶこと。リアクションペーパーを課すことがある。

## ・対面授業

もっぱら講義の形式で実施する。

## ◆履修条件

なし

## ◆成績評価基準

試験（80%）、リアクションペーパー（20%）

## ◆教科書

講義資料を対面授業にて配布

## ◆参考書

市販本 『新現代観光総論』、前田勇編著、学文社、2019

市販本 『観光再生』、村山慶輔、プレジデント社、2020

市販本 『生活者モード戦略』、佐藤智施・大倉幸祐、日経 BP マーケティング、2020

市販本 『ひとり空間の都市論』、南後由和、筑摩書房、2018

## ◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上で行う

◆授業計画  
・オンデマンド

授 業 内 容	<p>1回： 観光事業を理解するための基礎概念を学ぶ ①観光の概念と使用方法（観光の概念と統計）、②観光の効果と諸制度、③観光と情報、④観光資源と観光地、について学ぶ。</p> <p>2回： 観光者の理解と動向について学ぶ ①労働と余暇の概念・諸外国との比較、②業務旅行と観光旅行の違い、③“観光のパラダイム”の変遷、④学校教育と旅行、について学ぶ</p> <p>3回： 地域振興と観光事業の関係を概論的に学ぶ ①地域経済における観光産業の役割と施策、②観光事業の構成と主体、③「観光まちづくり」の考え方、④消費者であるはずの旅行者が創る観光の新しい楽しさ、④持続可能な観光（SDGs）、⑤レスポンシブル・ツーリズム、について学ぶ</p> <p>4回： 観光関連産業の広がりを学ぶ ①伝統的な観光産業（旅行業・交通業・宿泊業・飲食業・物販）②メディアと情報プラットフォーム、③「サービス」の概念と産業の関係、「共創」の理解、④オンライン・ツアー、について学ぶ</p> <p>5回： 観光と「地域ブランド」ならびに「デザイン思考」の関係を学ぶ ①「地域ブランド」の概念、②「デザイン思考」による観光地づくりとDMOの役割、③「生活者モード」の概念と観光の創造、④観光産業における「ジェントリフィケーション」と「リバースイノベーション」、について学ぶ</p>
事 前 学 修	<p>1回には事前学習は必要ない。2回以降について授業シラバスにあるキーワードを軸に、インターネットや新聞あるいは書籍など各種のメディアを通じて情報を集め理解する。その上で、関心を持って受講する事が好ましい。</p>
事 後 学 修	<p>1回は、事後学習を通じて、観光の概念とその背景にある考え方を振り返り、しっかり確認すること。ことに、日本では「働くことは良いこと、遊ぶことは悪いこと」のように考えられる事が多く、家庭の子育てでも学校教育でもそれが規範的に用いられる傾向がある。しかし、遊ぶ時間、人と交流する時間に豊かな価値が作られている現実を振り返り、それが「サービス」を通じて理念的な資源として働いている現状を理解する事を忘れてはならない。2回以降も概念の理解と視点の転換に注意し、日常生活における振り返りを怠らないようにしよう。</p>

・ 対面授業

1  日  目	授 業 内 容	<p>“対面授業の1日めのテーマは、「社会のデジタル化と観光事業」である。</p> <p>① まず、日本社会における地方の高齢化や人口減少そして労働力の不足などによる「住民主導」の限界ならびに「観光まちづくり」の限界について検討し、地域振興を進める主体へのエンゲージメントの考え方について学ぶ。</p> <p>② 社会のデジタル化によるメディアの力関係の変化と観光のパラダイム創り広める主体の変化について学ぶ。</p> <p>③④ (⑤) 観光産業における OTA の広がりならびに DX 化の流れ、ブランドと観光のパラダイム、「コト」の消費と物語志向のサービスの構築、オーセンティックを求める動きと観光事業などについて、課題と方向を学ぶ。</p> <p>⑤ 以上を推進する場合の「デジタル化と観光教育」の課題を学ぶ。”</p>
2  日  目	授 業 内 容	<p>“2日目のテーマは、1日目を踏まえ、「観光地の課題と対応策」について事例を踏まえつつ検討する。</p> <p>① デジタル化が進む中で、各観光地は「オンライン上のポジショニング」と、実際の観光事業や観光者との共創状況の拡大の可能性などを比較しながら、自らの将来のポジショニングを理解しなければならない。その考え方について学ぶ。</p> <p>②③ 観光事業のステークホルダは、自治体の観光振興担当と DMO などの地域の事業主体のほかに、多様な広がりを持つようになる。その場合、それらの組織や個人を含めデザイン思考で観光事業を展開する必要がある。その考え方について学ぶ。</p> <p>④⑤ 観光事業を支えるベースラインの更新について学ぶ。最後に、さらに本来は労働であるワーケーションの取り込みについても議論する。”</p>
事  前  学  修		<p>“① 日本社会における地方の高齢化・少子化・人口減少・労働力不足などについて予め、関連記事や文献、動画などで理解しておく。</p> <p>② テレビやインターネットによる観光のパラダイム創りについて、実際の番組などから理解しておく。</p> <p>③ 観光地における、観光協会、旅館組合などの関係者の団体の活動、DMO の活動について調べておく。</p> <p>④ コロナ禍で各観光地は感染防止ガイドラインを定めたが、その経緯と内容を調べておく。”</p>
事  後  学  修		<p>“観光産業におけるデジタル化の流れについて、OTA の現状を確認する。また、SNS の各サイトで、適当な観光地名を入力して、検索される画像や動画そしてツイートなどを閲覧し、テレビの旅行番組との差を確認しようやくしてみる。二日目の授業後に、観光事業を支えるベースラインの更新について具体的に考えてみる。感染防止ガイドラインの他にどのようなベースライン向上の可能性はあるか考えてみる。</p> <p>オンデマンドの授業と併せて学んだ事柄を整理する。”</p>

# 講座内容（シラバス）

## 〔教育の方法・技術論〕

古賀 徹

◆**授業概要** この授業は、教員としての授業実践力を修得することを目的としています。授業が成り立つ条件を理解するために、先ず歴史や諸外国の実践例を学ぶことから始めます。次には「読む・書く・きく・話す」等の技能を伸ばすための技術・指導法を学び、実際に活用できるレベルへ高めていく。カリキュラム構成の基礎を身につけ、指導計画をデザインできるようになるまでがゴールです。ICT活用の学習形態についても考え深めていきます。

◆**学修到達目標** 学修者は次の事項について理解を深め、技能・指導技術を身につけることができる。①教授法の歴史の変遷を理解する。②ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」等の最新の学習概念を理解する。③アクティブ・ラーニング形式の学習について理解し、実践するアイデアを出す。④カリキュラム構成の基礎を身につけ、学習目標に沿って学習内容・活動を展開するイメージをまとめることができる。⑤ICT活用やeラーニング等の学習形態について、その課題や可能性も含めて把握することができる。⑥教育評価の方法を身につける。①から⑥の知識・技能を身につけ、授業やカリキュラムをデザインすることができる。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

オンデマンド教材を視聴し、Google classroom上の設題に取り組む。とくに対面授業のための「反転授業」としての役割を意識して、教材を作成する。

#### ・対面授業

講義形式に加えて、ワークショップ形式、グループワーク、ロールプレイなどアクティブ・ラーニング型の方式をできるだけとりいれたい。しかし「対面授業」開講すら制限される現状であるので、大学の教育環境の支援の状況次第とする。能動的学習の形式としては、通常であれば、単純グループワーク（バズ学習）、ジグソー法、シミュレーション学習、プロジェクト学習、完全修得学習、模擬授業と相互評価、ウェビングを予定しているが、学修環境に関する「大学」の支援が十分ではない場合、これらは他の方法に置き換える。

◆**履修条件** なし

◆**教科書**

◆**参考書**

◆**成績評価基準** この授業の評価は、授業への参加（オンライン学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行わない。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom上にて行う

### ◆授業計画

#### ・オンデマンド

授業内容	①「教育方法」とは何か？ 動画教材でこの授業全体の流れを説明する。また新学習指導要領に記載される「学習」観（学力観）を理解する。 ②「教育方法」理論の歴史の変遷（西洋教育史）。 ③日本における近代教育の受容（教育方法・内容をどのように受容してきたのか）。 ④新しい「学習」概念としてのヴィゴツキー理論（発達の最近接領域）を理解する。 ⑤授業形態を個別化に対応させるバズ学習、ティーム・ティーチング等の方法論。 ※以上の5つのテーマについて考える。Google classroom上での課題の提出とともに、全体の傾向をまとめて（教員から）告知していく。
事前学修	*事前学修は、授業動画それぞれの内容に対応している。  ①シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておく。 ②③これまで、自分が受けてきた学校教育の授業（授業の内容・方法）を整理しておく。どのぐらいの種類に分けることができるか、その教員の意図（ねらい）がどこにあったと思うかメモを作成する。 ④「アクティブ・ラーニング」についてwebで文献をについて検索し、その情報を見ておく。 ⑤自分がどのような授業を行いたいのか、イメージを固めておく。文章で表現できるように考えておく。
事後学修	新学習指導要領の「ねらい」を中心に、アクティブ・ラーニングやヴィゴツキー理論、そしてPISA型学力など国際的な潮流まで理解し、これから必要とされる方法論や技術がどのようなものか説明文を記すことのできるようになる。そのために学修内容ごとに自分で知識や理論をまとめておく。設題（課題提出）の活動により、その自身の考え（教育方法の理論）を確実なものとしていくよう努力する。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	「考える力」（思考力・判断力・表現力）とは何か。①問題解決学習と系統学習（総合的な学習の実践をすすめる教員の努力）。②4技能（言語と思考）とマインドマップ。③集団教育でマッピングを活用する（KJ法等も）。④「カリキュラム」の構成方法を理解する。⑤本日のまとめ。
2日目	授業内容	授業の構想から実践、そして活用と応用の可能性まで。①「読書の時間」の10分間模擬授業。②学習指導案の作成方法。③国際的な動向を理解する。④教育評価からデザインする授業。⑤全体のまとめ。教育方法論上の課題をまとめる。
	事前学修	一日目のためには、オンデマンド授業で説明した学習指導要領の「3つの柱」を理解し、自分の授業をどのような展開で行うかイメージしておくこと。学習指導案作成に関する参考文献類を入手し読んでおくこと（さらに）よくわかるようになる。二日目には事前には知らせる資料に目を通しておくこと。そして学習指導案をフォーマットにあわせて（試しに）書いてみる。学修効果をあげるために事前の自主的な取り組みをおすすめする。
	事後学修	一日目の対面授業で「新しい学習方法」への取り組み方、実践に取り組んできた教師の努力について考えていただいた。さらにはマッピングへの挑戦をしていただいた。それを「駆使できるようになる」レベルで練習を続けること。さらには授業作りの本質について説明している。それらを習得して自らの「授業づくり」に生かしていくこと（継続した練習）が望まれる。二日目には授業づくりの発展の可能性を追求していく。自身の授業をさらに洗練されたものとするように磨き上げていく活動を継続していただきたい。

**◆授業概要**

法哲学とは、法（法解釈学）を対象として、全体的、根源的に考察するものとされる。今回の講義は、法哲学のひとつの研究領域である法的思考（法解釈学方法論）を対象として、それがどのような思考方法であるかを、いくつかの具体的事例を取り上げて解説しようとする。

**◆学修到達目標**

- ①法的思考の構造を理解し、説明することができる。
- ②法的思考における法の種類を理解し、説明することができる。
- ③様々な法解釈の方法の特徴と機能を、およびその相互関係を理解し、説明することができる。
- ④法的決定を導くときの理由づけ（推論）の構造を理解し、説明することができる。”

**◆授業方法****・オンデマンド**

授業資料は内容に沿って分割し、番号を付している。まずは全体を順に視聴すること。一度の視聴では分からなかった内容の動画は重点的に繰り返し視聴すること。なお、動画の中には課題が含まれてる場合がある。

**・対面授業**

オンデマンド授業で提示された動画は必ず視聴していること。対面授業では、基本的に動画の内容を皆さんで議論して行く。

**◆履修条件**

特になし

**◆成績評価基準**

オンデマンド授業で出される課題は評価対象であるのですべて提出すること（全体の50%）  
対面授業では、各日の最後の時間に実施する授業内レポートが評価対象となる（全体の50%）。  
オンデマンド授業、対面授業において総合的に評価する。すべて出席をしていることを前提として評価する（オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねる）。

**◆教科書**

特になし。レジュメを配布する。

**◆参考書**

丸沼 『法哲学』 平野仁彦・亀本洋・服部高宏 有斐閣アルマ 2002

**◆授業相談先（連絡先）**

Classroom 上にて行う

## ◆授業計画

## ・オンデマンド

授 業 内 容	(1) 法的三段論法を理解 (2) 法源の定義とその種類 (3) 法解釈の方法 [文理解釈・拡張解釈・縮小解釈・勿論解釈・目的論的解釈等] (4) 結論の妥当性 [法的確実性・具体的妥当性]
事 前 学 修	各回の動画を視聴し、その内容を整理する。
事 後 学 修	整理した各回の動画内容の分からない点を調べる。

## ・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	提示された具体的事例で様々は解釈方法を議論する。
2 日 目	授 業 内 容	提示された具体的事例で様々は解釈方法を議論する。
事 前 学 修		幾つかの具体的事例を検討しておく。
事 後 学 修		



# 講座内容（シラバス）

## 〔行政学〕

岩井 義和

- ◆**授業概要** 「行政国家」という用語が今日広く流通しているように、三権分立を原則とする現代国家においても、例外なく「行政」の占める比重は「立法」や「司法」を凌駕するに至っている。しかしながら他の二権に比べると、「行政」という領域は漠としてイメージしづらいものがある。この講義では、主権者としての「国民」と「行政」の関係性を基礎に据え、理論、歴史、過程の各分析を通して、「行政」の全体像について具体的な理解を促していく。
- ◆**学修到達目標** 行政活動は、我々の生活に密着したものであり、大きな影響をもつものである。しかしながら行政に関して、その活動領域などを明確化することは難しい。実際に行政とはとの間に多くの人は、市役所などを思い出す。学説でも、「行政とは国家がすべき仕事のうち、立法・司法の仕事を除いたもの」と言われることがある。そこで本講義では、一人ひとりが行政に関心を持ち、行政関するニュースなどを理解し、市民としての自覚をもち、現代行政の在り方について考える力をもつことを目標とし、主権者として必要な能力を身につけておくために、行政学に関する基礎的知識を修得する。その知識をもとに現代社会の解決すべき諸課題に積極的に関わり、その解決方法を見つけ主体的に行動できるようために、必要な能力を修得する。
- ◆**授業方法**
  - ・**オンデマンド**  
講義動画は各講義内容にそって分割されています。まず、スライドに書かれていることをノートに書き、その後動画視聴を行い解説をさらにノートに書くようにしてください。一度の視聴では分からなかった内容は繰り返して視聴してください。それでも不明な点についての質問は、随時受け付けます。尚、必ず事前事後学修をするようにしてください。
  - ・**対面授業**  
講義形式により行う。教科書とノートを持参してください。受講状況を見ながら小テストやレポートなどの授業内課題を課し、その講評を加えることもありうる。尚、必ず事前事後学修をするようにしてください。
- ◆**履修条件** 条件は特にありません。
- ◆**教科書** 丸沼『Next 教科書シリーズ 行政学第2版』外山 公美編 弘文堂 2016年
- ◆**参考書** 丸沼『行政学』西尾 勝 有斐閣 2001年
- ◆**成績評価基準** 講義内容の理解を学年末試験で判定し（試験 60%）、授業進行によって授業中に指摘したポイントが身に付いているかを判断する授業内レポート（30%）、授業への参加度（10%）を総合評価で判定。
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画**
  - ・**オンデマンド**

授業内容	第1回：ガイダンス、行政とは何か…授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法を紹介しつつ、国民生活と行政の関連や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。 第2回：公共性の実現主体を考える…行政活動を検討し、行政サービスの範囲拡大要因を考察する。 第3回：行政活動の発展…行政活動と国家の役割の役割と課題を検討する。 第4回：近代国家と行政…近代国家の特質を見つつ、行政と国家・国民の関係、ならびに行政の役割と課題について学修する。 第5回：資本主義社会の発展と行政…現代行政への発展過程について歴史的に学修する。
事前学修	第1回：シラバスを確認するとともに、教科書の目次を見て、市民生活と行政活動について調べておくこと。 第2回：指定した教科書の部分を必ず読み、公共性の実現主体と行政活動の範囲を検討しておくこと。 第3回：指定した教科書の部分を必ず読み、公行政の特質について検討しておくこと。 第4回：指定した教科書の部分を必ず読み、現代行政が国民のために存在する意義を検討しておくこと。 第5回：指定した教科書の部分を必ず読み、現代国家に必要な不可欠な体制を整えるために発展した、行政について検討しておくこと。
事後学修	第1回：自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、行政活動について理解を深めること。 第2回：教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、特に社会背景と行政の役割、公共性について理解を深めること。 第3回：教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、国家の役割変化と行政活動の変化について理解を深めること。 第4回：教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、次につづく行政国家との違いを考えるため、立法国家の理解を深めること。 第5回：教科書の部分と、自分で書いた講義内容のノートを照らし合わせて、行政活動の活発化について理解を深めること。

### ・対面授業

1日目	授業内容	第6回：大衆社会の出現と行政…社会背景変化の中で求められてきた行政活動の変化を学修する。 第7回：職能国家への転換と福祉国家への道…行政活動の変化を検討する。 第8回：福祉国家と行政国家…行政国家を中心にその課題などを学修する。 第9回：アメリカ行政学と政府機能拡大…アメリカの社会背景変化の中で、求められてきた行政活動と行政理論の変化を学修する。 第10回：行政活動の範囲…行政組織に求められた役割と、財政などの問題を関連させつつ行政活動と行政改革を検討する。
2日目	授業内容	第11回：日本の官僚制…日本の官僚の地位の変化について学習する。 第12回：制度改革と官僚…行政の透明性向上と官僚について検討をしていく。 第13回：科学的管理法と行政…テラーによる作業過程の改善と行政の合理性について学習する。 第14回：行政管理の必要性…行政組織に求められた役割と関連させつつ、行政管理を検討する。 第15回：行政における公共性と価値…行政活動における、価値基準について学修する。
	事前学修	第6回～第10回：これまでのノートを見つつ、現代行政と過去の行政について、特に行政活動と公共性の考え方について、その変化を行政理論と照らし合わせて見ておくように。 第7回～第15回：中央政府の組織を見つつ、その内部構成である官僚のメカニズムについて検討しておくこと。
	事後学修	第6回～第15回：教科書と自分のノートを参照し、講義全体の流れを確認し、特に行政活動やそれを担う行政組織・公務員についてまとめ、期末試験に向けての準備をする。

**◆授業概要**

辞書および、注編や翻訳本（両方とも参考書の欄を参照のこと）にあたり、初回授業までにテキスト（プリント）を丹念に読み、教科書を読んでおくようにして下さい。受講者のみなさんには下記の授業計画に沿って分担で、和訳、音読、作品解釈をしていただきますので、そのつもりで準備をしてきて下さい。初回授業でグループ分けをし、グループごとに発表をしていただきます。

**◆学修到達目標**

イギリス 19 世紀末を代表するオスカー・ワイルドの童話作品を味わいながら、作者の生涯及びこの時代の背景や思潮についての知識を習得することが目標です。さらに、作者ワイルドが追求したく美>が授業で取り上げた作品の中でどのような形で表れているのか、自分の意見を述べられるような分析力・批評力を身につけることを目標とします。

**◆授業方法****・オンデマンド**

オスカー・ワイルドの生涯とイギリス 19 世紀末の社会や文学の背景、童話作品の内容について講義と課題を通して学ぶ。

**・対面授業**

オスカー・ワイルドの童話を原文で味わい、翻訳、作品解釈、発表と批評文のまとめをしていただきます。基本的には授業内容に沿ってテキストの和訳、音読、作品解釈を行います。その上で、グループ発表、フロアとの議論を展開していただきます。受講者の状況により学習内容の通りに進まないこともありますので、ご留意下さい。

**◆履修条件**

なし

**◆成績評価基準**

授業への取り組み、積極性（30%）、テスト付課題（30%）筆記試験（40%）で評価します。

**◆教科書**

事前配布プリント

**◆参考書**

『オスカー・ワイルドの曖昧性』鈴木ふさ子 開文社 2005 年

**◆授業相談先（連絡先）**

Google Classroom のストリームでご質問下さい。

## ◆授業計画

## ・オンデマンド

授 業 内 容	ガイダンス（授業の進め方・成績評価の方法の確認） イギリスの19世紀末についてプリントを用いて解説 オスカー・ワイルドについてプリントを用いて解説 オスカー・ワイルドの作品についてプリントを用いて解説 19世紀の童話とワイルドの童話について解説 ”The Happy Prince”と”The Selfish Giant”について解説
事 前 学 修	作品が書かれた19世紀末、オスカー・ワイルドについて参考文献などで調べる。授業で扱う作品を辞書を引き、翻訳しておく。
事 後 学 修	オスカー・ワイルドについて授業で学んだことをノート等で見返して復習をする。課題を行う。

## ・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	” “The Nightingale and the Rose” と ”The Young King” を味わう（指名された方々に音読・翻訳・作品解釈・大意を述べていただきます。）グループ発表準備（グループごとに分かれ、作品について議論をし、発表の手順などの打ち合わせを行う。）
2 日 目	授 業 内 容	” The Fisherman and His Soul” を味わう（氏名された方々に音読・翻訳・作品解釈・大意を述べていただきます）。グループ発表準備（グループごとに分かれ、作品について議論をし、発表の手順などの打ち合わせを行います。） と発表
事 前 学 修		辞書を引いて各作品を丹念に読み、訳と大意のどちらを聞かれても答えられるように準備をする。
事 後 学 修		学習内容をまとめ、理解を深めておく。他の受講者の意見を踏まえ各作品についての考えをまとめる。

# 講座内容（シラバス）

## 〔哲学演習〕

小山 英一

- ◆**授業概要** マルティン・ハイデガーの著書『存在と時間』は哲学を学ぶ者としてぜひ読んでおきたい著作である。『存在と時間』は現代哲学、現代思想の出発点であり、源流でもある。その思想は、自分の日常的なあり方とその乗り越えを考える上で、さらに自分の人生と死を考える上でも重要である。ハイデガーの独特で、難解な用語・概念を乗り越えながら理解していこう。
- ◆**学習到達目標** 現代哲学、現代思想の一つの大きな思潮であるハイデガーの考え方（『存在と時間』）の基本を理解し、それを自身の内に取り込み、哲学的な思考をする際の道具の一つとすることができる。  
ハイデガーの用語・概念を使って、自分のあり方、自分ともの（世界）との関係、自分の日常とその超克、他者のあり方、自分と他者の関係を深く考えることができるようになる。
- ◆**授業方法**
  - ・**オンデマンド**  
オンデマンド授業は、Google Classroom とマイクロソフト社の PowerPoint（+音声、動画）を使っておこなう。  
そのために是非 PowerPoint を用意していただきたい。  
テキストの指定箇所とその内容についての課題（小テスト等）を出す。  
注意：ハイデガーは難しいので、それに慣れるため、前年度の範囲でオンデマンド授業をおこなう。
  - ・**対面授業**  
対面授業は演習形式でおこなう。  
オンデマンド授業で出来なかったところから始める。  
演習参加者は、前に出て、順番に（学籍番号順に）、教科書・テキストの指定箇所を読んで、説明し、自分の意見を発表し、他の参加者との交流（意見交換したり、感想をきいたり、疑問点を確認し合ったり）をとることになる。  
・担当箇所については、「担当箇所を適宜音読 → 説明・解説 → 自分の意見の発表 → 自分が司会となって全体での意見の交換（上記のように）の流れ」を想定して学習するように。  
・難しいと思っても、精一杯挑戦してみるように。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**教科書** 丸沼『存在と時間（一）』ハイデガー著（熊野純彦訳）岩波文庫（33-651-1）、岩波書店、2013  
丸沼『哲学』石浜弘道編 Next 教科書シリーズ 弘文堂 170 頁下から7行目～175 頁上から10 行目  
これは通信教育教材です。オンデマンド授業で使用します。
- ◆**参考書** 丸沼『存在と時間（二）～（四）』ハイデガー著（熊野純彦訳）岩波文庫（33-651-2, 3, 4）、岩波書店  
丸沼『ハイデガー哲学入門——『存在と時間』を読む』仲正昌樹 講談社現代新書  
丸沼『ハイデガー『存在と時間』入門』轟孝夫 講談社現代新書  
丸沼『文学部唯野教授・最終講義 誰にでもわかるハイデガー』筒井康隆 河出書房新社
- ◆**成績評価基準**
  - ・オンデマンド授業での質問・課題等の提出で、30%
  - ・対面授業での、発表内容で70%
  - ・オンデマンド授業の状況や対面授業の状況によって比率が変わる場合がある。
  - ・内容をきちんと把握しているかを確認するため試験をおこなう予定である。
  - ・成績は総合的に100%になるように配慮する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom 上にておこなう。
- ◆**授業計画**
  - ・**オンデマンド**

授業内容	注：（ ）は回数です。「-1」は授業内容です。「-2」は事前学修です。「-3」は事後学修です。
	(1) -1：プリントによるハイデガー思想の概要の解説
	(2) -1：『哲学』による「ハイデガーの近代批判と現象学的存在論」の解説
	(3) -1：『存在と時間』の1, 2（67頁～70頁、以下同じ）の読解
	(4) -1：『存在と時間』の3, 4, 5の読解
	(5) -1：『存在と時間』の6, 7の読解
	(6) -1：『存在と時間』の8, 9, 10の読解
	(7) -1：『存在と時間』の11, 12の読解
	(8) -1：『存在と時間』の13, 14の読解
	(9) -1：『存在と時間』の15, 16の読解
	(10) -1：『存在と時間』の17, 18の読解
	(11) -1：『存在と時間』の19, 20, 21の読解
	(12) -1：『存在と時間』の22の読解
	(13) -1：『存在と時間』の23, 24の読解
	(14) -1：『存在と時間』の25, 26の読解
	(15) -1：『存在と時間』の27, 28の読解
	(16) -1：『存在と時間』の29, 30, 31の読解
	(17) -1：『存在と時間』の32, 33, 34の読解
	(18) -1：『存在と時間』の35, 36の読解
	(19) -1：『存在と時間』の37, 38, 39の読解
	(20) -1：『存在と時間』の40, 41の読解
	(21) -1：『存在と時間』の42の読解
	(22) -1：『存在と時間』の43, 44の読解
	(23) -1：『存在と時間』の45, 46の読解
	(24) -1：『存在と時間』の47, 48, 49, 50の読解
	(25) -1：『存在と時間』の51, 52の読解
	(26) -1：『存在と時間』の53, 54, 55の読解
	(27) -1：『存在と時間』の56, 57, 58の読解
(28) -1：『存在と時間』の59, 60の読解	

事前学修	<p>(1) -2: プリントを読んでおくこと。  (2) -2: 『哲学』の「ハイデガーの近代批判と現象学的存在論」を読んでおくこと。  事前学修として、授業の内容に合わせて、まとめながら読んでおくこと。  (3) -2: 『存在と時間』の1, 2 (67頁～70頁, 以下同じ)  (4) -2: 『存在と時間』の3, 4, 5  (5) -2: 『存在と時間』の6, 7  (6) -2: 『存在と時間』の8, 9, 10  (7) -2: 『存在と時間』の11, 12  (8) -2: 『存在と時間』の13, 14  (9) -2: 『存在と時間』の15, 16  (10) -2: 『存在と時間』の17, 18  (11) -2: 『存在と時間』の19, 20, 21  (12) -2: 『存在と時間』の22  (13) -2: 『存在と時間』の23, 24  (14) -2: 『存在と時間』の25, 26  (15) -2: 『存在と時間』の27, 28  (16) -2: 『存在と時間』の29, 30, 31  (17) -2: 『存在と時間』の32, 33, 34  (18) -2: 『存在と時間』の35, 36  (19) -2: 『存在と時間』の37, 38, 39  (20) -2: 『存在と時間』の40, 41  (21) -2: 『存在と時間』の42  (22) -2: 『存在と時間』の43, 44  (23) -2: 『存在と時間』の45, 46  (24) -2: 『存在と時間』の47, 48, 49, 50  (25) -2: 『存在と時間』の51, 52  (26) -2: 『存在と時間』の53, 54, 55  (27) -2: 『存在と時間』の56, 57, 58  (28) -2: 『存在と時間』の59, 60</p>
事後学修	<p>(1) -3: プリント  (2) -3: 『哲学』の「ハイデガーの近代批判と現象学的存在論」  事後学修として、授業の内容に合わせて、内容を整理しておくこと。自分の見解、考えをまとめておくこと。  (3) -3: 『存在と時間』の1, 2 (67頁～70頁, 以下同じ)  (4) -3: 『存在と時間』の3, 4, 5  (5) -3: 『存在と時間』の6, 7  (6) -3: 『存在と時間』の8, 9, 10  (7) -3: 『存在と時間』の11, 12  (8) -3: 『存在と時間』の13, 14  (9) -3: 『存在と時間』の15, 16  (10) -3: 『存在と時間』の17, 18  (11) -3: 『存在と時間』の19, 20, 21  (12) -3: 『存在と時間』の22  (13) -3: 『存在と時間』の23, 24  (14) -3: 『存在と時間』の25, 26  (15) -3: 『存在と時間』の27, 28  (16) -3: 『存在と時間』の29, 30, 31  (17) -3: 『存在と時間』の32, 33, 34  (18) -3: 『存在と時間』の35, 36  (19) -3: 『存在と時間』の37, 38, 39  (20) -3: 『存在と時間』の40, 41  (21) -3: 『存在と時間』の42  (22) -3: 『存在と時間』の43, 44  (23) -3: 『存在と時間』の45, 46  (24) -3: 『存在と時間』の47, 48, 49, 50  (25) -3: 『存在と時間』の51, 52  (26) -3: 『存在と時間』の53, 54, 55  (27) -3: 『存在と時間』の56, 57, 58  (28) -3: 『存在と時間』の59, 60</p>

・対面授業

1日目	<p>授業内容</p> <p>対面授業ではオンデマンド授業で出来なかったところから始める。以下は予定である。  (29) -1: 『存在と時間』の61, 62, 63 (148頁～152頁1行目, 以下同じ) についての発表と意見交換と解説  (30) -1: 『存在と時間』の64, 65 についての (学生による) 発表と意見交換と (小山による) 解説  (31) -1: 『存在と時間』の66, 67 についての (学生による) 発表と意見交換と (小山による) 解説  (32) -1: 『存在と時間』の68, 69 についての (学生による) 発表と意見交換と (小山による) 解説  (33) -1: 『存在と時間』の70, 71 についての (学生による) 発表と意見交換と (小山による) 解説  (34) -1: 『存在と時間』の72, 73 についての (学生による) 発表と意見交換と (小山による) 解説  (34) -1: 『存在と時間』の74, 75, 76 についての (学生による) 発表と意見交換と (小山による) 解説  (36) -1: 『存在と時間』の77, 78 についての (学生による) 発表と意見交換と (小山による) 解説  (37) -1: 『存在と時間』の79, 80 についての (学生による) 発表と意見交換と (小山による) 解説  (38) -1: 『存在と時間』の81, 82, 83 についての (学生による) 発表と意見交換と (小山による) 解説  (39) -1: 『存在と時間』の84 についての (学生による) 発表と意見交換と (小山による) 読解</p>
-----	--

2日目	授業内容	<p>(40) -1:『存在と時間』の85, 86 についての(学生による)発表と意見交換と(小山による)読解  (41) -1:『存在と時間』の87, 88, 89 についての(学生による)発表と意見交換と(小山による)読解  (42) -1:『存在と時間』の90, 91, 92 についての(学生による)発表と意見交換と(小山による)読解  (43) -1:『存在と時間』の93, 94, 95 についての(学生による)発表と意見交換と(小山による)読解  (44) -1:『存在と時間』の96, 97 についての(学生による)発表と意見交換と(小山による)読解  (45) -1:『存在と時間』の98, 99, 100, 101 についての(学生による)発表と意見交換と(小山による)読解  (46) -1:『存在と時間』の102, 103 についての(学生による)発表と意見交換と(小山による)読解  (47) -1:『存在と時間』の104, 105, 106, 107 についての(学生による)発表と意見交換と(小山による)読解  (48) -1:『存在と時間』の108, 109, 110 についての(学生による)発表と意見交換と(小山による)読解  (49) -1:『存在と時間』の114, 115, 116, 117 についての(学生による)発表と意見交換と(小山による)読解</p>
	事前学修	<p>事前学修として、授業の内容に合わせて、まとめながら読んでおくこと。  (29) -2:『存在と時間』の61, 62, 63 (148頁～152頁1行目, 以下同じ)  (30) -2:『存在と時間』の64, 65  (31) -2:『存在と時間』の66, 67  (32) -2:『存在と時間』の68, 69  (33) -2:『存在と時間』の70, 71  (34) -2:『存在と時間』の72, 73  (34) -2:『存在と時間』の74, 75, 76  (36) -2:『存在と時間』の77, 78  (37) -2:『存在と時間』の79, 80  (38) -2:『存在と時間』の81, 82, 83  (39) -2:『存在と時間』の84  (40) -2:『存在と時間』の85, 86  (41) -2:『存在と時間』の87, 88, 89  (42) -2:『存在と時間』の90, 91, 92  (43) -2:『存在と時間』の93, 94, 95  (44) -2:『存在と時間』の96, 97  (45) -2:『存在と時間』の98, 99, 100, 101  (46) -2:『存在と時間』の102, 103  (47) -2:『存在と時間』の104, 105, 106, 107  (48) -2:『存在と時間』の108, 109, 110  (49) -2:『存在と時間』の114, 115, 116, 117</p>
	事後学修	<p>事後学修として、授業内容に合わせて、内容を整理しておくこと。自分の見解、考えをまとめておくこと。  (29) -3:『存在と時間』の61, 62, 63 (148頁～152頁1行目, 以下同じ)  (30) -3:『存在と時間』の64, 65  (31) -3:『存在と時間』の66, 67  (32) -3:『存在と時間』の68, 69  (33) -3:『存在と時間』の70, 71  (34) -3:『存在と時間』の72, 73  (34) -3:『存在と時間』の74, 75, 76  (36) -3:『存在と時間』の77, 78  (37) -3:『存在と時間』の79, 80  (38) -3:『存在と時間』の81, 82, 83  (39) -3:『存在と時間』の84  (40) -3:『存在と時間』の85, 86  (41) -3:『存在と時間』の87, 88, 89  (42) -3:『存在と時間』の90, 91, 92  (43) -3:『存在と時間』の93, 94, 95  (44) -3:『存在と時間』の96, 97  (45) -3:『存在と時間』の98, 99, 100, 101  (46) -3:『存在と時間』の102, 103  (47) -3:『存在と時間』の104, 105, 106, 107  (48) -3:『存在と時間』の108, 109, 110  (49) -3:『存在と時間』の114, 115, 116, 117</p>



# 講座内容（シラバス）

## 〔考古学入門〕

山本 孝文

◆**授業概要** 考古学はどのような学問かを知るための基礎的な講義を行う。  
歴史学の一分野として扱われることもあり、独立した学問分野としても発展してきた考古学の研究の歴史を理解し、考古学がどのように歴史復元に貢献できるかを解説する。  
概論的な内容は最小限にとどめ、学問としての方法論・理論を学ぶ。

◆**学修到達目標** 考古学の研究領域や研究方法の基礎を理解し、歴史学研究における考古学の役割が説明できる。  
考古学の研究法を学び、物質文化から歴史にアプローチする方法を身に着ける。  
考古学の調査法（発掘調査・室内調査・報告書刊行）の内容と手順を理解し、文化財行政の役割や研究との関わりが説明できる。

### ◆**授業方法**

#### ・オンデマンド

オンデマンド授業では、ガイダンスから考古学とはどのような学問か、考古学の調査とは何かまでの内容をパワーポイント利用の映像視聴を通じた講義形式で行う。各回の授業からいくつかを選んでまとめペーパーを作成し、提出する。

#### ・対面授業

後半の対面授業では、パワーポイントを用いた講義形式で考古学の研究対象資料から考古学における年代論までを解説する。  
オンデマンド授業の段階で提示した課題を提出する。

◆**履修条件** なし

◆**教科書**

◆**参考書** 〔丸〕 鈴木公雄『考古学入門』東京大学出版会 1988年

◆**成績評価基準** 居住地の考古系博物館・資料館および遺跡を調査する授業内レポート（20%）、授業参画度（30%）、最終試験方式の課題（50%）  
授業参画度は視聴の割合や授業内容に対する質問など全体から判断する。

◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom 内で随時受け付ける。

### ◆**授業計画**

#### ・オンデマンド

授業内容	ガイダンス、考古学とは —イメージと実際 今回の授業の進め方と修得すべき知識・目標を明示する。 考古学とはどのような学問か、歴史学（文献史学）との違いは何かについて説明する。 考古学の研究対象と目的 —何を研究するのか 考古学において主に研究する素材について、具体的な資料を挙げながら説明する。 様々な考古学研究の種類 考古学研究の様々な分野や、他の諸学文分野との関りについて解説する。 考古学の歴史 考古学的関心の歴史、考古学が近代学問として成立したバックグラウンドときっかけについて説明する。 考古学の調査とは何か 考古学研究の資料収集法ともいえる重要な部分を占める発掘調査や出土遺物の整理・報告について説明する。 パワーポイント動画は1回につき平均2ファイルに分けて配信する。コラム的な内容を含め、考古学への関心を持てる内容にする。
事前学修	それぞれの回に共通して以下の事前学習を各自で行っておくこと。 ・考古学に対するイメージを考えておく。日本史の教科書の原始部分を読み返しておく。 ・身近にある現代の「モノ」の姿を観察し、考古資料との違いについて考えてみる。 ・身近にある現代の「モノ」の姿を観察し、数百年後に残るものと残らないものの差を考えてみる。 ・民俗・民族学、環境学の概念について調べておく。 ・身近で行われている発掘調査について、市町村のホームページなどを通じて調べておく。
事後学修	それぞれの回に共通して以下の事後学習を各自で行うこと。 ・授業の内容をノートに整理し、読み直して理解できるようにする。 ・考古学に関連する入門書にどのようなものがあるか調べ、該当部分を読んでみる。 ・設定された課題の調査を行う。（第5回）

#### ・対面授業

1日目	授業内容	・考古資料として残っているものの特性 遺跡から出土する遺物の素材・環境・条件を解説し、それぞれの特性によって残存状況に差が出ることを解説する。 ・考古資料の機能と用途 考古資料の用途を類推する方法について紹介する。 ・考古学による時期区分 考古資料はどのように歴史を区分する材料になるのか、その名称と実態の乖離について理解を促す。
2日目	授業内容	・考古学における年代論 ①様々な年代の種類 相対年代・絶対年代・理化学年代について解説し、考古学における年代決定のしかたを学ぶ。 ②層位学と型式学 考古学における相対編年の二大方法である層位学的方法と型式学的方法について解説し、考古学研究の基盤を知る。 ③理化学的年代測定 近年の考古学研究で大きな力を持つに至っている自然科学的方法を用いた年代測定法について解説し、その利点と問題点を知る。

事前学修	<p>それぞれの回に共通して以下の事前学習を各自で行っておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考古資料の素材の種類について調べ、身近にある現代の「モノ」の素材を観察して理解しておく。</li> <li>・身近にある現代の「モノ」の用途を観察し、形態・素材との関係を考えてみる。</li> <li>・高校の日本史教科書の原始・古代部分を読み直しておく。</li> <li>・高校の日本史教科書の原始・古代部分に掲載された考古資料の情報をまとめておく。</li> <li>・博物館・資料館で遺物を観察し、種類・特性・年代などの情報を事前知識として得ておく。</li> <li>・身近にある現代の「モノ」の分類とその原理について考えてみる。</li> <li>・身近にある現代の「モノ」を観察し、その形の意味を考えてみる。</li> </ul>
事後学修	<p>それぞれの回に共通して以下の事後学習を各自で行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した部分のノートをまとめ、入門書の該当部分を読む。</li> <li>・授業中に提示された考古資料からどのような心の動きを読み取ることができるか、現代人としてどのように感じるか考えてみる。</li> </ul>



# 講座内容（シラバス）

## 〔教育原論 / 教育の思想〕

宮島 健次

- ◆**授業概要** 周知のとおり、2020年の学習指導要領の改訂から、従来の「学校教育」が大きく変わります。しかし、そもそもなぜそのような変革が必要なのでしょう。本授業では、まずこのような問いから始め、現代教育にそのような変革が必要になった理由を、そもそも「教育」とは何か、という側面と「学校教育制度」の成立という側面から考えていくと同時に、21世紀を迎えた知識基盤社会における教育のあり方をアクティブ・ラーニングの手法を使って考えていきます。
- ◆**学修到達目標** 周知のとおり、2020年の学習指導要領の改訂から、従来の「学校教育」が大きく変わります。しかし、そもそもなぜそのような変革が必要なのでしょう。本授業では、まずこのような問いから始め、現代教育にそのような変革が必要になった理由を、そもそも「教育」とは何か、という側面と「学校教育制度」の成立という側面から考えていくと同時に、21世紀を迎えた知識基盤社会における教育のあり方をアクティブ・ラーニングの手法を使って考えていきます。
- ◆**授業方法**
  - ・**オンデマンド**  
オンデマンド授業では、基本的にテキストやサブノートを活用した講義形式で授業を進めていきます。各回終了ごとに、事後学修として「ふりかえりシート」を作成していただきます。
  - ・**対面授業**  
対面授業では、受講生を中心としたディスカッションやグループ発表形式で授業を進めていくつもりです。ただし、受講人数によっては、多少の変更があります。ディスカッション終了後、本授業の内容理解を深めるために課題を出します。これを最終レポートとします。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**教科書** 丸沼『教育思想のルーツを求めて—近代教育論の展開と課題』関川悦雄、北野秋男 啓明出版
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** オンデマンド授業における「ふりかえりシート」(50%)、対面授業におけるディスカッションにおける貢献度(20%)および最終レポート(30%)により総合的に評価します。レポートの形式については、授業開始後、改めて受講生に伝えます。
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行います。
- ◆**授業計画**
  - ・オンデマンド

授業内容	動画1：ガイダンス／現代教育システムの系譜(1)現代教育システムにおけるキリスト教の影響 動画2：現代教育システムの系譜(2)プロテスタンティズムの理想的人間像 動画3：21世紀の教育課題(1)今、ここにある危機①学びからの逃走・ごまかし勉強 動画4：21世紀の教育課題(2)今、ここにある危機②オレ様化する子どもたち 動画5：21世紀の教育課題(3)今、ここにある危機③下流志向
事前学修	・シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておく。 ・動画内で指定教科書の内容に言及することがあるので、事前に指定教科書の精読を済ませ、かつ内容を理解しておく。 ・指定教科書に登場する、それぞれの教育思想家の宗派を調べておく。
事後学修	・各講義動画の内容に関する設問に回答する等の「ふりかえりシート」を期限までに作成する。 ・不明な点があったら、メール等で質問をする。メールの送付先は初回の動画内で示す。 ・各回の動画では、さまざまな問題提起を行うので、「自分だったらどのように対応するか」考えておく。

### ・対面授業

1日目	授業内容	・オンデマンド授業で取り扱った内容のまとめ～21世紀の教育課題(4)今、ここにある危機④21世紀の子供たちにふさわしい教育とは ・グループディスカッション—アイスブレーキングをしたのち、グループに分かれてディスカッションを行う。 ・グループディスカッションの成果をまとめ、プレゼンテーションの準備を行う。
2日目	授業内容	・グループディスカッションの成果発表（プレゼンテーション） ・授業の総括—現代教育の課題と教育思想
	事前学修	・これまでの授業を通して得た、自らの考えや問題意識をグループディスカッションで披露できるようにまとめておく。
	事後学修	・グループディスカッションで得られた新たな知見、ものの見方、とらえ方などをまとめ、自らの考えを昇華する。 ・インターネットなどで、課題解決に向けた取組等を調べる。

# 講座内容（シラバス）

## 〔博物館教育論〕

岡部 幹彦

◆**授業概要** 博物館教育の目的とその特性を理解し、基本となる理論と実践に関する知識と方法を修得する。これにより博物館の教育機能に関する基礎能力を養い、《学びの契機の提供》《学びのサポート》《学びのサイクルの創出》に必要な知識・能力を身につける。また、博物館教育と学校教育との関係を理解し、連携事業を推進する能力を養う。担当者の博物館学芸員としての経験を活かし、内外の優れた事例を紹介・評価するとともに博物館教育に必要なコミュニケーション能力について学び、博物館教育事業の企画力・実践力を身につける。

◆**学修到達目標** 1. 博物館教育に携わる学芸員として多様で魅力的な教育事業を企画・実践する基礎能力を身につけるとともに、あらゆる博物館事業を教育的視点から捉えることができる。2. 市民の学びをサポートするために必要なコミュニケーションについて理解し実践することができる。3. 他の機関や組織、市民グループ等と連携して地域の学びをサポートすること理解し、説明することができる。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

各回とも配信する講義動画を視聴することにより授業を行う。また、各講義動画に対応する講義資料を事前に配信する。視聴時に参照し、メモを取るとともに、視聴後の学習に利用する。要点確認の小レポートを求める。

#### ・対面授業

毎回の授業時に資料を配付し、PowerPoint を用いて講義形式で進行することを基本とする。積極的な学修姿勢と理解を促すため、適宜テーマを設けて発言を求める。博物館教育に係る映像資料や実物資料を用いて多角的な視点から授業を行う。

◆**履修条件** 令和2年度東京スクーリング『博物館教育論』（岡部幹彦）とは積み重ね不可

◆**教科書** 資料配布（Classroom） 各授業ごとに講義資料として配信・配布する。

◆**参考書** 通材 博物館論 ⅡⅢ 通信教育教材（教材コード 00092）

◆**成績評価基準** オンデマンド授業における小レポート（20%）、対面授業における授業への参画度（20%）、試験（60%）

◆**授業相談（連絡先）**：e-mail:hey\_miki@hotmail.co.jp

### ◆授業計画

#### ・オンデマンド

授業内容	動画1の内容：ガイダンスとして授業の進め方、授業に臨む姿勢、留意点等、授業に関して必要な事柄の説明を行う。また、博物館の定義・機能と博物館教育について学ぶ。 動画2の内容：博物館活動における教育事業の位置づけ、博物館活動の実際、日本の博物館教育の特質、博物館ならではの教育と自由な学び、などについて、事例を紹介し解説する。 動画3の内容：博物館最大の特色であるモノからの学びについて、ヒト・モノ・コト・環境・時間軸・空間軸の関係について、モノの展示と教育のあり方等について解説する。また、絵画作品を例として、《気づき》を促す情報提供について学ぶ。 動画4の内容：学びの契機と学びのサポートの提供とは、学びの原動力を育む、市民の学びを継続的にサポートし、サイクルを創出する、これらの具体的事例について解説する。 動画5の内容：学びの手法としてのワークショップ、《気づき》と《気づき》の共有に関する事例をつうじて、主体的な学びについて学修する。 各動画に対応する講義資料を事前に配信するので、動画視聴の前後に熟読し、理解を深めること。
事前学修	・シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておく。 ・学校教育について自らの経験をもとにそのイメージを整理し、また、自らが望む学びについて考える。 ・博物館以外にどのような社会教育施設があるか、どのような活動をしているか調べる。 ・生涯学習とは何か調べ理解しておく。 ・近隣の博物館等についてウェブサイトを検索し、どのような種類の教育事業を実施しているか調べる。 ・博物館の展示を実際に観覧し、どのように展示品の情報が提供されているか調べておく。 ・博物館における学習活動の成果がどのように地域社会に還元されているか事例を調べる。
事後学修	・博物館の教育事業について、その特質を整理し理解すること。 ・博物館教育の特質を活かした事業事例を探し、その事業展開を分析整理する。 ・1点の有形文化財を選び、そのモノ・ヒト・コト・環境・時間軸・空間軸について分析することをつうじて、モノを多角的に捉えることを理解する。 ・授業での学修をふまえ、1点の資料・作品について《気づき》を促す解説を作成する。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	1. 事例に学ぶ(1)：博物館の教育事業の対象と事業内容、企画と準備、教育事業全体のビジョンと計画、学びを創出し継続的にサポートすること、教育事業を評価するポイントについて解説する。 2. 事例に学ぶ(2)：学びのツール開発、ツール開発の基本、博物館教育とICTツール、ICTツール作成の基本について解説する。 3. 博物館を学ぶプログラム、ミュージアムリテラシー、人材育成について事例を紹介し、あわせて各国の学芸員資格について解説する。 4. 学びとコミュニケーション、求められるコミュニケーション能力、コミュニケーション能力を高める学びのサポートとコミュニケーション、知識情報の伝達から理解の共有へ、について解説する。 5. 博物館と学校教育(1)：博学連携事業とは、出張授業の事例、博学連携の現状、博学連携の背景について解説する。
2日目	授業内容	1. 事例に学ぶ(2)：教科単元学習での博物館利用の問題点、教員の博物館理解の促進、博物館活動を実践する教員、博学連携の基本的考え方について、事例を紹介するとともに解説する。 2. 展示と資料情報の提供、海外の事例から（情報を前面に出さない展示）、モノによる教育と情報との関係を整理する。あわせて完成された観覧のサイクルを体験する（絵画の場合）。 3. 地域社会の課題と博物館、イギリスとブラジルの事例、1960年ユネスコ勧告にみる理想像、わが国の教育課題と博物館、博物館教育の可能性について解説する。 4. 2015年ユネスコ勧告と持続可能な発展（開発）、持続可能な発展（開発）のための教育と博物館教育について解説する。 5. 博物館教育において学芸員の果たすべき役割、【試験】、要点の総括

事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館単独の子ども向け教育事業について事例を調べておく。</li> <li>・博物館のウェブ上の学習コンテンツを調べ、実際に利用して評価する。</li> <li>・中学生・高校生の職場訪問・インターンシップの学習効果を調べておく。</li> <li>・ワークショップの歴史とファシリテーターの意味について調べておく。</li> <li>・博物館のウェブサイトで学校との連携事業について調べておく。</li> <li>・学校との連携事業で教科単元からはなれた学習事例を調べておく。</li> <li>・わが国の子どもの教育に関する問題点・課題について調べておく。</li> <li>・SDGs, ESD について調べて理解しておく。</li> <li>・オンデマンド講義の講義資料を整理し、インデックスを作成する。</li> </ul>
事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの企画を立案し、企画書を作成する。</li> <li>・教育事業を企画・実施する際に注意すべき事柄を整理する。</li> <li>・学びのサイクルの視点から、博物館活動に参加・参画する市民について調べ、考えをまとめる。</li> <li>・学校教育と博物館教育の相違点について整理し理解する。</li> <li>・授業をふまえ、博学連携事業の好例を探し、評価する。</li> <li>・全回の講義資料を再読・整理し、インデックスを作成する。</li> </ul>

## ◆授業概要

この授業では英文読解（リーディング）を中心に授業を進めるが、中学、高校で既に経験したであろう単元別に区切られた英語学習を学生に求めることはしない。教材は英国社会、文化について書かれた英文エッセイを扱う。授業ではただ英文和訳をして終わるのではなく、英文の内容について深く考え、そこからその内容について自身の考えを創出することを学生に求める、当然、その過程で基本的な英文法の知識や英文読解法が必要となるが、この授業ではそうした知識としてではなく、教養としての英語を学ぶことの重要性をこの授業を通して感じてもらいたい。

## ◆学修到達目標

1. 中学、高校で既習した英文法に関する知識を活かし、比較的平易な英文を読むことができる。
2. 英国社会、文化に関する知識を深め、それについて自身の考えを説明することができる
3. (英文読解法) ただ速さを意識して英文を読むのではなく、英文の一語一句に注目し、英文の裏に隠れた深遠な意味を読み取ることができる。

## ◆授業方法

## ・オンデマンド

基本的にはすべての授業運営を Google Classroom 上で行う。課題に対するフィードバックや授業内容に関する質問は Classroom 上で対応することになるが、それでも対応しきれない場合は対面授業時に直接対応する。

## ・対面授業

基本的には講義形式となるが、随時、学生に音読や和訳を求める。また、必要に応じて授業内容についての理解を深めるために動画を視聴することもある。

## ◆履修条件

令和3年度夏期スクーリング「英語」（堀紳介担当）との積み重ね不可

## ◆成績評価基準

オンライン授業で出される課題はすべて評価対象なので必ず提出すること（全体の 50%）。対面授業終了後には授業内レポートを課す（50%）。対面授業ではただ身体を教室内にしているだけでは出席とはならない。授業に臨む上で最低限の姿勢が整ったうえで出席となる。英文和訳などの発表や授業への参加態度などによる加点、減点がある。

## ◆教科書

資料配布 英国社会、文化に関する英文記事、エッセイ（英語学習者向けの読み物）

## ◆参考書

なし

## ◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

<p>授 業 内 容</p>	<p>動画 1 の内容：ガイダンスとして授業の基本的な流れ、構成を説明する。授業では大きく分けて①英国社会、文化②英文読解、英文精読の二つに分かれるが、この 2 点についてどのように進めていくのかを説明する。</p> <p>動画 2 の内容：①英国の基本的な情報、食文化、自然風景など ② 英文の基本的な読み方、精読、速読、多読についてこの時点ではまだ英文を深く読み込まず、英文の基本構造（SVOC）と基本的な英文の読み方について例文を用いて説明する。</p> <p>動 画 3 の 内 容：① 英 国 フ ァ ッ シ ョ ン、ス ポ ー ツ ②英文読解 前回授業までに説明したことを基に、英文の精読を行なう。</p> <p>動画 4 の内容：①ロイヤルファミリー、イギリス英語とアメリカ英語 ②英文読解</p> <p>動画 5 の内容：①英国体験記 ②英文読解</p> <p>* 英文読解については基本的な授業の進め方は毎回変わらない。毎回おおよそ 1 段落（1 パラグラフ）程度の英文量を読み、動画 5 終了時点までで英文全体の半分程度を読み終えることを想定する。</p> <p>* 動画 1 から 5 はオンライン授業の総授業数であり、総動画数ではない。動画ファイルの容量の関係で、一回の授業（90 分）の授業を 2 つから 3 つほどの動画に分けて Classroom 上に配信することになる。授業タイトル、授業回が分かるように動画ファイルに番号を付けて配信するので、順番に視聴すること。</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>シラバスを読み、この授業の目的と進め方などを理解しておくこと。この授業の構成は①英国社会、文化②英文読解の二つに分かれる。特に①の英国社会、文化に関しては自身の英国に関する知識、印象などを整理しておくこと。②の英文読解に関しては、自身の英文の読み方、英語学習経験を振り返っておくと良い。自分がこれまでにどのような英文の読み方をしてきたか（返り読み、速読、多読など）、自身の英文の読み方に関する考えをまとめておくこと。</p>
<p>事 後 学 修</p>	<p>①の英国社会、文化について、この授業で扱った様々なテーマの中から 1 ～ 2 つ興味、関心のあるものを選び、それについての自信の考えをまとめておく。②の英文読解については授業内で読んだ箇所を重点的に読解しなおしておく。</p>

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	まずはオンデマンド授業で学んだことの復習として、英文の基本構造と英語の読解法を確認する。 1回 90 分の授業で 5 行程度の英文を読んでいくことになる。授業では既習事項の確認として学生に和訳や英文内容についての考えを求めることもある。受講人数により和訳を担当制とするかは未定であるが、英語が苦手な学生は辞書（電子辞書可）で分からない単語の意味などを事前に調べておくことが求められる。
2 日 目	授 業 内 容	授業の進捗状況によっては追加の英文資料を配布することもある。何を読むのかについては対面授業時の学生との話し合いをもとに決めることになる。授業では既習事項の確認として学生に和訳や英文内容についての考えを求めることもある。受講人数により和訳を担当制とするかは未定であるが、英語が苦手な学生は辞書（電子辞書可）で分からない単語の意味などを事前に調べておくことが求められる。
事 前 学 修	事前学修は対面一日目の前までに行なうことを想定する。各講義動画をしっかり視聴することはもちろん講義内で読んだ英文を改めて自分でも読み、英文の内容についての理解を深めておくこと。また、英国社会、文化については自身の興味、関心のあるテーマに絞り、インターネットなどで情報を調べ、自身の考えをまとめておくこと。	
事 後 学 修	事後学修は対面 2 日目を終えた後に行なうことを想定している。①の英国社会、文化について、この授業で扱った様々なテーマの中から 1～2 つ興味、関心のあるものを選び、それについての自信の考えをまとめておく。②の英文読解については授業内で読んだ箇所を重点的に読解しなおしておく。	

東京スクーリング(5月期)第1期 開講講座一覧

講座コード	科目名	開講 単位数	担当教員名	科目コード	科目名	併用	配当学年	備考
D8A1	心理学	2	須永 範明	B12100	心理学		1年	
D8A2	外交史	2	柑本 英雄	L30700	外交史		2年	
D8A3	国文学史 I	2	加藤 清	M30100	国文学史 I		2年	
D8A4	英米事情 I	2	和泉 周子	N31500	英米事情 I	×	2年	・スクーリング1講座の合格で単位完成する科目です。
D8A6	経済開発論	2	田宮 憲	R31400	経済開発論		2年	
D8A7	中小企業論	2	山本 篤民	S32700	中小企業論		2年	

東京スクーリング(5月期)第2期 開講講座一覧

講座コード	科目名	開講 単位数	担当教員名	科目コード	科目名	併用	配当学年	備考
D8B1	英語 A	1	アレックス ブラウン	C10100	英語 I		1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語 II		2年	
				C10300	英語 III			
				C10400	英語 IV			
D8B2	国際法	2	渡部 茂己	K31100	国際法		2年	
D8B3	国文学概論	2	近藤 健史	M20200	国文学概論		※	・文学専攻(国文学)のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
D8B4	新聞英語	2	桑山 啓子	N31400	新聞英語	×	2年	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
D8B5	英語学演習 A	1	真野 一雄	N401S0	英語学演習 I	×	3年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・ I ~ IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N402S0	英語学演習 II			
				N403S0	英語学演習 III			
D8B6	哲学概論	2	齋藤 隆	P30300	哲学概論		2年	
D8B7	古文書学	2	渡邊 浩史	Q31700	古文書学		2年	
D8B8	経済地理学/経済地理	2	中岡 裕章※	R32600	経済地理学		2年	法/文理/経済学部が申込可。 商学部のみ申込可。
				S32200	経済地理			
D8B9	商品学	2	金崎 賢希	S30300	商品学		2年	

※ポータルサイト上では井村博宣先生が表示されますが、実際に担当されるのは中岡裕章先生です。



## 〔心理学〕

須永 範明

◆**授業概要** 心理学は、人間の心の動きを科学的に研究する学問である。心の動きのなかでも、感覚・知覚、記憶、注意、思考、意思決定などをまとめて認知と呼ぶ。認知とは、ひとことと言うと、ものごとを認識する働きのことである。本科目では、認知の働きについて学ぶ。学生の皆さんにはこれらの知見を学ぶことを通して、人間の心とはどのようなものか、理解を深めていただきたい。

- ◆**学習到達目標**
1. 感覚・知覚の基本的な特徴を説明できる。
  2. 注意の基本的な特徴を説明できる。
  3. 記憶の種類と、それぞれの基本的な特徴を説明できる。
  4. 思考について基本的な特徴を説明できる。
  5. 意思決定の基本的な特徴を説明できる。
  6. 知識について基本的な特徴を説明できる。
  7. 潜在認知とはどのようなものか説明できる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

オンデマンド授業を行なう回では、受講生は教科書と配付資料を精読し、授業動画を視聴したうえで、課題に解答する。授業動画と配付資料、課題は Google Classroom に置かれている。授業動画は、その回の授業内容を解説するものとなっている。課題は、授業内容をどの程度理解したか確認する問題からなる。課題への解答は即座に採点され、正誤のフィードバックを受け取ることができる。不正解となった箇所については復習すべき内容をフィードバックのなかで指示する。質問等は Classroom 上での投稿あるいはメールで随時受け付ける。

・対面授業

対面授業の回では、受講生は事前に教科書と配付資料を精読して予習しておくこと。配付資料は Google Classroom で公開する。授業時に、教員は特に説明が必要な箇所について詳しく解説したうえで、質問等にお答えする。その後、授業内容をどの程度理解したか確認する課題を実施する。課題は Google Classroom を介して実施するので、ノートパソコンあるいはスマートフォンを必ず持参すること。課題への解答は即座に採点され、正誤のフィードバックを受け取ることができる。不正解となった箇所については復習すべき内容をフィードバックのなかで指示する。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 丸沼「基礎から学ぶ認知心理学」、服部雅史・小島治幸・北神慎司（著）、有斐閣、2015年

◆**参考書** 丸沼「錯覚の科学」、C.チャプリス・D.シモンズ（著）、文藝春秋、2014年  
丸沼「第1感」、マルコム・グラッドウェル（著）、光文社、2006年

◆**成績評価基準** 課題（50%）と試験（50%）に基づいて評価する。課題は Google Classroom に置かれ、毎回の授業内容ごとに課す。試験は客観式の問題数十問からなり、対面授業の最後の授業回に Google Classroom 上で実施する。

◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom への投稿あるいはメールで質問・相談等にお答えする。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	第1回授業：本授業の全体像について説明する。その後、感覚について解説する。 第2回授業：視覚を中心に感覚の仕組みについて学ぶ。 第3回授業：知覚の体制化、図と地の分化、パターン認識について学ぶ。 第4回授業：知覚の恒常性、大域的処理と局所的処理について学ぶ。 第5回授業：情報の取捨選択、注意資源について学ぶ。
事前学修	教科書の該当ページおよび Google Classroom 上に置いた資料を読み、授業動画を視聴すること。そのうえで、Classroom 上の課題に解答して理解度を確認していただきたい。資料と授業動画、課題は第1回から第5回の授業それぞれに用意する。
事後学修	Classroom 上の課題に解答することで、理解不十分である箇所が明らかとなるので、その箇所について教科書、資料、授業動画で再学習すること。そのうえで再度課題に取り組んでいただきたい。課題は解答期限内であれば何回でも解答を提出できるので、理解度を満足できる水準まで高めることができる。

・対面授業

1日目	授業内容	第6回：記憶の多重貯蔵モデルについて学び、短期記憶と長期記憶について理解を深める。 第7回：記憶方略について学ぶ。 第8回：記憶の忘却について学ぶ。 第9回：概念と知識について学ぶ。 第10回：スキーマとメタ認知について学ぶ。
2日目	授業内容	第11回：問題解決のための思考について学ぶ。 第12回：推論とその歪みについて理解を深める。 第13回：意思決定における効用の効果、リスクのある判断について学ぶ。 第14回：潜在認知と意識的コントロールについて学ぶ。 第15回：人間の認知について総括し、試験を行なう。
	事前学修	教科書の該当ページおよび Google Classroom 上に置いた資料を読むこと。理解の及ばない点についてはメモしておき、対面授業時に質問していただきたい。
	事後学修	授業時に行なう課題で理解度を自己確認できるので、理解の及ばない箇所を教科書、資料、ノート等で再学習していただきたい。



## ◆授業概要

外交の歴史を国際社会の流れの中から、国際政治の理論を軸に読み解いていく。現在の国際政治や国際法が形作られた背景を理解するために必要な理論を展開する中で、重要な外交案件や出来事を分析し、それらが国際政治全体のなかでどのように位置づけられるのか、問題の経緯、および、今日における課題について学修する。

## ◆学修到達目標

この授業の目的は、外交史の理解を通じて、国際社会の全体像を理解することにある。到達目標は、歴史というものが、なぜ、そして、どのように出来事が起こったのか、その意味を理解できるようになることである。

## ◆授業方法

・オンデマンド

PowerPoint のプレゼンテーションなどを利用した講義形式を基本とする。

## ◆履修条件

なし

## ◆成績評価基準

授業をすべて受講していること。理解度チェック問題をすべて解いていること。受講状況、理解度チェック、最終試験の総合点により評価する。

## ◆教科書

市販本 『国際紛争 -- 理論と歴史』 ジョセフ・ナイ 原書第10版 有斐閣 2017

## ◆参考書

特になし。ただし、最終試験に使用する引用文献は、各自時間をかけて用意すること。

## ◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

1回	授業内容	紛争と協調を説明する一知の技法
	事前学修	「第2章 紛争と協調を説明する一知の技法」(p. 49-p. 101)に目を通し、国際政治を理解するうえで必要となる理論の概要を抑える。
	事後学修	「国家」「パワー」「国益」について、自分の理解をまとめてみる。
2回	授業内容	ウェストファリアから第一次世界大戦まで1
	事前学修	「第3章 ウェストファリアから第一次世界大戦まで」第1節・第2節(p. 103-p. 123)を、バランス・オブ・パワー・システムの意味を考えながら読む。
	事後学修	17世紀から19世紀にかけてのヨーロッパの紛争を振り返り、権力がどのように変遷していったのかまとめてみる。
3回	授業内容	ウェストファリアから第一次世界大戦まで2
	事前学修	「第3章 ウェストファリアから第一次世界大戦まで」第3節(p. 123-p. 143)を、第一次世界大戦の流れを考えながら読む。
	事後学修	第一次世界大戦は不可避であったのか、自分なりに考えてみる。
4回	授業内容	集団安全保障の挫折と第二次世界大戦1
	事前学修	「第4章 集団安全保障の挫折と第二次世界大戦」第1節・第2節前半(p. 145-p. 167)を、集団安全保障の意味を考えながら読む。
	事後学修	国際連盟はなぜ失敗したのか自分なりの意見を考えてみる。
5回	授業内容	集団安全保障の挫折と第二次世界大戦2
	事前学修	「第4章 集団安全保障の挫折と第二次世界大戦」第2節後半(p. 168-p. 178)を、ヒトラーが出現した理由を考えながら読む。
	事後学修	第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因と、なぜ防ぐことができなかったのか、自分なりの意見を考えてみる。
6回	授業内容	冷戦1
	事前学修	「第5章 冷戦」第1節・第2節(p. 179-201)を、冷戦の流れを考えながら読む。
	事後学修	冷戦はなぜ始まったのか考えてみる。
7回	授業内容	冷戦2
	事前学修	「第5章 冷戦」第3節・第4節(p. 201-235)を、封じ込めの意味を考えながら読む。
	事後学修	冷戦はなぜ終わったのか考えてみる。
8回	授業内容	冷戦後の紛争と協調
	事前学修	「第6章 冷戦後の紛争と協調」(p. 237-274)を、紛争の意味を考えながら読む。
	事後学修	国際政治における核兵器の存在について考えてみる。
9回	授業内容	現在の引火点1
	事前学修	「第7章 現在の引火点」第1節・第2節・第3節(p. 275-322)を、最近の東ヨーロッパ、中東情勢を考えながら読む。
	事後学修	今日の世界で引火点となりうる紛争を考えてみる。

10 回	授業内容	現在の引火点2
	事前学修	「第7章 現在の引火点」第4節・第5節 (p. 322-338) を、最近のアジア情勢を考えながら読む。
	事後学修	今日の世界で引火点となりうる紛争について、それを防ぐためにどうすればよいか自分なりに考えてみる。
11 回	授業内容	グローバリゼーションと相互依存
	事前学修	「第8章 グローバリゼーションと相互依存」(p. 339-p. 374) を、グローバリゼーションの功罪を考えながら読む。
	事後学修	今日グローバリゼーションがどのような方向に向かっていると考えられるか、まとめてみる。
12 回	授業内容	情報革命と脱国家的主体
	事前学修	「第9章 情報革命と脱国家的主体」(p. 375-411) を、情報革命とは何か考えながら読む。
	事後学修	情報化社会がどのようなパラダイムシフトを起こしたのか考えてみる。
13 回	授業内容	未来に何を期待できるか?
	事前学修	「第10章 未来に何を期待できるか?」第1節 (p. 413-453) を、今日の世界が抱える問題を意識しながら読む。
	事後学修	持続可能な社会の実現のために行われている各国の政策について調べてみる。
14 回	授業内容	歴史学のパラダイムからのレビュー
	事前学修	テキストを読み直して、理解が届かなかったところがあれば整理する。
	事後学修	これまでの学びを振り返る。
15 回	授業内容	テスト
	事前学修	テキストやノートを読み返す。
	事後学修	これまでの学びを振り返る。学びを通して、今日の国際社会が抱える様々な問題について自分なりに考えてみる。

## 〔国文学史 I〕

加藤 清

◆**授業概要** 上代文学から中古文学までの文学の流れを概観したうえで、各時代の作品相互に共通してみられる表現や内容についてふれます。その表現様式はどのように発生したと考えられているのか、またどう展開しているのかを講義します。また各時代の文学的思潮が作品の特質とどう関わっているかを講義します。

◆**学修到達目標** 奈良から平安までの時代を概観し、日本文学の歴史的変遷・展開の基礎的な視点をもつことを目標としています。また、そのような展望から、自らが興味をもつ個々の文学作品についても、それらが有する諸問題の基礎的な知識が得ることが出来るようになることを目標としています。

◆**授業方法**

・オンデマンド

授業動画は、内容に沿って分割し、番号を付している。まずは全体を視聴すること。一度の視聴で分からなかった内容の動画は重点的に繰り返し視聴すること。資料もクラスルーム上で配布する。

・対面授業

対面授業では、基本的に資料を配付し、その資料を基に講義を行う。資料は、シラバスの内容に沿って分割されているので、資料を元に講義ノートの作成を行い、内容の把握につとめること。分からない内容については、授業の中で質問すること。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** **その他** 対面授業では資料を配付します。  
**資料配布 (Classroom)**

◆**参考書** **その他** 適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 試験 100%

◆**授業相談 (連絡先)**：対面授業時に受付ける。

◆**授業計画 (各 90 分)**

・オンデマンド

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文学史の立場」について。文学史とはどのような学問であるかを考えます。各作品と時代との関わりはどのように捉えられるかについて講義します。</li> <li>・「文学史の視点」について。文学史的視点の基礎となる、「ジャンル」と「様式」について講義します。</li> <li>・「文学の発生」。文学発生の諸説を理解し、文学ジャンルの展開の基礎を学びます。</li> <li>・「神話」。始原をカタルことの意義とその変遷について解説します。</li> </ul>
事前学修	古代文学のおおまかな流れを確認しておくこと。特に『古事記』『日本書紀』の概略を理解しておくこと。
事後学修	文学の始原的見方についてまとめておく。また「文学史」的視点について整理し、自身の作品理解の方法としてどう在るべきかを考察すること。

・対面授業

1日目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様式の展開①。ウラシマ伝承を、『万葉集』と『風土記』などで比較し、その散文と韻文の特質を解説します。</li> <li>・様式の展開②。「恋歌の成立」。恋歌の始原と定型和歌の確立による変遷について講義します。</li> <li>・様式の展開③。聖徳太子伝承をもとに『日本書紀』と『日本書紀』それぞれの特質についてみます。</li> <li>・「文字と文学の交流」①。文字の獲得による文学の変質について考えます。口承文学から記載文学へと展開する過程の諸問題を理解し、古典文学の基礎的留意点を学びます。</li> <li>・「文字と文学の交流」②。『古今集』の歌をよみ、平仮名表記による新たな歌世界についてみます。</li> </ul>
2日目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌と物語①。『万葉集』と『伊勢物語』を比較し、歌物語の特質について説明します。</li> <li>・歌と物語②。『竹取物語』について、その成立とそれ以前の作品との関連について解説します。</li> <li>・時代と文学①。菅原道真を取り上げ、平安時代初頭の漢詩文のあり方とその時代についてみます。</li> <li>・時代と文学②。「六国史の終焉」について、その時代を概観し、文学との関わりについて解説します。</li> <li>・まとめと試験。</li> </ul>
	事前学修	取り上げる各作品の文学史的な位置づけについて理解しておくこと。「説話文学」「勅撰和歌集」「歌物語」「国風暗黒時代」「律令」などの意味についてみておくこと。
	事後学修	取り上げた事例から、作品相互の関係を理解すること。また、時代思潮と作品のあり方との関わりについて理解すること。同時に、史的意義と文学との関係性はその他の作品ではどうであるか、自身の視点を確立する。

**◆授業概要**

本授業ではアメリカ合衆国についての基本的な知識の習得という点に焦点を当てます。アメリカという国を概観し、その歴史的、文化的、宗教的背景や社会性や国民性、精神性等について学ぶことで、アメリカ研究や異文化理解といったより専門的な分野への学習に向けた基礎作りをします。

※章内で学習する内容を絞ったり、教科書内(章内)で扱われていない内容を学習することがあります。

**◆学修到達目標**

アメリカという国を様々な観点から論じることができるようになる。

**◆授業方法**

## ・オンデマンド

授業動画は内容に沿って分割し、番号を付しますので、番号順に視聴してください。授業動画の中には課題が含まれたものもありますので、オンデマンド授業期間に配信される授業動画は必ずすべて視聴してください。

## ・対面授業

対面授業はオンデマンド授業期間に配信される授業動画をすべて視聴しているという前提のもとに進めます。授業は主に講義形式で行いますが、みなさんに発言や発表をしていただいたり、クラスでディスカッションする時間を設けたりもしますので、事前学修(予習)を行う際にご自身の考えをまとめておいてください。

授業計画通りに進めますが、進度はあくまでの目安であり、授業計画通りの進度で進まない場合があります。

**◆履修条件**

なし

**◆成績評価基準**

オンデマンド授業期間内に提出する課題(40%)、対面授業期間の最終日に実施する試験(50%)、対面授業期間の授業への参加度(10%)すべて出席していることを前提として評価を行います(オンデマンド授業期間は課題の提出が出席を兼ねます)。対面授業期間の授業への参加度は、予習状況やディスカッションへの参加状況等から総合的に評価します。

**◆教科書**

市販本 『新・アメリカ研究入門[増補改訂版]』 矢野重喜編 成美堂 2013年

**◆参考書**

アメリカ合衆国に関する資料すべて

**◆授業相談先(連絡先)**

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイダンス：授業の内容や進め方、成績評価基準等の説明</li> <li>・ 3. アメリカの歴史</li> <li>・ 8. アメリカの経済と経営</li> <li>・ 10. アメリカの科学技術</li> <li>・ 課題</li> </ul>
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シラバスを読む</li> <li>・ 教科書の該当章(とその内容に関連した参考書)を読み、自身の考えをまとめる。※授業では扱いませんが、導入として「1. 序章 アメリカ研究を始めよう」を読んでおいてください。</li> <li>・ 課題に取り組み、提出する</li> </ul>
事 後 学 修	学習した内容を復習し、再度自身の考えをまとめる。

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11. アメリカの社会</li> <li>・ 12. アメリカの民族</li> <li>・ 15. アメリカの宗教 —任意主義の浸透と信教の自由の確立—</li> </ul>
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 13. アメリカの女性 —価値観の変化を中心として—</li> <li>・ 17. アメリカの文学 —神話と文学的想像力—</li> <li>・ 20. アメリカ大衆文化がつくった日本 —アメリカ文化研究への誘い—</li> <li>・ 試験</li> </ul>
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書の該当章(とその内容に関連した参考書)を読み、自身の考えをまとめる。</li> <li>・ 試験の準備をする。</li> </ul>	
事 後 学 修	学習した内容を復習し、再度自身の考えをまとめる。	

## ◇経済開発論

担当者:田宮 意

◆**授業概要** この授業では、発展途上国の開発問題について、主に経済学的アプローチを用いながら解説します。具体的には以下のトピックスについて学修します。(1) 開発とは何か、(2) 戦後の開発問題の歴史の変遷、(3) さまざまな開発理論、(4) 開発戦略としての貿易、対内直接投資問題。上記トピックスについて、教科書に従って、解説します。

◆**学修到達目標** 経済開発に関する歴史・理論・政策の基本を整理し、戦後の開発理論・開発戦略の変遷を理解することを学修目標とします。具体的には、本講義の受講によって、受講生は、(1) 「開発」という概念の整理、(2) 開発問題の歴史的展開、(3) 開発理論の変遷、(4) 実際の開発戦略の諸形態を理解し、説明できるようになります。

◆**授業方法** オンライン授業のため、授業計画に記された各回の内容について、講義資料と音声をアップします。各回の学修後、その内容をリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)にまとめ、提出してください。そのまとめが最終レポートの準備になるように配慮します。

### ◆授業計画

1回	授業内容	ガイダンスおよび開発経済の全体像の解説(1)
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
2回	授業内容	ガイダンスおよび開発経済の全体像の解説(2)
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
3回	授業内容	「開発」とは何か。その一般的な定義、概念について解説します。
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
4回	授業内容	発展途上国の特徴について。発展途上国の定義、共通点、相違点について解説します。
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
5回	授業内容	開発問題の歴史的展開(1)。植民地支配から戦争直後の開発問題について解説します。
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
6回	授業内容	開発問題の歴史的展開(2)。第三世界の連帯、国連の関わり等について解説します。
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
7回	授業内容	開発問題の歴史的展開(3)。プレビッシュ報告、新国際経済秩序について解説します。
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
8回	授業内容	開発問題の歴史的展開(4)。後発開発途上国、新興工業国について解説します。
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
9回	授業内容	経済発展段階説、ハロッド=ドーマー型成長理論等の初期の開発理論について解説します。
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
10回	授業内容	二重経済発展理論、従属理論等の構造論的理論モデルについて解説します。
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
11回	授業内容	発展途上国経済における新自由主義的アプローチの有益性と限界について解説します。
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
12回	授業内容	ソーシャル・キャピタルと経済発展の関係について解説します。
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
13回	授業内容	発展途上国と国際貿易との関わり、経済発展と国際貿易の関係について解説します。
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
14回	授業内容	輸出促進戦略、輸入代替戦略等の貿易戦略を解説します。
	事後学修	受講後にリフレクション・ノート(授業の振り返りノート)の提出
15回	授業内容	「最終レポート」に関する説明
	事後学修	前回までの授業内容を指定教科書、リフレクション・ノートをもとに復習してください。「最終レポート」の作成

◆**教科書** 辻 忠博 著『経済開発のエッセンス』 創成社 2015年

◆**参考書(参考文献等)** 『経済開発論』 加藤義喜・辻忠博・陸亦群 日本大学通信教育部教材

◆**成績評価基準** (1) リフレクション・ノートの提出(50%)、(2) 最終レポート(50%)で評価する。リフレクション・ノートとは、各回の授業について、「授業内容のまとめ」と「コメント・感想」を記したものを。

## 〔中小企業論〕

山本 篤民

◆**授業概要** 日本の企業の 99%以上は、「中小企業」である。個々の中小企業の規模は小さいが、中小企業を 1つの層として捉えた場合、日本の経済や産業のなかで果たしている役割は決して小さなものではない。また、戦前・戦後の各時代において中小企業は、日本経済の発展や人々の暮らしを支えてきた。本授業では、中小企業が日本の経済や社会のなかで果たしている役割を理論的・実証的に分析できる能力を身につける。

◆**学修到達目標** 1. 日本の経済や産業のなかで中小企業が果たしている役割を説明することができる。  
2. 地域経済や社会のなかで中小企業が果たしている役割を説明することができる。  
3. 中小企業が直面してきた問題や課題と政策的な対応について説明することができる。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

資料とともに授業動画を視聴すること。一度の視聴ではわからなかった内容については、繰り返し視聴すること。授業に関する意見や感想、質問は Google Classroom にて受け付け、回答する。なお、動画のなかに小レポートの課題が含まれている場合がある（その場合には明示する）。

#### ・対面授業

毎回、パワーポイントの資料をもとに授業を進める。受講生の問題関心を授業に反映させるために、授業中に意見や感想を求めることがある。授業のなかで小レポートの課題に取り組んでもらうことがある。

◆**履修条件** 令和2年度夏期スクーリング『中小企業論』（山本篤民）とは積み重ね不可。

◆**教科書** 丸沼『21世紀中小企業論』渡辺幸男ほか 第3版 有斐閣 2013年  
資料配布 (Classroom) オンデマンド授業の際は Google Classroom から資料をダウンロードすること

◆**参考書** 丸沼『よくわかる中小企業』関智宏編著 ミネルヴァ書房 2020年  
丸沼『先進事例で学ぶ 地域経済論×中小企業論』長山宗広編著 ミネルヴァ書房 2020年

◆**成績評価基準** オンデマンド授業と対面授業において出題する小レポートが評価対象となる（オンデマンド授業 50%、対面授業 50%）。なお、すべての授業を視聴・出席していることを前提として評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：yamamoto.atsutami@nihon-u.ac.jp

### ◆授業計画〔各 90 分〕

#### ・オンデマンド

授業内容	1. 授業ガイダンス（中小企業論の学び方と研究の意義）と中小企業の定義 2. 中小企業問題の推移①戦後復興期の中小企業問題と二重構造問題 3. 中小企業問題の推移②高度経済成長期の中小企業問題と安定成長期への移行 4. 中小企業問題の推移③円高不況期からバブル崩壊後の中小企業問題 5. 中小企業問題の推移④グローバル経済とコロナ禍の中小企業問題
事前学修	1. 教科書の序文および第3章を読み、中小企業論の研究の概要と中小企業の定義について確認すること。 2. 教科書第4章1節と第5章1節を読み、戦後復興期の中小企業の状況と二重構造問題を確認すること。 3. 教科書第4章2節・3節と第5章2節・3節を読み、高度経済成長期と安定成長期の中小企業の状況を確認すること。 4. 教科書第4章3節・4節と第5章3節・4節を読み、円高不況期とバブル崩壊後の中小企業の状況を確認すること。 5. 教科書第4章4節と第5章4節および中小企業庁のホームページのコロナ感染対策を読み、グローバル経済およびコロナ禍における中小企業の状況を確認すること。
事後学修	授業の際に提示する資料と教科書の該当箇所を読みなおす。Google フォームの「授業に関する意見・感想」の欄に授業の要点を整理する。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	I. 中小企業研究の展開 1. 中小企業存立条件論—中小規模の企業が存立する根拠をめぐる議論— 2. 中小企業問題論と中小企業問題否定論（ベンチャービジネス論） II. 産業集積と中小企業 1. 産業集積の理論と類型 2. 大都市型集積の特徴と事例—東京都大田区の事例を中心に— 3. 城下町型集積と産地型集積の特徴と事例—愛媛県今治市のタオル産地の事例を中心に—
2日目	授業内容	III. 中小商業問題 1. 中小商業の特徴と商業政策の変遷 2. 商店街の現状—商店街実態調査より— 3. コンビニエンスストアの経営課題 IV. 中小企業政策の変遷 1. 経済民主化型中小企業政策と中小企業近代化政策 2. 知識集約化政策と競争政策
	事前学修	I. 中小企業研究の展開 教科書第4章1節・2節と第5章2節を読み、中小企業問題やベンチャービジネスについて確認すること。 II. 産業集積と中小企業 教科書第6章3節を読み、産業集積の概要について確認すること。 III. 教科書第8章と第9章を読み、中小商業の特徴と商業政策の変遷について確認すること。 IV. 教科書第11章を読み、戦後の中小企業政策の変遷を確認すること。
	事後学修	授業の際に配布する資料と教科書の該当箇所を読みなおす。授業の要点をまとめること。



## ◆授業概要

Students will have the chance to listen to conversations and model them in various role play situations. Through such practices, students will exchange information and ideas with their peers. Students will be asked to hand in classwork from time to time.

## ◆学修到達目標

This course is aimed at giving students the tools and the opportunity to speak with other students in a friendly setting. We hope to build confidence in using English while discussing a wide range of topics.

## ◆授業方法

The teacher will provide a model conversation to be followed. Questions will be explained and example answers will be given for each question. Students will have the opportunity to practice tasks with various members of the class in large and small groups.

## ◆履修条件

This course is open to all students. The content is set at beginner levels and progresses to pre-intermediate. The course requires active participation.

## ◆成績評価基準

Class participation and in-class assignments (80%). 1 test (20%).

## ◆教科書

特になし

## ◆参考書

特になし

## ◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上で行う。

## ◆授業計画

## ・オンデマンド

授 業 内 容	Listen to the conversation and check the best answers for 'a' and 'b'. Complete the questions in 'c'. Use full sentences for each of the following topics: 1. Your Hometown 2. Employment 3. Family Ties 4. Our Friends
事 前 学 修	Take a look at the topics of discussion. Take some notes and try to foreshadow and anticipate what information will be discussed.
事 後 学 修	Try to incorporate some of the conversational strategies that you learned during the course and perhaps envision and create some role plays on how you can use follow up questions.

## ・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	Listen to the conversation and check the best answers for 'a' and 'b'. Complete the questions in 'c'. Use full sentences for each of the following topics: 5. Food For Thought , 6. Time And Money, 7. Staying Healthy, 8. Going Traveling, 9. Shop Til You Drop, 10. Music
2 日 目	授 業 内 容	Listen to the conversation and check the best answers for 'a' and 'b'. Complete the questions in 'c'. Use full sentences for each of the following topics: 11. Sports Of Sorts, 12. Pets And Animals 13. Let's Watch 14. Reading, 15. Time For Holidays. There will be a review-style test that covers questions from each of the previous topics.
事 前 学 修		Take a look at the topics of discussion. Take some notes and try to foreshadow and anticipate what information will be discussed.
事 後 学 修		Try to incorporate some of the conversational strategies that you learned during the course and perhaps envision and create some role plays on how you can use follow up questions.

## 〔国際法〕

渡部 茂己

◆**授業概要** 「国際社会」を規律する法規範としての「国際法」は、どのような形で存在しているのか（法源）、どのようにして定立されるのか（立法）、もし守らない場合にはどのような制裁を受けるのか（適用・執行）、また、国際法主体としての国家や国際司法裁判所などの基本的な事項を学び、国内法や国際私法との違いを理解する。なお、昭和 61 年～63 年にかけて「総合研究開発機構（NIRA）」嘱託として勤務し、国際関係の研究に関わる『海外研究機関要覧』（単著）などを纏めた経験も反映する。

◆**学修到達目標** 「国際法」はどのような形で存在しているか（法源）、だれがどのようにして定立するのか、また、国際法の適用や執行について説明できる。そして、国際法主体としての国家や国際社会の裁判所について要点を説明できる。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

授業動画は内容に沿って分割し、番号等を付している。番号順に全体を視聴し、難しかった箇所は教科書を読みつつ、重点的に繰り返し視聴するとよい。それでも理解できない点については質問すること。

動画には課題が含まれている場合がある（その場合には明示する）。

#### ・対面授業

教科書とパワーポイントを用いた講義を中心に、課題についての小論文作成、討議も併用する。

（提出された小論文は時間的に可能であれば返却する。）

国際裁判の内容やプロセスについて、視聴覚教材を参考として用いる。

◆**履修条件** 令和 2 年度東京スクーリング「国際法」（渡部茂己）との積み重ね不可。

◆**教科書** **通材** 『科目名 K31100』通信教育教材（教材コード 000462）『国際法』（市販の『国際法・第 3 版』渡部茂己・喜多義人編（弘文堂、2018 年、第 2 刷り 2021 年）と同じ。）

### ◆参考書

◆**成績評価基準** オンデマンド授業および対面授業内で出される課題についての数回の小論文の合計（全体の 50%）、対面授業の最後にまとめる授業内レポート（全体の 50%）。オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねる。

◆**授業相談（連絡先）**：watanabe@tokiwa.ac.jp

### ◆授業計画〔各 90 分〕

#### ・オンデマンド

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国際法と国際私法、国際法の起源と国際私法の起源</li> <li>■国際法の意義・基本原理と諸分野、国際社会の特質、国内社会（の法）との違い</li> <li>■国際法と国家 I（国家の成立、国家承認の理論と実際の事例）</li> <li>■国際法と国家 II（国家の国際交渉機関、国家の国際責任）</li> <li>■国家の領域、海洋法</li> </ul>
事前学修	教科書第 1 章および第 3 章～第 7 章を読み理解する。
事後学修	授業内容を復習し、理解を深める。課題を完成させ、提出する。

#### ・対面授業

1 日目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国際法の法源（形式的法源と実質的法源、条約と国際慣習法）</li> <li>■国際公域の国際法・国際海底機構</li> <li>■国際公域の国際法・宇宙法</li> <li>■国際紛争の平和的解決の諸手段（国際司法裁判所に関する視聴覚教材を含む）</li> <li>■国際安全保障</li> </ul>
2 日目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国際安全保障に関する視聴覚教材（予定）</li> <li>■国際法と個人・基本的人権の国際的保護</li> <li>■国際法と女性の地位・UPR（普遍的定期的レビュー）</li> <li>■難民・人の移動と国際法・先住民族と国際法</li> <li>■国際法と地球環境</li> <li>■国際法と国際経済</li> </ul>
事前学修	教科書の該当箇所（7 章、14 章、15 章、9 章、10 章、11 章←授業順序に即した該当章）を読み、それぞれの概要を確認する。	
事後学修	授業終了後に授業内容と教科書を振り返り、理解を深める。	

## 〔国文学概論〕

近藤 健史

◆**授業概要** 通信教育部の1・2号館は、千代田区九段南に、3号館は五番町にある。この付近の千代田区番町麴町周辺は、江戸の旗本屋敷の面影がわずかながら残っている。この辺りには、かつて文人たちが多く住んでいた。この講義では、指定教科書に登場する主な「文人」スポットと関連のある作家、作品、文学的背景などについて概説する。また、校外学修として歴史と文化を感じながら「文人たちのまち」を歩くことを予定している。

◆**学修到達目標** 国文学のさまざまなジャンルの作家や作品に触れ、それぞれの文学観を身につけることを目標にする。また、そこから各自が個々の作品と向かいあったとき、作品の読解力や国文学に対する理解を深めるようになる。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

指定教科書や映像を利用して講義形式で行う。

#### ・対面授業

指定教科書、映像、プリントを用意して講義形式で行う。また校外学修として「四谷駅→二七通り→番町学園通り」をコースを歩き作品の理解を深める。

◆**履修条件** 令和2年度東京スクーリング（5月期）「国文学概論」（近藤健史）とは積み重ね不可。

◆**教科書** 〔函〕『文人たちのまち 番町麴町』新井巖 言視舎,2019年

◆**参考書** 教科書の巻末に「主な参考文献」が記載されている。

ネットで検索し「現代番町麴町絵図」のイラストマップをダウンロードできる。

◆**成績評価基準** 試験 80%, 授業参画度 20%

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

### ◆授業計画〔各90分〕

#### ・オンデマンド

授業内容	1, 「国文学概論」, 「文人のまち番町麴町」について。2, 有島家をめぐる「白樺派」の文人たち。3, 番町時代の泉鏡花。4, 島崎藤村と「明治女学校」。5, 番町で産声をあげた武者小路実篤と女たち。6, 麴町と樋口一葉。7, 『明星』創刊の地・番町。8, 番町麴町界隈の詩人・歌人・俳人。9, 番町界隈で過ごした放蕩無頼の文人たち。10, 国木田独歩の恋と番町麴町界隈。以上について講義する。
事前学修	1, 御屋敷町・文人通りという土地柄について調べておくこと。2, 有島3兄弟と「白樺派」について調べておくこと。3, 泉鏡花, 島崎藤村, 武者小路実篤, 樋口一葉, 与謝野鉄幹, 与謝野晶子の文学活動について調べておくこと。4, 蒲原有明, 高浜虚子, 島木赤彦, 吉井勇の詩人・歌人・俳人たちについて調べておくこと。5, 永井荷風, 国木田独歩の文学活動について調べておくこと。
事後学修	番町・麴町に住んでいた文人と作品, 文人たちとの交流関係を確認し, 番町麴町が「文人のまち」と呼ばれたことを理解する。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	1, 吉行エイスケと内田百閒の見た番町。2, 岡本綺堂の描いた番町麴町の風景。3, 番町を愛した作家たち。4, 気骨ある言論人たちの住んだ町。以上について講義する。
2日目	授業内容	1, 先進的な女性を多数輩出した「明治女学校」とその卒業生について講義する。2, 校外学修として, 「まちの記憶」保存プレートを見つけながら「文人たちのまち」を歩き, 理解を深める。
	事前学修	以下の作家の文学的活動を調べておくこと。1, 吉行家の作家たち。2, 内田百閒。3, 平塚らいてう。4, 明治期の先進的な女性たち。
	事後学修	それぞれの文人たちの作品と文学活動を確認する。また, 関連する作品を読むことで理解を深める。

## 〔新聞英語〕

桑山 啓子

- ◆**授業概要** インターネット等の普及で現在は世界中の新聞を読むことが出来るようになった。その国で起きたこと、その国民の思想など、色々な情報をネット配信や紙面の新聞から得ることが出来る。  
英語で書かれた新聞記事の構成、英文の読み方などを学ぶ。
- ◆**学修到達目標** 英語で書かれた新聞記事を見て、記事の構成（Headline, Lead, Body）を判断できる。英文の記事全体の内容を日本語で説明することが出来る。明らかに新聞英語の特徴となっているところを指摘することが出来る。
- ◆**授業方法**
  - ・**オンデマンド**  
動画を配信して、その中でテキストの英文の解説、Exercises の解答と解説を行う。テキストを見ながら動画の説明を聴き、わからないところは動画を繰り返して視聴する。動画と課題の配信はオンラインの Google classroom で行う。課題の授受も Google classroom で行う。Google classroom に課題が設置してある場合は課題に取り組んで提出する。テキストは 1 回 90 分授業と考えて Unit を 1 つ終わらせる。
  - ・**対面授業**  
対面授業を受ける前にオンデマンドで配信した動画を全て視聴すること、課題も期限内に提出すること。  
対面授業では、最初に新聞記事の英文の音声を CD で聴く。その後で学生さんたち一人一人が新聞記事の英文を音読して和訳する。次に教師が新聞記事の英文で重要な点と Exercises の解説を行う。テキストは 1 回 90 分授業と考えて Unit を 1 つ終わらせる。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**教科書** 丸沼『Meet the World 2121』若有保彦 成美堂
- ◆**参考書**
- ◆**成績評価基準** 対面授業最終日の最後の 1 時間で試験を行う。(50%) Google classroom に掲載された課題は全て提出すること。(30%) そして対面授業の時に一人 1 回ずつテキストの英文について和訳や解説などの発表をもらう。(20%) オンデマンド授業と対面授業の両方に全て出席していることを前提として評価する。オンデマンド授業では動画の視聴と課題の期限内の提出で出席とする。
- ◆**授業相談（連絡先）**：質問や連絡はメールか Google classroom のコメントでお願いします。メールアドレスは Kuwayama.keiko2020@nihon-u.ac.jp です。  
1 日 1 回は確認する予定ですが、他大学、他学部の授業の合間にメールを確認するため、時間指定が出来ません。時間がかかることもありますが、必ず返信はしますのでお待ちください。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

#### ・オンデマンド

授業内容	1 回の授業でテキストの Unit 1 つを終わらせる。動画と課題は 1 回の授業ごとに分けて 5 回配信する。 (第 1 回) Unit 1: reading, While reading 1, 3, 5 (第 2 回) Unit 2: reading, While reading 1, 3, 5 (第 3 回) Unit 3: reading, While reading 1, 3, 5 (第 4 回) Unit 4: reading, While reading 1, 3, 5 (第 4 回) Unit 4: reading, While reading 1, 3, 5
事前学修	テキストの reading の英文はわからない語を辞書で調べて、英文全体の内容をとらえたうえで、わからない部分を抜き出して和訳する。本文を読んだら While reading 1, 3, 5 の問題を解く。
事後学修	動画を視聴した後で、英文の説明や Exercises の解答と解説を聴いて、自分が事前学修で作った解答を合わせて間違えたところを復習する。

#### ・対面授業

1 日目	授業内容	(午前) ① Unit 6: reading, While reading 1, 3, 5 ② Unit 7: reading, While reading 1, 3, 5 (午後) ③ Unit 8: reading, While reading 1, 3, 5 ④ Unit 9: reading, While reading 1, 3, 5 ⑤ 復習
2 日目	授業内容	(午前) ① Unit 10: reading, While reading 1, 3, 5 ② Unit 11: reading, While reading 1, 3, 5 (午後) ③ Unit 12: reading, While reading 1, 3, 5 ④ 復習及び試験勉強 ⑤ 試験
	事前学修	2 日間で Unit 6 - 12 まで読むので対面授業が始まるまでに予め読んでおくこと。わからない語を辞書で調べて、意味を理解できない英文は和訳しておくこと。本文を読み終えたら Exercises の問題を解く。
	事後学修	授業で解説などを聴いて、本文の英文を解釈間違っていたところや Exercise の答えを間違えたところをよく復習すること。覚えていない重要な語（句）を覚える。

## 〔英語学演習Ⅰ～Ⅲ〕

真野 一雄

◆**授業概要** 時制と相について概観し、現在時制、過去時制の意味機能について、時と時制が言語表現とどのようにかかわっているか、広い視点で理解できることを心掛ける。

◆**学修到達目標** 現在時制、過去時制の意味機能について考察することにより、基本的知識から専門的知識まで幅広く修得し、説明できるようになる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

授業動画は内容にそって分割し、番号を付している。まずは、全体を順に視聴すること。一度の視聴で分からなかった内容の動画は重点的に繰り返して視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。現在時制、過去時制の意味機能について、テキストを理解し、要点を整理し、問題点を解決していく。なお、課題がある場合は、STREAMで行う。

・対面授業

オンデマンド同様、現在時制、過去時制の意味機能について、テキストを理解し、要点を整理し、問題点を解決していく。オンデマンド授業で提示された動画は必ず視聴していること。パラグラフの分析を行い、その分析を踏まえながら説明を加える。内容の要約を皆さんが作成し、テキストの理解を深める。英語という言葉の時制システムについての知識を深める。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 丸沼 吉良文孝『ことばを彩る 1 テンス・アスペクト』 研究社

◆**参考書** 丸沼 柏野健次『テンスとアスペクトの語法』（開拓社叢書） 開拓社

丸沼 田中江扶, 本田謙介, 島山雄二『時制と相』（ネイティブ英文法） 朝倉書店

丸沼 宗宮喜代子, 糸川 健, 野元裕樹『動詞の「時制」がよくわかる英文法談義』 大修館書店

◆**成績評価基準** 試験を中心に受講状況その他を加味して評価の予定。

◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom のストリームでご質問下さい。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	第1章「時と時制と相」 1.1 時と相 1.2 時の3区分と時制 1.3 時制と相のパラダイム 第2章「単純現在時制の意味機能」 2.1 断定性の緩和と矛盾文 2.2 モーダル文と現在時制文（非モーダル文）
事前学修	第1章「時と時制と相」では、テキスト p. 2-p. 11 を読み、問題点を整理しておく。 第2章「単純現在時制の意味機能」では、テキスト p. 12-p. 18 を読み、問題点を整理しておく。
事後学修	学修内容をまとめ、理解を深めておく。

・対面授業

1日目	授業内容	第2章「単純現在時制の意味機能」 2.3 定言的断定文とモーダル文の確信度 2.4 確信度の立場から見た単純現在時制のメカニズム 2.5 名詞節における現在時制文とモーダル文 2.6 条件節における現在時制（非モーダル文）と認知的 will 2.7 条件文帰結節における will と be going to の意味機能
2日目	授業内容	第3章「過去時制の意味機能」 3.1 過去時制の中核的意味 3.2 過去時制の基本用法 3.3 推意と推意のキャンセル 3.4 話し手の態度を表す過去時制（丁寧用法） 3.5 過去時制による事態の生起順序 及び、試験とその解説
	事前学修	第2章「単純現在時制の意味機能」では、テキスト p. 19-p. 100 を読み、問題点を整理しておく。 第3章「過去時制の意味機能」では、テキスト p. 101-p. 126 を読み、問題点を整理しておく。 試験に対しては1章～3章の総復習をしておく。
	事後学修	学修内容をまとめ、理解を深めておく。1章～3章のまとめをし、理解を完璧にする。試験で間違えたところは、なぜ間違えたのかよく考える。



## 〔哲学概論〕

齋藤 隆

◆**授業概要** 今回のスクーリングでは西洋思想史における古代哲学と中世哲学の概要の理解を目指す。人類の登場から哲学の誕生に至る過程を理解する。ミュートスからロゴスへの移行の展開を把握する。具体例として日本神話、北欧神話を取り上げる。世界における哲学の三つの伝統を確認し古代ギリシアに始まる哲学の展開を理解する。その後でキリスト教と中世哲学の展開を理解し、ヨーロッパ文明形成におけるヘレニズムトヘブライズムの主導的役割の理解をも目指す。

◆**学修到達目標** ミュートスからロゴスへの移行の展開を把握し、その世界史的な意義を理解する。古代ギリシア哲学の展開とキリスト教の影響を色濃く受けた中世哲学の展開の把握を目指す。そしてヨーロッパ精神文明形成に果たしたギリシア思想とキリスト教の役割を理解し、それを第三者に説明できるようにする。

### ◆**授業方法**

#### ・オンデマンド

授業動画は内容に沿って分割し番号を付している。まず番号順に従って一度全体を概観すること。一度の視聴で理解できないところはチェックをし、そこを含んだ番号動画を繰り返し視聴するように。それでも理解できないところや疑問点などは対面授業の時に質問するように。Classroom の指示に従ってください。

#### ・対面授業

第一日目の時にまず皆さんの質問を受けることから始めます。そのあとで動画番号順に従ってテキストと添付資料を用いてより詳しい理解ができるように講義する予定です。第二日目に課題にこたえてもらいそれをもとに最終的な評価をする予定です。

◆**履修条件** 令和2年度東京スクーリング（5月期）『哲学概論』とは積み重ね不可

◆**教科書** **【教材】**『哲学』（『西洋思想の要諦周覧』）  
資料配布（Classroom）file を classroom に添付する。

### ◆**参考書**

◆**成績評価基準** 対面授業への全出席を前提にし、オンデマンド授業の視聴を確認したうえで、最終日に提出してもらうレポートを中心に総合的に評価する。個人的事情については相談に応じる。

◆**授業相談（連絡先）**：classroom 上にて行う。

### ◆**授業計画〔各 90 分〕**

#### ・オンデマンド

授業内容	授業動画1－人類の登場から哲学の誕生に至る過程 file を用いて説明する。 授業動画2－ミュートスからロゴスへの移行の展開を把握する。日本神話名に言及。 授業動画3－ソクラテス以前の哲学者たちの思想を説明する。 授業動画4－ソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想を概観する。 授業動画5－中世哲学の展開を概観する。
事前学修	授業動画ごとの内容に関連するテキストと添付資料の当該箇所を2～3回読んでおく。Classroom にその箇所を明記しておく。理解できない箇所があればそれをチェックし、その内容を含む授業動画を繰り返し見る。対面授業の折に質問する準備をしておくように。
事後学修	テキストや添付資料を読み込むこと。哲学の内容は分かったようでわからない箇所が多いので繰り返し読みこむ努力をするように。大まかな思想史の流れを念頭に置いて、取り上げた思想家、哲学者の思想的特徴を表す表現を記憶するよう努力すること。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	オンデマンド授業の視聴内容で理解できなかったところについての質問に答えることから始める。古代哲学で重要な二大哲学者プラトンとアリストテレスの思想を詳細に取り扱う。次に古代哲学の総決算といわれる新プラトン派の思想を取り上げる。キリスト教について基本的知識の確認を行う。
2日目	授業内容	新プラトン派から展開される中世哲学の二つの系統を、即ち正統の流れと神秘主義の流れを取り上げる。その中の重要な思想家はいうまでもなくアウグスティヌスとトマス・アクィナスである。
	事前学修	classroom に指示を出すので、それに従って授業で取り上げる思想家、哲学者の思想に関連する箇所を、テキストと添付資料で確認しよく読み込んでおくこと。添付資料は必ず紙媒体にして手元に置いておくように。
	事後学修	授業で扱った思想家、哲学者について、その大まかな思想史上の位置づけを念頭に置きながら、その人物の思想的特徴を表す表現を理解し、第三者に説明できるようにしておく。

## ◆授業概要

歴史学において必要な広く史料論について講義した上で古文書の様式と機能について講義する。また古文書の写真や web 上で利用できる古文書を使用して古文書の機能の実際を学ぶ。

## ◆学修到達目標

古文書の様式や機能を理解する事で、古文書読解の基礎力を習得する。また、複数の文書がどのように機能するかも学び、卒業論文作成の基本的な能力を身につける。

## ◆授業方法

## ・オンデマンド

オンデマンド授業動画により実施する。動画は大きく 5 つに分かれている。ただし動画を見やすくするため、ひとつの動画を分割している場合がある。

## ・対面授業

講義方式で行う。前半ではプリントを中心に講義する。後半ではテキストを指定するが、適宜 web 上で利用できる古文書のデジタルデータを利用する。

## ◆履修条件

なし

## ◆成績評価基準

リアクションペーパーなどの平常点 20% 試験 80%

## ◆教科書

市販本 神奈川県立歴史博物館コレクション展図録『桜井家文書－戦国武士がみた戦争と平和－』神奈川県立博物館 2019 年

## ◆参考書

佐藤進一『古文書学入門』法政大学出版会 2003 年

飯倉晴武『古文書入門ハンドブック』吉川弘文館 1993 年

## ◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う。

## ◆授業計画

## ・オンデマンド



授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに 史料論</li> <li>・ 1、古文書の様式 (1) 様式の分類</li> <li>・ (2) 公式様文書 (詔書・勅旨を中心に)</li> <li>・ (2) 公式様文書 (その他の公式様文書)</li> </ul>
事 前 学 修	参考書などを利用して該当部分の文書様式を学習しておくこと。特に各文書の形態と機能について事前に学習しておくこと。
事 後 学 修	授業で学習したことを自分で整理しておくこと。特に各文書の形態と機能をきちんと理解しておくこと。

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	(3) 公家様文書 (宣旨・官宣旨を中心に) (3) 公家様文書 (御教書を中心に) (4) 武家様文書 (下文を中心に) (4) 武家様文書 (下知状を中心に) という五つの内容で講義する。
2 日 目	授 業 内 容	2、古文書の実例 東寺百合文書に見る古文書の発給過程とその機能 (矢野荘の悪党事件) 桜井家文書とは桜井家文書の中世桜井家文書の近世まとめと試験
事 前 学 修		1 日目は参考書などを利用して該当部分の文書様式を学習しておくこと。特に各文書の形態と機能について事前に学習しておくこと。2 日目は関係するプリントとテキストを熟読すること。
事 後 学 修		授業で学習したことを自分で整理しておくこと。特に各文書の形態と機能をきちんと理解しておくこと。また試験の内容を含めてよく復習し理解を深めること。

**◆授業概要**

経済地理学は、地表面上のあらゆる経済現象の地理的な広がりを対象とする学問である。本授業では、地理学の基本的な考え方を概観した上で、経済地理学の課題と方法について理解を深める。また、特定の産業や地域を事例に、経済現象の地理的な差異が生じる要因について解説する。

**◆学修到達目標**

経済地理学の研究領域について理解を深め、経済現象の地域差の要因について説明することができる。

地理学的観点に立ち、地域の特徴を説明することができるようになる。

**◆授業方法**

## ・オンデマンド

オンデマンド授業動画により実施する。動画は、いくつかのファイルに分割するので、視聴の合間にノートを整理したり、不明点を調べたりすること。質問等は、Google Classroomにて受け付け、適宜回答する。

## ・対面授業

プレゼンテーションソフトを用いた講義形式で進める。理解度を確認するために、小レポートや小テストを実施する。

**◆履修条件**

なし

**◆成績評価基準**

試験の結果（50%）、授業内レポートおよび小テスト（30%）、授業への参画度（20%）

**◆教科書**

なし

**◆参考書**

資料配布（Classroom）必要に応じて、適宜配布する。

**◆授業相談先（連絡先）**

Classroom上にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>ガイダンスとして、授業方法や課題について説明した上で、地理学の基本的な考え方を説明する。そして経済地理学に関わる諸分野について紹介し、経済地理学がどのような学問分野なのかを解説する。</p> <p>動画は、受講者の負担を考慮し、いくつか分割して配信する。動画には番号をつけて掲示するので、順番に視聴すること。また、視聴の合間に、ノートを整理事を勧める。</p>
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておく。</li> <li>・ 「地理学」、「人文地理学」、「経済地理学」について、それぞれの意味を調べておくこと。</li> </ul>
事 後 学 修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中に説明した内容を理解できるようにまとめておくこと。</li> <li>・ 不明点について、その意味を十分に調べておくこと。</li> </ul>

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	<p>経済地理学の課題と方法を説明した上で、産業と地域社会の関係について説明する。</p> <p>授業中に提示する地域問題について受講生一人一人に考えてもらう。</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>観光政策と地域の活性化について説明した上で、具体的な事例地域を取り上げながら、現代の日本が直面する課題を紹介する。</p> <p>授業中に提示する地域問題について受講生一人一人に考えてもらう。</p>
事 前 学 修		<p>* 事前学修は、対面 1 日目の前までに行うことを想定している。</p>
事 後 学 修		<p>* 事後学修は、対面 2 日目を終えた後に行うことを想定している。</p> <p>* 対面 1 日目終了後の事後学修は負担が大きいと考えられるので、ノートの振り返りなどに留めて構わない。</p> <p>・ 授業で解説した内容について、整理したり要約したりして理解を深めること。</p>

## ◆授業概要

技術だけでは商品足りえず、買い手が現れてはじめて商品となる。本講では、売買の対象となる商品について、何をどのようにデザインするのか検討する。従来は品質を中心に議論されてきたが、消費者の価値観が多様化している現代において、その評価軸も多様・複雑化している。とくに近年、商品のコモディティ化が進み、差別化要素を機能的価値以外にも求めなければならない。これら変化を踏まえ、商品デザインに新たな視座を取り入れる。

## ◆学修到達目標

商品設計の基本となるマーケティングおよび消費者行動に関わる諸理論を理解する。それに加えて、価値と知覚、ブランド、サービス、顧客体験、顧客との絆といった諸概念について学び、売買の対象となる「商品」とは何か、その設計にはどのような要素を考慮する必要があるのか、理解を深める。内容は商・経営専攻の大学学部 2, 3 年生レベルに相当する。

## ◆授業方法

## ・オンデマンド

Google Classroom を使用したオンデマンド教材（5 回分、各回 60－80 分程度）を視聴し、学修する方法をとります。受講者は、授業計画（オンデマンドの事前学修および事後学修欄も）を参照のうえ、教科書中該当ユニットの冒頭にあるケースを解き、その答えを各自 1200－2400 字程度にまとめ、対面授業に臨むこと。

## ・対面授業

対面授業では、オンデマンド授業の補足説明とケースメソッドを行い、それを踏まえ課題の作成を行う。

## ◆履修条件

なし

## ◆成績評価基準

対面授業前に作成したレポート（30%）、発表および授業への参加・貢献（30%）、授業中に作成するレポート（40%）

## ◆教科書

市販本 『マーケティングをつかむ 新版』 黒岩健一郎・水越康介 有斐閣 2018 年

## ◆参考書

市販本 『1からのマーケティング 第4版』 石井淳蔵他 碩学舎 2019 年

市販本 『コトラー & ケラーのマーケティング・マネジメント 第12版』 フィリップ・コトラー他 丸善出版 2014 年

市販本 『ゼミナール マーケティング入門 第2版』 石井淳蔵他 日本経済新聞社 2014 年

市販本 『1からの消費者行動』 松井剛他 碩学舎 2016 年

## ◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>第1回 消費者行動および購買意思決定に影響を与える諸要因を説明する(教科書 Unit2, 3)</p> <p>第2回 経営環境の把握と STP アプローチについて説明する(教科書 Unit5, 6)</p> <p>第3回 新商品の開発プロセスと商品の価格政策について説明する(教科書 Unit7, 8, 9, 10)</p> <p>第4回 商品のプロモーション政策と商品の流通政策について説明する(教科書 Unit11, 12, 13, 14)</p> <p>第5回 商品としてのサービスについて説明する(教科書 Unit22)</p>
事 前 学 修	事前学修として、教科書 Unit 1 – 17 (Unit 4 を除く) および 20 – 22 を読むこと。
事 後 学 修	事後学修として、教科書 Unit 2, 3, 5, 8, 14, 22 の冒頭にあるケースを解き、その答えを各ケースにつき 1200 – 2400 字程度にまとめ、対面授業に臨むこと。形式については、オンデマンド受講時に指示する。なお、課題作成の際は、教科書以外に参考書なども踏まえること。

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	①消費者行動および購買意思決定に影響を与える諸要因のケースメソッド、②経営環境の把握と STP アプローチのケースメソッド、③新商品の開発プロセスと商品の価格政策のケースメソッド、④商品のプロモーション政策のケースメソッド、⑤商品の流通政策のケースメソッドを行う。
2 日 目	授 業 内 容	①商品としてのサービスのケースメソッド、②マーケティングの基本戦略、③製品ライフサイクル別戦略、④市場地位別戦略、⑤ブランドについて説明およびケースメソッドを行う。
事 前 学 修		対面授業1日目の前の事前学修として。事前学修として、オンデマンドの事後学修を行うこと(教科書 Unit 2, 3, 5, 8, 14, 22 の冒頭にあるケースを解き、その答えを各ケースにつき 1200 – 2400 字程度にまとめ、対面授業に臨むこと。形式については、オンデマンド受講時に指示する。なお、課題作成の際は、教科書以外に参考書なども踏まえること。
事 後 学 修		対面授業2日目の後の事後学修として。対面授業のケースメソッドおよび講義を参考に、レポートを作成する。なお、課題作成の際は、教科書以外に参考書なども踏まえること。

令和3年度東京スクーリング(6月期)第1期開講講座一覧

講座コード	科目名	開講 単位数	担当教員名	科目コード	科目名	併用	配当学年	備考	
DBA1	英語 A	1	レビー クリストファー	C10100	英語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III		2年		
				C10400	英語 IV				
DBA2	体育実技 I・II	1	高橋 正則	J101S0	体育実技 I	×	1年		・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・ I, II のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず確認してください。
				J102S0	体育実技 II				
DBA3	商法 III	2	大久保 拓也	K30700	商法 III		2年		
DBA4	国文学講義 VI(現代)	2	徳本 善彦	M31000	国文学講義 VI(現代)		2年		
DBA5	英米文学演習 I～III	1	小田井 勝彦	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・ I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
DBA6	倫理学概論	2	江川 晃	P30500	倫理学概論		2年		
DBA7	日本史入門	2	小川 雄	Q20100	日本史入門		※	・史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
DBA8	金融機関論	2	谷川 孝美	S311S0	金融機関論		2年		
DBA9	人文地理学概論	2	落合 康浩	T22200	人文地理学概論		2年		

令和3年度東京スクーリング(6月期)第2期開講講座一覧

講座コード	科目名	開講 単位数	担当教員名	科目コード	科目名	併用	配当学年	備考
DBB1	法学(日本国憲法2単位を含む)	2	水野 正	B11500	法学(日本国憲法2単位を含む)		1年	
DBB2	英語 B	1	齊藤 雄介	C10100	英語 I		1年	・ I ~ IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語 II		2年	
				C10300	英語 III			
				C10400	英語 IV			
DBB3	労働法	2	新谷 真人	K31300	労働法		2年	
DBB4	アメリカ文学史	2	北原 安治	N30200	アメリカ文学史		2年	
DBB5	東洋思想史 II	2	梅川 純代	P30700	東洋思想史 II		2年	
DBB6	金融論	2	谷川 孝美	R31800	金融論		2年	
DBB7	証券市場論	2	酒巻 雅純	S30800	証券市場論		2年	
DBB8	英語科教育法 II	2	市川 泰弘	T21000	英語科教育法 II	×	2年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
DBB9	生涯学習論	2	三輪 建二	Y20100	生涯学習論	×	2年	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。

**◆授業概要**

General English students will be exposed to daily English usage through print and videos. They will also have the opportunity to discuss and exchange opinions and ideas with partners English Communication I will be taught in English. The course will cover a variety of topics that will help students communicate in English more confidently and effectively. We will also go over different areas of basic pronunciation and grammar.

**◆学修到達目標**

The general English course aims to strengthen all aspects of the student's English-speaking ability. Students to be able to use English to complete basic communication tasks and they will also gain confidence communicating in English in daily interactions.

**◆授業方法**

This class is 5 sessions on-demand and 2 day-long face-to-face sessions. During the on-demand classes students will introduce each topic and grammar point through an instructional video and other sources. Students will then complete written English speech activities and practice speaking skills. Then we will practice those activities in the face-to-face setting. Motivation is key. Practice at home and you will improve.

**◆履修条件**

特になし

**◆成績評価基準**

We will announce it at the beginning of the class.

**◆教科書**

All materials provided by the instructor.

**◆参考書**

Dictionary or smartphone with a good dictionary application (Google translate is recommended). Notebook for new vocabulary and lecture notes.

**◆授業相談先（連絡先）**

Classroom 上にて行う



◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>Self-introduction Methods. Meeting and greeting conversation starters.</p> <p>Everyday greetings. How greetings, keeping a conversation going, rejoinders, follow-up questions and voice inflection.</p> <p>Using small talk. How to end a conversation. Daily routines, frequency verbs and keeping a schedule.</p> <p>Expressing likes and dislikes. Expressing your opinion and giving advice.</p> <p>Talking about the past and the future. Expressing regrets. Probability.</p>
事 前 学 修	<p>Review the "How to study new vocabulary" PDF</p> <p>Review all of the previous course material.</p>
事 後 学 修	<p>Write and practice a self-introduction. Take a video or voice memo of yourself.</p> <p>Watch video. Do the writing tasks. Take a video or voice memo of yourself.</p>

・対面授業 (Zoom)

1 日 目	授 業 内 容	Face to face day 1. Practice all of the activities from on-demand day 1-3.
2 日 目	授 業 内 容	Face to face day 2. Practice all of the activities from on-demand day 4-5.
事 前 学 修		Review all of the previous course material.
事 後 学 修		Review all of the previous course material. Finish any outstanding tasks.

# 講座内容（シラバス）

## 〔体育実技Ⅰ・Ⅱ〕 高橋 正則・水落 文夫・佐藤 秀明・佐藤 佑介・深見 将志

◆**授業概要** 現代の高齢社会では、健康を維持・増進するためには、適度な運動習慣を生活習慣に取り込むことが求められる。そこで、まず自己の体力の現状を把握し、身体運動の継続的な必要性について認識を高める。そして、年齢や体力レベルに応じた運動参加への具体的方法を理解し、スポーツ実践に取り組むとともに、それらを通して他者とコミュニケーションを活発に図ることで社会的スキルも養う。そのためにも、1日20分以上の連続歩行や軽い柔軟運動の実施を心がけ、日頃からコンディションの維持が大切となる。特に、トレーニングコーチ（日本オリンピック委員会強化スタッフまたはスポーツメンタルトレーニング指導士など）として体カトレーニングやメンタルトレーニングの指導実績を生かし、実践的で効果的な健康教育に関する知識を授業に反映させている。

◆**学修到達目標** 多くの運動やスポーツの実践を通して、その楽しさや、理論的背景に基づいて具体的方法を学び、自らが身体活動を継続して実施することの重要性を認識できるようになる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

全15回で構成されて授業は、それぞれ運動課題と研究課題から成っている。運動課題では、実際に行う運動について動画資料を確認しながら実施し、その結果についてClassroom上で回答し、振り返る。また、研究課題については、指示された資料を閲覧後、Classroom上で感想を述べたり、クイズに解答することで振り返りを促す。また、授業の最後には最終レポートを求める。

・対面授業

◆**履修条件** なし

◆**教科書**

◆**参考書** 〔**汎用**〕『大学生のための最新健康・スポーツ科学』 日本大学文理学部体育学研究室編、八千代出版、2019年

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（運動課題30%、研究課題30%）、最終レポート40%（自己の体力に合った運動への理解と遂行を含む）によって総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に伝える。

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	<p>第1日目 第1回&lt;実技課題&gt;上体起こしテスト、&lt;研究課題&gt;テスト結果の客観的評価 第2回&lt;実技課題&gt;ドローイン、&lt;研究課題&gt;スポーツの歴史調査 第3回&lt;実技課題&gt;閉眼片足立ち、&lt;研究課題&gt;熱中症予防について</p> <p>第2日目 第4回&lt;実技課題&gt;スロートレーニング1（ワイドスクワット・クランチ・プッシュアップ）、&lt;研究課題&gt;メタボリックシンドロームについて 第5回&lt;実技課題&gt;スロートレーニング2（足踏み、首周辺・上腕二頭筋・肩甲骨周りの運動）、&lt;研究課題&gt;スポーツ権について 第6回&lt;実技課題&gt;スロートレーニング3（上記1・2のコンバインド）、&lt;研究課題&gt;スポーツ事故について</p> <p>第3日目 第7回&lt;実技課題&gt;プランク、&lt;研究課題&gt;自覚的運動強度について 第8回&lt;実技課題&gt;有酸素運動、&lt;研究課題&gt;有酸素運動について 第9回&lt;実技課題&gt;タオルストレッチ、&lt;研究課題&gt;一次救命処置、AED設置場所調査</p> <p>第4日目 第10回&lt;実技課題&gt;スクワットエクササイズ、&lt;研究課題&gt;朝食の重要性について 第11回&lt;実技課題&gt;座位運動、&lt;研究課題&gt;ストレスとその過程 第12回&lt;実技課題&gt;有酸素運動、&lt;研究課題&gt;運動好きと運動嫌い</p> <p>第5日目 第13回&lt;実技課題&gt;10回立ち上がりテスト、オーバーヘッドバランススクワット、&lt;研究課題&gt;ストレスの生理的メカニズムと健康被害 第14回&lt;実技課題&gt;立ち上がり能力テスト、筋力アップエクササイズ、&lt;研究課題&gt;呼吸調整法によるリラクゼーション 第15回&lt;実技課題&gt;ラジオ体操第三、&lt;研究課題&gt;授業の振り返り</p>
事前学修	セルフコンディショニングを徹底し、心身のコンディションの維持に留意しておくこと（計75分）。また、授業計画にある運動課題や研究課題の内容について、インターネット等を活用して事前に調査しておくこと（各5分計75分）。
事後学修	運動課題実施後には、振り返りとして運動習慣化できる可能性を検討するとともに、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底しておくこと（各運動課題10分計150分）。

・対面授業

1日目	授業内容
2日目	授業内容
事前学修	
事後学修	

# 講座内容（シラバス）

## 〔商法Ⅲ〕

大久保 拓也

◆**授業概要** この講義では、教科書第2部の支払決済法、特に「手形法・小切手法」に関する部分を取り扱う。手形法・小切手法に関する法的議論は、法解釈のトレーニングには最適であるため、手形学説と称される解釈論を、判例・通説を中心としつつ、取り扱うこととする。これによって、企業取引の決済手段に関する法知識の理解を目指す。また、電子記録債権等新しい決済方法についても理解できることを心がける。

◆**学修到達目標** 個人や企業が契約を結び、代金の支払いをする。支払をすることで代金を支払うという義務（債務）が消滅する。これを支払決済という。企業取引で使われる手形・小切手による決済はどのような仕組みか、その決済方法を理論的にどのように理解すればよいか、支払決済に法的な不備がある場合にはどのような解決策をとることができるのか。このようなことについて詳しく知り、説明することができるようになる。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

オンデマンドでは、指定教科書の該当部分を事前に予習した上で、必ず講義動画を視聴し、復習をすることが求められる。適宜課題を出すので、講義内容の理解を確認することとした。

#### ・対面授業

対面授業では、オンデマンドで理解されたことを前提に、より詳細に、手形法・小切手法の主要論点を取り扱う。さらに電子記録債権といった新しい決済方法についても取り扱う。これによって、支払決済法について理論的・体系的な理解ができるようになる。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 〔**凡例**〕『商事法教材－商法総則・商行為法・支払決済法－』松嶋隆弘＝大久保拓也編、中央経済社、2021年  
〔**凡例**〕六法（民法（債権関係、相続関係）や令和元年会社法以降のもの。最新版（2021（令和3）年版）が望ましい）

◆**参考書** 〔**凡例**〕『手形小切手判例百選（第7版）』別冊ジュリスト222号、神田秀樹＝神作裕之編、有斐閣、2014年

◆**成績評価基準** オンデマンドで出だされる課題はすべて提出すること（50%）。対面授業では授業中に実施する授業内小テストや試験（50%）。授業への参加度を考慮し、オンデマンドと対面授業を総合的に評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom 上で行う。  
必要に応じて、メールでも連絡できることとする（ohkubo.takuya@nihon-u.ac.jp）。

### ◆授業計画〔各90分〕

#### ・オンデマンド

授業内容	講義の進度に合わせて、取り扱う内容には変更がありうる。 支払決済法について、①支払決済の概要、②有価証券法の概要、③約束手形の基本的仕組み、④約束手形の記載事項、⑤約束手形の振出、等について講義動画で解説をする。 教科書の該当部分を読みつつ、講義動画を視聴し、講義で取り扱われた事項をノートにまとめる。 講義中に示された授業課題を作成する。
事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書の第2部 支払決済法の該当部分を読んでおくこと。
事後学修	講義動画を視聴したうえで講義内容をまとめたノートを確認するとともに、教科書の該当部分を読んで復習する。講義中に示された授業課題を提出する。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	支払決済法について、⑥約束手形の振出の各論的問題、⑦手形上の権利の移転、⑧手形上の権利の請求とその効果、⑨抗弁による対抗、⑩手形上の支払確保の制度、等について講義動画で解説をする。教科書の該当部分を読みつつ、講義動画を視聴し、講義で取り扱われた事項をノートにまとめる。講義中に示された内容をもとに、小テストに取り組む。 講義の進度に合わせて、取り扱う内容には変更がありうる。
2日目	授業内容	支払決済法について、⑪さまざまな手形の利用、⑫手形の喪失、⑬手形の時効、⑭為替手形と小切手、⑮新しい支払決済方法、等について講義動画で解説をする。教科書の該当部分を読みつつ、講義動画を視聴し、講義で取り扱われた事項をノートにまとめる。講義中に示された内容をもとに、小テスト・試験に取り組む。 講義の進度に合わせて、取り扱う内容には変更がありうる。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書の第2部 支払決済法の該当部分を読んでおくこと。
	事後学修	講義を聞いたうえで講義内容をまとめたノートを確認するとともに、教科書の該当部分を読んで復習する。

## ◆授業概要

明治・大正・戦前・戦後の短編小説を題材にして、それぞれの作家の特性や作品の書かれた時代背景における同時代文脈を確認しながら小説テキストの読解に取り組む。語りや文体など、小説の形式的側面に注目することでテキストに書かれた問題を見出し、小説の内容を批判的に読解する。また、詩を中心とした韻文作品も授業内で扱い韻文の読み方について理解を深める。

## ◆学修到達目標

- ・作家の特性や作品の書かれた時代背景を理解することで、小説の内容をより深く理解する。
- ・様々な小説を読むことを通じ、そこに書かれた内容から問題点を見出し、問題を様々な観点から考えることでテキストを批判的に読む視線を身につける。
- ・小説テキストに対する複数の読解を学び多様な読みの方法を知ること、他者理解の重要性について認識を深める。

## ◆授業方法

## ・オンデマンド

事前に配布した短編小説について、時代背景や読解について解説した講義動画を視聴し、課題に取り組む。受講に際しては、別途配布する講義動画に対応したレジュメを参照のこと。

## ・対面授業

事前に配布した短編小説について、作家の特性や歴史的背景などについて解説した上で、読解の事例を解説する。解説した内容や読解事例などをもとに、授業の最後にレポートに取り組む。

## ◆履修条件

なし

## ◆成績評価基準

オンデマンド授業の課題、対面授業時のコメントシートを評価の対象とする（50%）。対面授業の最終日にレポートを課す（50%）。課題とレポートの内容を合わせて評価する。

## ◆教科書

オンデマンド授業については一週間前を目途に Classroom 経由で配布。対面授業時には印刷したものを配布。

## ◆参考書

市販本『クリティカルワード 文学理論』 三原芳秋・渡邊英理・鶴戸聡編著 フィルムアート社 2020

市販本『日本の同時代小説』 斎藤美奈子著 岩波新書 2018

## ◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>動画1：オリエンテーション。授業の内容や進め方について説明する。「文学」とは何か、散文・韻文の違いや近代以降の文学の流れについて簡単に紹介する。</p> <p>動画2：寺田寅彦「団栗」を読む。小説テキストの構造について、日露戦争期の時代背景について。</p> <p>動画3：志賀直哉「焚火」を読む。「小説の筋」論争について、私小説について。</p> <p>動画4：矢田津世子「茶粥の記」を読む。「食べる」として文学について、書くことと現実について。</p> <p>動画5：太宰治「待つ」を読む。戦時中の時代背景について、戦争と文学について。</p> <p>各授業で扱う短編小説とレジュメは事前に Classroom 経由で配布します。</p>
事 前 学 修	<p>・事前に配布した短編小説を読む（30 分程度で読み終わる作品を選択してある）。小説を読んで気付いた問題点をまとめておく。</p>
事 後 学 修	<p>・動画を視聴した上で、解説した内容、小説を読んで自ら考えたことを整理し簡単な課題に取り組む。小説の問題点や時代背景についてさらに調査し、小説の内容の理解を深める。</p>

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂口安吾「真珠」を読む。太平洋戦争開戦時の状況について、特別攻撃隊について考える。</li> <li>・萩原朔太郎や中原中也などの詩を題材に、近代詩の読み方を学ぶ。</li> <li>・村上春樹「アイロンのある風景」を読む。比喻を用いて語ることについて、震災を小説に書くことの意味について考える。</li> </ul>
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多和田葉子「ゴットハルト鉄道」を読む。日本語で書くこと／他者の言葉で書くことについて、他のテキストを参照して読むことで見えてくるものについて考える。</li> <li>・川崎洋の詩、茨木のり子・石垣りんの詩を題材にして現代詩に書かれた日本語表現について考える。</li> <li>・川端康成「無言」を読む。書く言葉／しゃべる言葉について、生者と死者についてなど、様々な問題点をあげ授業の内容を整理して考えた上で、課題レポートに取り組む。</li> </ul>
事 前 学 修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に配布した短編小説を読む（30分程度で読み終わる作品を選択してある）。小説を読んで気付いた問題点をまとめておく。</li> </ul>
事 後 学 修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面授業1日目終了後には授業内容についてノートなどで振り返っておくこと。</li> <li>・授業で解説した読解方法を参考に、様々な小説を批判的に読んでみる。文学テキストに留まらず、評論や新聞など多様なメディアのテキストを批判的に読む習慣をつける。</li> </ul>

## ◆授業概要

文学作品を鑑賞する、そして分析して論じるにはどうしたらよいのだろうか。この授業では、20世紀を代表するジョイムズ・ジョイスの短編小説集『ダブリナーズ』を精読することを通じて、文学作品に対するアプローチの仕方を学び、文学作品で卒業論文を作成する上での基礎を学びます。そして作品を通じて英米文化の理解、現代社会の諸問題について考えます。担当教員は翻訳実務の経験があり、解釈の仕方なども講義します。

## ◆学修到達目標

- ・英語で書かれた文学作品について、英語のニュアンスをくみ取り作品を正しく理解する。
- ・文学作品を鑑賞、論じる上でどのような点に注目すべきかを理解する。
- ・英米文化についてより深く知る。
- ・現代社会の諸問題について考察する。

## ◆授業方法

- ・オンデマンド

文学の解釈の仕方、作家、作品についての講義動画を視聴します。その後それを参考に作品の読解を各自進め、作品の語彙と内容に関するオンデマンド課題を提出します。

- ・対面授業 (Zoom)

作品を丁寧に精読していきます。作品の細部に関して質疑応答をすることで、一緒に作品の解釈を試みていきます。学生の積極的な発言を求めます。授業後、授業内容を踏まえてレポートを作成していただきます。

## ◆履修条件

令和3年度春期夜間スクーリング『英米文学演習』とは積み重ね不可。

## ◆成績評価基準

オンデマンド課題(30%)、授業での貢献度(40%)、レポート(30%)です。オンデマンド課題、レポートはすべて提出、対面授業はすべて出席が原則です。

## ◆教科書

市販本 『Dubliners』 James Joyce, Penguin Classic, 2000

## ◆参考書

市販本 学習用英和辞典

## ◆授業相談先(連絡先)

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	文学作品の解釈の仕方、作家ジェイムズ・ジョイスについて、作品Dubliners についての動画(各 30 分)を視聴します。その後各自作品を読んで下さい。今回のスクーリングは“Araby”“The Boarding House”“A Painful Case”の 3 作品を扱います。
事 前 学 修	ジェイムズ・ジョイスに関する情報を収集し、イメージを作る
事 後 学 修	オンデマンド課題の解答を作成し、提出する

・対面授業 (Zoom)

1 日 目	授 業 内 容	Araby と The Boarding House 前半を読みます。各段落の内容を振り返り、学生の皆さんと一緒に考えながら解釈を試みていきます。各自で読んでみてわからなかった箇所等は質問に答えます。
2 日 目	授 業 内 容	The Boarding House 後半と A Painful Case を読みます。各段落の内容を振り返り、学生の皆さんと一緒に考えながら解釈を試みていきます。各自で読んでみてわからなかった箇所等は質問に答えます。
事 前 学 修		Araby, The Boarding House, A Painful Case を読み、授業で質問できるようわからない箇所などを整理する
事 後 学 修		3 作品すべてを振り返り、レポートを作成する



# 講座内容（シラバス）

## 〔倫理学概論〕

江川 晃

◆**授業概要** 古代ギリシアから現代に至る倫理学の基本的思想を学ぶ。さらに、現代の倫理的問題である環境倫理、生命倫理、技術倫理へと応用・発展させる。現代において何が問題であるのか、どこから生じているのかについて皆さんと考察していく。

◆**学修到達目標** 科学・技術と人間社会との間に生じた摩擦が新たな倫理的問題を惹き起こしている。現代の応用倫理である生命倫理、特に、遺伝子診断、人工授精とデザイナーベビー、代理母、出生前診断、脳死・臓器移植、安楽死等について具体的に考察・議論する。このよう問題を把握することで、「医療技術と社会の間に生じてきた倫理的問題」を深く洞察する批判的能力を養うことができる。

### ◆**授業方法**

#### ・オンデマンド

授業動画は内容に沿って分割し、番号を付している。まずは、全体を順に視聴すること。一度の視聴では分からなかった内容の動画は重点的に繰り返して視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。なお、動画の中には課題が含まれている場合があるが、別途、正確な課題は明示する。

#### ・対面授業

◆**履修条件** なし。

◆**教科書** 〔**丸沼**〕江川晃・嘉吉純夫・霞田光三著『生命倫理について考える』文眞堂。  
〔**資料配布 (Classroom)**〕パワーポイント動画配信

### ◆**参考書**

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で出される課題は評価対象であるのですべて提出すること（全体の50%）。対面授業では、各日の最後の時間に実施する授業内レポートが評価対象となる（全体の50%）。オンデマンド授業、対面授業において総合的に評価する。すべて出席していることを前提として評価する（オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねる）。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

### ◆**授業計画〔各90分〕**

#### ・オンデマンド

授業内容	1 ガイダンス 2 倫理学とは何か 3 ソクラテスの徳の定義 4 プラトンの正義論 5 アリストテレスの倫理的徳
事前学修	動画を予習し、それぞれの思想を大まかに把握する。
事後学修	動画を復習し、それぞれの思想を明確に把握すること。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	6 功利主義（ベンサム）	7 義務論（カントの倫理学）	8 リバタリアニズム（ノージック）
		9 「生命倫理とは何か」	10 遺伝子診断の倫理的問題	
2日目	授業内容	11 人工授精とデザイナー・ベビー	12 代理母の倫理的問題	13 出生前診断と選択的人工妊娠中絶
		14 脳死・臓器移植の倫理的問題	15 安楽死と緩和ケア	
	事前学修	教科書の該当箇所を十分読んでおくこと。		
	事後学修	動画をよく復習し、倫理的問題を把握すること。		

# 講座内容（シラバス）

## 〔日本史入門〕

小川 雄

◆**授業概要** 日本史の流れを通観する「日本史概説」に対して、日本史を学修・研究するために必要な知識・技能を修得することを目指します。

◆**学修到達目標** 1 日本史の学修と研究について、自己の関心に沿い、情報を収集・分析できるようになる。  
2 個別のテーマに沿って、実証的な論証をおこなうために、史料・研究を精査できるようになる。

### ◆**授業方法**

#### ・オンデマンド

動画と配信プリントを基本として、日本史研究の方法論を解説して、各自がいかなるテーマを設定するのか、イメージを形成してもらいます。

#### ・対面授業

配信プリントと板書を中心に授業を進めて、日本史研究の方法論を習得してもらいます。各授業内の区切りごとに、質問も受け付けます。場合によっては、受動的に聴講するだけでなく、実習もおこないます。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 資料配布 (Classroom)

◆**参考書** 丸沼『日本の歴史』全 26 巻（講談社〈学術文庫としても刊行〉）

※全冊ではなく、自分が興味のある時代・テーマから、1冊か2冊を読んでみてください。また、購入義務はありませんので、図書館等を利用していただいても大丈夫です。

◆**成績評価基準** 授業参画度 (20%)

※オンデマンド授業は課題の提出状況、対面授業は質疑への対応から判断する。

授業内テスト (80%)

※第 15 回授業で実施する。また、全授業に出席した学生にのみ、最終試験の受験資格を認める。

◆**授業相談（連絡先）**：掲示板やメールで相談・質問を受け付けます。また、対面授業では、休憩時間中の対応もおこないます。

### ◆**授業計画〔各 90 分〕**

#### ・オンデマンド

授業内容	第 1 回「日本史研究の問題設定（ガイダンス）」 → 日本史の研究・学修のあり方を考える 第 2 回「日本史の時期区分・時代区分」 → 日本史研究における時期・時代の区分方法を考える 第 3 回「日本史の研究分野」 → 日本史研究における分野の設定方法を考える 第 4 回「論文と書籍」 → 日本史研究における論文・書籍の違いと活用方法を考える 第 5 回「専門書と一般書」 → 日本史研究における専門書・一般書の違いと活用方法を考える
事前学修	第 1 回 日本史に関する一般書・専門書を任意に講読して、自分なりのイメージをつくる。 第 2～5 回 前回の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配信資料をよく読んでおく。
事後学修	第 1 回 ガイダンスの配信資料をよく読み、研究・学修の対象や重点を考えてみる。 第 2～5 回 授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。

#### ・対面授業

1 日目	授業内容	第 6 回「先行研究の調べ方」 → 日本史研究における先行研究の集め方を練習する 第 7 回「辞書の使用」 → 日本史研究における辞書の選び方と読み方を練習する 第 8 回「インターネットの活用」 → 日本史研究におけるインターネット使用の利点・欠点を確認する 第 9 回「日本史の史料(1)同時代史料」 → 当時の史料から、何を読み取れるかを考える 第 10 回「日本史の史料(2)編纂史料」 → 後の時代の史料から、何を読み取れるかを考える
2 日目	授業内容	第 11 回「日本史の史料(3)外国語史料」 → 外国の史料から、何を読み取れるかを考える 第 12 回「史料に向き合う(1)史料の分析」 → 史料からの情報の析出・検証の方法を習得する 第 13 回「史料に向き合う(2)史料の引用」 → 研究の中で史料を引用する方法を習得する 第 14 回「認識の整理」 → 現段階で理解している方法論から、研究・学習の方針を考える 第 15 回「理解度の確認」 → 現段階で想定されるテーマから、研究・学習の計画を立てる
	事前学修	第 6 回～第 10 回 オンデマンドの授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 第 11 回～第 13 回 対面 2 日目の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 第 14 回 一連の授業のプリント・ノートを熟読する。 第 15 回 これまでの授業内で説明した日本史研究の方法論を整理しつつ、自分なりの構想を準備する。
	事後学修	第 6 回～第 13 回 オンデマンドの授業内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。 第 11 回～第 13 回 対面 2 日目の授業内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。 第 14 回 日本史研究のあり方について、これまでの授業の内容をノートに整理する。 第 15 回 全授業内容を振り返り、日本史研究に関する構想が適切かどうかを考察する。

# 講座内容（シラバス）

## 〔金融機関論〕

谷川 孝美

◆**授業概要** 金融取引が行われる金融市場では、銀行などの金融機関が重要な役割を果たしています。この講義では金融機関の役割、機能などに焦点をあて、金融取引およびその基礎理論等を解説します。具体的には貨幣の機能、金利などの金融論の基礎および金融機関の基本的な機能などを概説します。さらに、フィンテックなどの技術革新や規制緩和などの環境変化が金融機関に与える影響などを考察することで、金融機関、金融制度の今後を考える基礎を養うことを目的としています。なお、この講義では金融論の基礎を理解していることが望ましい。

◆**学修到達目標** 日常生活では決済、貯蓄や投資、借入等の金融取引が行われています。決済や金融取引には銀行、証券会社等の多様な金融機関が関係しています。また、近年では、フィンテック等の技術革新など金融機関の環境が変化しています。金融機関論では、以上を踏まえ次のことを目標とします。

1. 貨幣の定義、金利等の金融の基本的な事柄などを学び、説明できるようになる。
2. 銀行、証券会社等の金融機関が果たしている機能、役割を理解し、説明できるようになる。
3. さまざまな金融機関、金融市場を含めた我が国の金融システムなどを理解し、考察できるようになる。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

授業計画に沿って、項目ごとに Classroom のトピックを分けている。トピックごとに、予習用の資料とパワーポイントによる動画ファイル、授業アンケートがあるので、資料で予習した後に、動画ファイルを視聴し学修する。最後に出欠を兼ねた授業アンケートを回答する。質問などは授業アンケートなどでも受け付ける。また、課題や小テストがある場合もトピック内で指示するので必ず解答すること。

#### ・対面授業

オンデマンドによる学修を踏まえ、授業計画に沿って、パワーポイントを利用した講義形式で行います。また、最後に学修の確認として試験を実施します。

◆**履修条件** 令和2年度東京スクーリング（6月期）『金融機関論』（谷川孝美）、夏期スクーリング（第5期）『金融機関論』（谷川孝美）とは積み重ね可。

◆**教科書** 教材『金融論 R31800』通信教育教材（教材コード 000540）

資料配布（Classroom）各項目に応じた講義概要を、各トピック内で予習用として PDF ファイルにて配布する。各自取得し、予習すること。

◆**参考書** 丸沼『ベーシックプラス 金融論 第2版』家森信善、中央経済社、2018年  
講義時に適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 最終日に最終試験を実施します。評価の割合を 50%とします。また、オンデマンド授業等で実施する小テストおよび課題の評価割合を 40%、授業への参加・貢献を 10%とします。

◆**授業相談（連絡先）**：対面授業時には、講義前後 10 分程度、講師室にて対応します。また、それ以外ではメールにて対応します。  
tanikawa.takayoshi2020@nihon-u.ac.jp

### ◆授業計画〔各 90 分〕

#### ・オンデマンド

授業内容	Classroom のトピック 1 金融機関論を理解するため金融の基礎を理解する。 金融取引、貨幣の定義、金利の決定 Classroom のトピック 2 金融機関論を理解するための金融の基礎理論を知る。 情報の非対称性問題、エージェンシー問題 Classroom のトピック 3 日本の金融制度を確認する。 資金循環、直接金融、間接金融、市場間間接金融 Classroom のトピック 4 金融機関の機能と役割を理解する。 証券会社、保険会社、ノンバンク *各トピックス内に動画ファイルと資料がある。資料で予習をしたのちに、動画ファイルを視聴し学修すること。 また、受講後に確認として、小テスト等がある場合は必ず解答すること。
事前学修	*事前学修は、各トピックの内容に対応している。 ・シラバスをよく読み、授業の概要や目的を理解しておく。 ・トピック内に予習用として講義概要をまとめた資料があるので、よく読み、確認する。その際に専門用語などをテキストや参考文献等で調べること。
事後学修	・金融機関について理解するための金融の基礎を十分に確認し、まとめておくこと。 ・学修上の疑問点や不明な点は授業アンケートやメールなどで質問し、解消しておくこと。 ・小テストで、学修の理解度を確認し、不足がある場合はよく確認しておくこと。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	・わが国の金融で中心的な役割を果たしている銀行の機能、役割を解説する。 信用創造、情報生産機能、決済システム ・銀行などの預金取扱機関を中心に、規制監督の変化による影響を考える。 自己資本比率規制、マイクロブルーデンス、マクロブルーデンス
2日目	授業内容	・金融機関を取り巻く環境変化として、近年の金融政策の影響を考える。 非伝統的金融政策により、金融機関の収益が悪化している。それにより、従来は無料であった金融サービスが有料になるなどの影響が生じている。これらは金融排除へつながる可能性があることなどを概説する。 ・金融機関を取り巻く環境変化として、技術変化として Fintech の影響を考える。 Finance（金融）と Technology（技術）を組み合わせた造語として Fintech がよく用いられる。その内容を概説し、金融機関への影響を考える。 ・講義の内容の確認として最終試験を実施する。
	事前学修	*事前学修は、対面授業前に行うことを前提としている。 ・オンデマンド授業で、金融の基礎を十分に確認しておくこと。 ・Classroom を通じて、事前に対面授業の資料を配付するので、よく読み、確認しておくこと。 ・新聞の経済欄などをよく読み、金融、経済時事問題に注目しておくこと。

事後学修	<ul style="list-style-type: none"><li>*事後学修は、対面授業2日目を終えた後に行うことを想定している。</li><li>*対面1日目終了後は、最後試験に向けて、初日の講義内容を復習し、確認しておくこと。</li> <li>・授業で取り上げた項目や金融機関などを再確認し、理解を深めること。</li><li>・最終試験をよく確認し、理解不足があった場合にはよく復習すること。</li></ul>
------	---

# 講座内容（シラバス）

## 〔人文地理学概論〕

落合 康浩

- ◆**授業概要** 地理学は環境と人間生活との関係について分析・考察することを目的とする複合領域的な学問である。この授業では、そのうちの人文地理学に関する学びと研究の視点および方法について概観し、人文地理学における各研究分野の概要について整理して理解を促す。その上で、人文地理学の具体的な研究成果について事例を挙げながら解説する。
- ◆**学習到達目標** 地理学に関わる歴史や概念について把握したうえで、人文地理学における研究対象と研究分野を整理し、それぞれの研究分野における現代的な研究課題や研究方法、具体的な研究成果に関わる知見などを学ぶことによって、人文地理学の学問的な特色と、その教育を行う上で配慮すべき視点や、教育する事項およびその具体的内容を理解することができる。
- ◆**授業方法**
  - ・オンデマンド  
第1回目から第5回目までは、各回の授業内容に関する図表類や写真等を掲載した画像に音声解説を加えた教材を配信し、視聴してもらおうオンデマンド型授業を実施する。
  - ・対面授業  
第6回目以降は、配付資料やPowerPointのスライドにより具体的な教材を提示し、講義形式で授業を進める。また、授業中の質疑や質問票を通して双方向的な授業としたい。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**教科書** その他 配信した教材（資料）、当日配布するプリントなど  
その他 高等学校等で使用した地図帳（現在、自身が所有しているもので可）
- ◆**参考書** 通材 『人文地理学概論 T22200』 通信教育教材（教材コード 000422）  
その他 その他、適宜紹介する。
- ◆**成績評価基準** 授業内試験 80%、授業への参画度 20% による総合評価。
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
  - ・オンデマンド

授業内容	①人文地理学とは何か（環境と人間との関わりについて理解する視点） ②地理学の歩み（地理学の歴史と人文地理学研究の流れ） ③地域概念と人文地理学の諸分野 ④農業に関する地理学（経済地理学的視点①） ⑤鉱工業に関する地理学（経済地理学的視点②）
事前学修	①シラバスを確認し人文地理学で基礎的に学ぶべき項目を理解しておく。 ②地図・探検・地理学に関わる人物名を整理しておく。 ③地域という語をどのようなときに使うか考え、整理しておく。 ④農業に関する諸問題について理解しておく。 ⑤鉱工業に関する諸問題について理解しておく。
事後学修	①人文地理学の学問的特徴となる項目を整理する。 ②歴史の中の人文地理学に関する事項を整理する。 ③人文地理学の各分野における具体的な項目と研究対象を整理する。 ④農業地理学の具体的な研究項目・内容を整理する。 ⑤工業地理学の具体的な研究項目・内容を整理する。

・対面授業

1日目	授業内容	⑥第3次産業に関する地理学（経済地理学的視点③） ⑦人口現象に関する地理学（社会地理学的視点①） ⑧集落に関する地理学（社会地理学的視点②） ⑨環境と地域社会に関する地理学（社会地理学的視点③） ⑩民族・宗教に関する地理学（文化地理学的視点①）
2日目	授業内容	⑪生活文化に関する地理学（文化地理学的視点②） ⑫文化的地域資源と地理学（文化地理学的視点③） ⑬日本における環境と伝統・行事の特色との関係 ⑭発展途上国における地域開発と地域社会の変容（パキスタン北部の事例） ⑮理解度の確認（授業内試験）と講義内容の総括
	事前学修	⑥商業に関する諸問題について理解しておく。 ⑦人口に関する諸問題について理解しておく。 ⑧集落（村落・都市）に関する諸問題について理解しておく。 ⑨環境と地域社会に関する諸問題について理解しておく。 ⑩民族・宗教に関する諸問題について理解しておく。 ⑪食や居住に関する地域差について理解しておく。 ⑫地域資源とは何かについて理解しておく。 ⑬日本における自然環境の特色について理解しておく。 ⑭発展途上国・地域の抱える問題について理解しておく。 ⑮これまでの授業内容を整理・理解しておく。
	事後学修	⑥商業地理学の具体的な研究項目・内容を整理する。 ⑦人口地理学の具体的な研究項目・内容を整理する。 ⑧村落・都市地理学の具体的な研究項目・内容を整理する。 ⑨社会地理学の具体的な研究項目・内容を整理する。 ⑩民族に関する地理学の具体的な研究項目・内容を整理する。 ⑪生活文化に関する地理学の具体的な研究項目・内容を整理する。 ⑫地域資源を評価する地理学的な研究視点について整理する。 ⑬日本の環境と日本的な伝統行事との関係性について整理する。 ⑭発展途上国の辺境地域における開発の問題点と課題について整理する。 ⑮理解度確認作業の中で理解できていなかったことを整理し、理解を深める。



# 講座内容（シラバス）

## 〔法学〕

水野 正

- ◆**授業概要** 複数の人が存在すると、お互いの求めるものの違いにより、そこに問題が生ずる。そこで生ずる、人の社会生活上の問題を解決するための基礎となる基本的な価値観としての「法」を理解し、互いの権利を尊重し、義務を果たすことの重要性を学ぶ。
- ◆**学修到達目標** ある人々の間に生じた問題は、法律を基に互いの考えを示し、法律を基に相手の考えを理解し、互いが納得することにより解決される。そのような解決ができるよう、法律を正しく理解する為の方法を理解し、法律に基づいた自分の考えを示すことができるようになることを目標とする。また、インターネットに関する法律を知り、自己の権利を守り、相手の権利を侵害しないよう行動できるようになる事を目標とする。
- ◆**授業方法**
  - ・**オンデマンド**  
各テーマに即した講義の PowerPoint 静止画と音声データを合成したものを、各講義につき、数回に分割した形で配信する。また、必要に応じ講義内容を理解する為の資料を配布する。資料は、Pdf 形式で、圧縮フォルダーにして配信する。各回の講義については、単独のテーマが設定されているが、法学の講義として一連の内容となるものであるから、全ての講義を視聴することが望まれる。
  - ・**対面授業**  
対面講義は、各回のテーマに即して、広義の法律について、正しく解釈する為の規則や手段について、いわゆる講義形式で行う。講義の要点は PowerPoint を利用しながら、講義を進める。講義に関する資料があるときは、クラスルームを利用するなどしてデジタルデータで配布する。また、コンピュータ、インターネットに関わる諸問題について、どのような問題点があるかを説明し、その解決を現行法でできるのか否かを考えていくことにします。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**教科書** 通材『法学 B11500』通信教育教材（教材コード 000515）3,400 円（送料別）
- ◆**参考書** 丸沼『インターネット法』松井他編 有斐閣 3,190 円（税込）インターネット法に興味のある人は読んでください。  
丸沼 小型の六法 但し、定額制でインターネットに接続できる機器（スマホやタブレット PC）を使用できる学生は、それらの機器を持参すれば「E-Gov 法令検索」から法令を参照できるので六法は不要。
- ◆**成績評価基準** 論述式の筆記試験で評価する。問題はオンデマンドの講義内容を含めた範囲内から複数問出題し、その中から 1 問を選択して回答する形式とする。
- ◆**授業相談（連絡先）**：オンデマンドの講義中を含め、CLASSROOM を利用すること。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
  - ・オンデマンド

授業内容	第 1 回 ガイダンスとして講義内容、成績評価、法学学習の為のインターネットの活用方法について説明します。講義内容は 4 部構成。 第 2 回 法とはどのようなものなのかについて説明します。4 部構成。 第 3 回 日本における法の形成過程について説明します。3 部構成。 第 4 回 法と他の社会規範について I（法と習俗・宗教）について説明します。2 部構成。 第 5 回 法と他の社会規範について II（法と道徳）と法概念について説明します。3 部構成。
事前学修	法は、社会生活を営む我々にとって特殊なものではないのであるが、一般人にはなじみにくいものなのである。教科書である通信教育教材『法学』の中から、各回の講義内容に該当する部分を読んでおくこと。意味の分からない法律用語が出てきたら、インターネットで意味を調べて、どのようなことなのかを理解するようにしてください。
事後学修	講義内容は、教科書に記述されている以上のことを説明していますので、教科書の講義内容部分を読み、講義の内容と併せて考えて、その内容を理解するようにしてください。

### ・対面授業

1 日目	授業内容	第 6 回 法源と成文法・不文法の特徴、第 7 回 法源としての成文法の種類、第 8 回 法源としての不文法の種類、第 9 回 法の分類、第 10 回 法の効力範囲。これらの内容に関して、講義形式で進める。各講義内容に関する資料は、事前に CLASSROOM 等を利用して配布する。
2 日目	授業内容	第 11 回 法の適用と解釈・事実の推定、第 12 回 法の解釈方法、第 13 回 不正アクセス禁止法、第 14 回 電磁的ウイルスの作成と供用、第 15 回 いわゆる「デジタル万引き」。これらの内容に関して、講義形式で進める。第 13 回からは、電子機器やインターネット上の行為に法を適用する場合の問題点を考えつつ、どのような解決が可能なのかについて考えてみることにする。講義終了後に 60 分の記述式試験を行う。
	事前学修	対面授業では、オンデマンドとは異なり、講義内容を反復して視聴することができませんので、各講義内容に関して事前に基礎知識を得ておくことが大切です。また、講義内容は、教科書に記述されている以上のことを説明していますので、教科書の講義内容部分を読み、講義の内容と併せて考えて、その内容を理解するようにしてください。
	事後学修	講義資料、各講義のレジュメ、自身のノートと教科書とを利用して、講義内容を正しく理解するように事後学習を行ってください。特にレジュメは、黒板に記述する基本的な内容にあたるものですので、講義内容を理解する資料としてください。試験は、講義の内容から出題しますので、記憶の新しいうちに事後学習をしてください。

# 講座内容（シラバス）

## 〔英語 B〕

齊藤 雄介

- ◆**授業概要** 本科目では、TOEICのReading Partを題材として基本的な英文法を学ぶことを目標とします。基本的な英文法を理解することは、英語の技能を全体的に向上させることにつながります。
- ◆**学修到達目標** 英語の基本的な文法を理解し、説明することができる。
- ◆**授業方法**
  - ・オンデマンド  
授業動画はテキストのユニットの順番に沿って番号をつけています。各ユニットで扱われている文法事項を説明した上で、該当箇所の設問を課題とします。その課題の範囲は動画の中で明示します。質問は随時受け付けます。
  - ・対面授業  
まずそれぞれの文法事項を説明した上で、受講者には一人一問ずつ問題に解答し、その英文の意味を考えてもらいます。ただし、受講者の力量に応じて授業方法を若干変更する可能性があります。
- ◆**履修条件** 令和2年度東京スクーリング（6月期）『英語J』（齊藤雄介）とは積み重ね不可。
- ◆**教科書** 丸沼『Basic Reading for the TOEIC test』 Makoto Hayasawa, Laura MacGregor, Akio Yamamoto, Mami Okazaki, Kazuo Nakajima SEIBIDO 2004
- ◆**参考書** 英和辞典を持参してください。
- ◆**成績評価基準** オンデマンドの課題：50%、対面授業の試験：50% \*オンデマンド、対面授業ともに毎回参加していることを前提に評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各90分〕**
  - ・オンデマンド

授業内容	英語の名詞 英語の代名詞 英語の動詞 英語の動詞句 英語の助動詞
事前学修	各内容について、具体的な例を考え日本語とどのように異なっているのかを考える。例えば、英語の名詞の場合、それは何種類に区別することができ、日本語の分類基準と何が異なるのかを考えておくこと。
事後学修	各内容の説明を聞いた上でそれをノートにまとめ、自分なりに理解すること。

### ・対面授業

1日目	授業内容	1日目は時制、冠詞、関係詞、不定詞と動名詞、受動態を扱い、それらの内容を説明した上で、問題に解答してもらう。
2日目	授業内容	2日目は分詞、分詞構文、名詞節、形容詞を扱い、それらの内容を説明した上で、問題に解答してもらう。その後に学習内容のまとめ及び最終試験を行う。
事前学修		オンデマンド授業で扱う内容は英語の文法の中でも基礎的であり、重要な内容であるため、その内容を入念に見直しておくこと。
事後学修		各授業終了後にノートの見直しをし、内容の定着を図ること。

## ◆授業概要

労働法は、生まれながらにして労働者保護を目的とした法律である。しかし、現実の労使関係においては、賃金未払い、長時間労働、不当な解雇などのトラブルが絶えない。本講義では、労働法の基礎を学ぶことによって、労使双方が守るべき労働法のルールを理解できるように心掛ける。

## ◆学修到達目標

労働法の体系における労働組合の役割を理解する。労働契約の重要私性を理解し、労働条件は対等な立場での合意に基づき決定すべきことを学ぶ。

## ◆授業方法

## ・オンデマンド

スライドを用いて、テキストの各章に即して解説する。

## ◆履修条件

なし

## ◆成績評価基準

論述式の最終試験（100%）。なお試験範囲は事前に告知します。また試験は、例年通り持ち込み可とします。

## ◆教科書

市販本『労働法・第2版』新谷真人編著、弘文堂、2019年

## ◆参考書

## ◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行う



◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>教科書第1章から第5章までの内容となります。</p> <p>第1章「労働法の原理」では、労働法の歴史と労働法の全体像について学びます。</p> <p>第2章「労働基準法の理念と労働契約」では、労働契約の意義を学びます。</p> <p>第3章「就業規則労働契約」では、就業規則の重要性を学びます。</p> <p>第4章「配転・出向・転籍」では、いわゆる人事異動の法理を学びます。</p> <p>第5章「賃金の保護」では、最低賃金などの制度を学びます。</p> <p>教科書第6章から第10章までを扱います。具体的には「労働時間の規制」「休憩・休日・年次有給休暇」「労働災害の予防と災害補償」「女性・非正規労働者と労働法」「雇用の終了」です。働き方改革に伴う新しい内容が含まれます。</p> <p>ここからは集団的労働法と呼ばれる領域に入ります。第11章「団結権保障と労働組合」第12章「不当労働行為」第13章「団体交渉と労働協約」第14章「争議行為」など、労働組合法を中心に学びます。なお、最終講義の第15回は、全体の復習30分と最終試験（筆記試験）60分とします。</p>
事 前 学 修	教科書の該当箇所を熟読してください。
事 後 学 修	スライド等を再生して授業内の理解を深めてください。教科書の該当箇所とスライドを中心に、十分に学修してください。

# 講座内容（シラバス）

## 〔アメリカ文学史〕

北原 安治

◆**授業概要** アメリカの建国から20世紀までのアメリカ文学の流れを学び、各作家の特徴を理解できるようになる。

◆**学修到達目標** テキストを最初から読んで行きます。文法構造を把握して、英文がしっかり読めるようになる。映像資料を活用などして米文学史の全体的な流れを把握できるようになる。村上春樹の新訳のフィッツジェラルドの『華麗なるギャツビー』のDVDなど事前に見ておけば良い。28章のヘミングウェイまでは行きたい。

### ◆**授業方法**

#### ・オンデマンド

前半はアメリカ文学関係の映像資料の視聴。後半はテキストを音読して、構文を把握して和訳をしている映像を視聴。各作家の特徴とアメリカ文学の全体的な流れを把握する。オンデマンドの課題が出た場合は必ず出すこと。正解と解説は講義映像に加える。

#### ・対面授業

対面授業においても講義の基本的な流れは同じである。前半はアメリカ文学関係の映像資料の視聴。後半はテキストを音読して、構文を把握して和訳をする。学生にあてる。各作家の特徴とアメリカ文学の全体的な流れを把握する。

◆**履修条件** 令和2年度東京スクーリング（6月期）『アメリカ文学史』（北原安治）とは積み重ね不可。令和2年度夜間スクーリング（秋期）『アメリカ文学史』（北原安治）とは積み重ね不可。

◆**教科書** 〔**汎用**〕セメスターシリーズ『An Outline of American Literature(アメリカ文学概観)』井上謙治編著 南雲堂 全48ページの薄いテキスト

◆**参考書** 〔**汎用**〕『アメリカ小説入門』井上謙治著、研究社、1995年。この本は講義では使いません。

◆**成績評価基準** 課題（20%）、試験（80%）などによる総合評価。最終試験は小論文1000字以上書くこと。試験時間は100分ほどの予定。小論文タイトルは「ホーソンとメルヴィルのふたりの特徴と作品を論じる」。この2作家以外のことを書いてはいけない。書き方として全体論でも作品論でもよい。全体論は上の参考書の『アメリカ小説入門』にあるような2作家の全体的特徴と複数の代表作の説明を1,000字以上使い、浅く広く書くものである。作品論は二人の作品からひとつずつ選び（短編でも長編でもよい）、例えばポーの短編とメルヴィルの『白鯨』の2冊に集中して深く論ずるものである（500字以上ずつ合計1,000字以上）。どちらの論じ方でもよい。事前にまとめておくこと。辞書やノートなどの持ち込みなし。2作家の作品名や登場人物名は日本語でよい。作品名はヒントとして試験の問題文に印刷しておく。無遅刻、皆出席を望む。

◆**授業相談（連絡先）**：fra3in5@yahoo.co.jp

### ◆**授業計画〔各90分〕**

#### ・オンデマンド

授業内容	映像資料, アメリカ先住民の文学およびジョン・スミス 映像資料, 『プリマス植民地』のブラッドフォードとアメリカ最初の詩人のブラッドストリート 映像資料, 「大いなる目覚め」のエドワーズと「ヤンキーズ」のフランクリン 映像資料, ゴシック小説のブロックデン・ブラウンと「リップ・ヴァン・ウィンクル」のアーヴィング 映像資料, 歴史ロマンスのクーバーとロマン派の詩人ブライアント 基本英文法の復習。 発音の確認。
事前学修	アメリカ文学史関連の「アメリカ小説入門」（井上謙治著、研究社、1995年）などを読みアメリカ文学の全体的な流れと各作家の代表作や特徴をとらえておく。英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト47ページの文献にあたっておく。
事後学修	講義で学んだ作家の映画作品などを図書館で借りて、理解を深める。講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。基本文法を確認して正確な訳ができるようになる。オンデマンド授業はGoogle Classroomに提出する課題が出るので必ず提出すること。課題がいつ出るか、何回出るかはClassroomで発表するが、課題は配信期間中で提出完了とする予定。なお正解と解説も講義映像に組み込む。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	映像資料, 怪奇・推理小説のボウと「超絶主義」のエマーソン, 映像資料, 『ウォールデン』のソーローとビューリタニズム批判のホーソン, 映像資料, 『白鯨』のメルヴィルと米代表詩人のホイットマン, 映像資料, 孤独な心境を詠ったディキンソンとリアリズムのトウェイン, 映像資料, 心理主義のジェームズと自然主義のクレイン。各作家のアメリカ文学史上の役割と、代表作を学び、作品からの英文を文法事項を確認しながら読んでいく。
2日目	授業内容	映像資料, 環境決定論のドライサーとシカゴ・グループのサンドバーグ, 映像資料, 深層心理のアンダソンと自然を詠ったフロスト, 映像資料, ハーレム・ルネッサンスのヒューズと『バターソン』のウィリアムズ, 映像資料, 『偉大なギャツビー』のフィッツジェラルドとノーベル賞作家ヘミングウェイ, 各作家のアメリカ文学史上の役割と、代表作を学び、作品からの英文を文法事項を確認しながら読んでいく。アメリカ文学史の全体的まとめと試験。
	事前学修	アメリカ文学史関連の「アメリカ小説入門」（井上謙治著、研究社、1995年）などを読みアメリカ文学の全体的な流れと各作家の代表作や特徴をとらえておく。英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト47ページの文献にあたっておく。最終日に持ち込みなしの小論文のテストがある。小論文タイトルは「ホーソンとメルヴィルのふたりの特徴と作品を論じる」なので事前に準備をしておく。
	事後学修	講義で学んだ作家の映画作品などを図書館で借りて、理解を深める。講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。基本文法を確認して正確な訳ができるようになる。卒論をアメリカ文学の作家で書く学生は、なるべく早めに作家と作品を決めて、原書と翻訳を突き合わせて読むようにしておく。

# 講座内容（シラバス）

## 〔東洋思想史Ⅱ〕

梅川 純代

◆**授業概要** この講義では、「房中術」という中国の性愛技法を核にすえて、中国の哲学思想、宗教思想、医学思想などを探っていく。対面授業では、概論を踏まえ、具体的な実例を見ながら、中国思想を見ていく。二日目の対面授業では、そうした中国思想が、中国の風俗にどのように反映されているのかにも触れていく。

◆**学修到達目標** 敷居の高そうな中国思想を性愛を軸に読み解いていくことで、身近なものとして親しみを持つことができる。また、文学や絵画、習俗などの根底に、いかなる中国思想が反映されているのかを知り、理解を深めることができる。

### ◆**授業方法**

#### ・オンデマンド

5日間のオンデマンド方式の段階で、房中術、道教、儒教、医学思想を概観する。その際、数種類のノートテイキング方法を活用し、ノートの取り方も実践的に勉強していく。さらに、動画視聴後にミニレポートを作成することで、最終レポートに向けた学術論文の書き方についても実践的に学ぶ。2日以降は、ミニレポートを提出。内容ではなく、学術論文の形式に着目してフィードバックを行う。

#### ・対面授業

対面授業では、オンデマンド形式時に練習したノートテイキングの内、主にマッピング法を活用してノートを取っていただく。各授業の最後5分は、それぞれがまとめたノートを活用しながら、授業の概要を発表しあう形式を考えている。このような形を取ることで、ノートテイキングの実用性を実感していただくと共に、講義内容の理解度を深められると考えている。

◆**履修条件** なし

### ◆**教科書**

◆**参考書** 丸沼「気の思想からみる道教の房中術」坂出祥伸・梅川純代 五曜書房

◆**成績評価基準** ミニレポート40パーセント、最終レポート60%

◆**授業相談（連絡先）**：qrmyd952@ybb.ne.jp

### ◆**授業計画〔各90分〕**

#### ・オンデマンド

授業内容	1. イントロダクション（授業の流れ、ノートテイキング法、レポート作成法について） 2. 房中術概論—房中術概要と発達史概論 3. 道教「餃子」論—道教発生からの道教史概論 4. シャーマニズムから儒教へ—原儒から儒教までの儒教史概論 5. 中国の「いのち」と「からだ」—東洋医学思想概論 2日目以降の配信動画は、それぞれ指定されたノートテイキング法でノートを取り、指定された課題についてのミニレポートを作る。
事前学修	「気の思想からみる道教の房中術」坂出祥伸・梅川純代 五曜書房を通読しておく。 その他参考文献のうち、興味を持てるものを通読しておく。例）加地伸行「儒教とは何か」、横手裕「道教の歴史」、山田慶兒「中国医学はいかにつくれたか」
事後学修	2日目以降の配信動画では、指定されたトピックについてのミニレポート（400文字程度）を作成し、提出してください。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	6. 自己をつくる—房中術の医学的側面、7. 他者をつくる—房中術の儒教的側面、8. 種民をつくる—房中術と初期道教との関わり、9. 新たな自己をつくる—房中術の内丹道教との関わり、10. 「神明」をめぐる謎—房中術と神仙思想との関わり 各講義では、指定されたノートテイキング法でノートを取ってください。
2日目	授業内容	11. 花柳界から文学界へ—房中術の風俗史的考察、12. 宋理学の苦悩—儒教の風俗史的考察、13. おそくすから春宮画へ—医学と風俗の融合を考察、14. 中国のフェチシズム—纏足をめぐる風俗史、15. 最終レポート制作 各講義では、指定されたノートテイキング法でノートを取ってください。なお、最終レポートは、事前に用意してきたものを書き写すスタイルでも構いません。
	事前学修	「気の思想からみる道教の房中術」坂出祥伸・梅川純代 五曜書房を通読しておく。 その他参考文献のうち、興味を持てるものを通読しておく。例）加地伸行「儒教とは何か」、横手裕「道教の歴史」、山田慶兒「中国医学はいかにつくれたか」、中野美代子「肉麻図譜—中国春画論序説」、井上章一編「性欲の文化史2」
	事後学修	ノートを使って各授業の振り返りを行う。

# 講座内容（シラバス）

## 〔金融論〕

谷川 孝美

◆**授業概要** 金融取引が行われる場を金融市場と言います。また、金融取引では銀行などの金融機関が重要な役割を果たしています。この講義では、金融に関する基本的な知識、理論を学び、多様な金融市場、金融機関の機能を理解し、また、戦後日本の金融制度の変遷を知ることで、現代の金融問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆**学習到達目標** この講義では、わが国の金融制度を理解することを目指し、具体的には以下のことを目標とする。

1. 貨幣の定義、金利の決定などの基礎的な事柄を学び、説明できるようになる。
2. 情報の非対称性、エージェンシー理論などを理解し、銀行などの金融仲介機関を説明できるようになる。
3. 多様な金融市場を理解し、説明できるようになる。
4. 日本における戦後の金融制度の変遷を理解し、説明できるようになる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

授業計画に沿って、項目ごとに Classroom のトピックを分けている。トピックごとに、予習用の資料とパワーポイントによる動画ファイル、授業アンケートがあるので、資料で予習した後に、動画ファイルを視聴し学修する。最後に出欠を兼ねた授業アンケートを回答する。質問などは授業アンケートなどでも受け付ける。また、課題や小テストがある場合もトピック内で指示するので必ず解答すること。

・対面授業

オンデマンドによる学修を踏まえ、授業計画に沿って、パワーポイントを利用した講義形式で行います。また、最後に学修の確認として試験を実施します。

◆**履修条件** 令和2年度東京スクーリング（6月期）『金融論』（谷川孝美）、夏期スクーリング（第3期）『金融論』（谷川孝美）とは積み重ね不可。

◆**教科書** **【教材】**『金融論 R31800』通信教育教材（教材コード 000540）

**【資料配布（Classroom）】** 各項目に応じた講義概要を、各トピック内で予習用として PDF ファイルにて配布する。各自取得し、予習すること。

◆**参考書** **【丸沼】**『ベーシックプラス 金融論 第2版』家森信善、中央経済社、2018年

**【丸沼】**『日本の金融制度 第3版』鹿野嘉昭、東洋経済新報社、2013年

◆**成績評価基準** 最終日に最終試験を実施します。評価の割合を 50%とします。また、オンデマンド授業等で実施する小テストおよび課題の評価割合を 40%、授業への参加・貢献を 10%とします。

◆**授業相談（連絡先）**：対面授業時には、講義前後 10 分程度、講師室にて対応します。また、それ以外ではメールにて対応します。  
tanikawa.takayoshi2020@nihon-u.ac.jp

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	Classroom のトピック 1 金融の基礎を理解する。 金融取引、貨幣の歴史、定義、貨幣供給と貨幣需要 Classroom のトピック 2 金融の基礎を理解する。 金利の基本概念、金利計算 Classroom のトピック 3 金融の基礎を理解する。 金融における情報の非対称問題（情報生産、フリーライド、重複問題） Classroom のトピック 4 日本の金融制度を確認する。 直接金融、間接金融、市場型間接金融、資金循環から見た日本の金融制度の特徴 Classroom のトピック 5 預金取扱機関を理解する。 銀行の機能と役割として、信用創造、情報生産を理解する。 *各トピックス内に動画ファイルと資料がある。資料で予習をしたのちに、動画ファイルを視聴し学修すること。 また、受講後に確認として、小テスト等がある場合は必ず解答すること。
事前学修	*事前学修は、各トピックの内容に対応している。 ・シラバスをよく読み、授業の概要や目的を理解しておく。 ・トピック内に予習用として講義概要をまとめた資料があるので、よく読み、確認する。その際に専門用語などをテキストや参考文献等で調べる。
事後学修	・金融を理解するための基礎を十分に確認し、まとめておくこと。 ・学修上の疑問点や不明な点は授業アンケートやメールなどで質問し、解消しておくこと。 ・小テストで、学修の理解度を確認し、不足がある場合はよく確認しておくこと。

・対面授業

1日目	授業内容	*金融市場について概説する。 ・金融市場の分類 金融市場は、取引形態、取引期間、参加者の種類、商品内容によって分類される。その分類内容などを確認する。 ・日本の金融市場について理解する。 具体的に短期金融市場、長期金融市場、金融派生商品市場を取り上げ概説する。
2日目	授業内容	*日本の金融制度の変遷を概説する。 ・戦後の日本の金融制度として、競争制限的規制、護送船団方式などを見ていく。 ・競争制限的規制から規制緩和への流れを確認する。 ・金融の自由化、日本版ビッグバンを確認し、その影響を考える。 *講義内容の確認として最終試験を実施する。
	事前学修	*事前学修は、対面授業 1 日目までに行うことを想定している。 ・オンデマンド授業で、金融の基礎を十分に確認しておくこと。 ・Classroom を通じて、事前に対面授業の資料を配付するので、よく読み、確認しておくこと。 ・新聞の経済欄などをよく読み、金融、経済時事問題に注目しておくこと。
	事後学修	*事後学修は、対面授業 2 日目を終えた後に行うことを想定している。 *対面 1 日目終了後は、最後試験に向けて、初日の講義内容を復習し、確認しておくこと。 ・授業で取り上げた項目や金融の基礎理論や概念を再確認し、理解を深めること。 ・最終試験をよく確認し、理解不足があった場合にはよく復習すること。

## ◆授業概要

証券市場を対象として、「証券市場の基本構造」、「証券市場における価格形成」、「投資対象（株式、債券、デリバティブ等）のリスク・リターン特性」、「機関投資家（銀行、生保、年金基金等）の資産運用技法」などについて、受講者が証券市場の仕組みや投資の基礎を習得できるように、分かりやすく講義します。

## ◆学修到達目標

株式、債券、デリバティブなどの金融商品や金融サービスの高度化・複雑化が進展する中、①証券市場や証券投資についての基礎と応用を体系的に学び、②複雑な経済社会で変容する証券市場に対応する基礎的知識を習得できること、を目標とします。

## ◆授業方法

## ・オンデマンド

オンデマンド授業の動画は、原則、講義内容に沿って分割し、番号を付しています。受講生は、全体を順に視聴し、一度の視聴で不明なところがあれば繰り返し視聴して、疑問点がないようして下さい。不明な点の質問は随時受け付けます。なお、動画の中には課題が含まれている場合もあります。

## ・対面授業

オンデマンド授業での動画は必ず視聴していること。これを前提に、対面授業は、授業計画に沿って行います。講義で不明なところや疑問点がないようして下さい（不明な点の質問は随時受け付けます）。なお、授業内容について的小テスト・コメントを行います。

## ◆履修条件

なし

## ◆成績評価基準

授業内試験（小テスト・コメント）4回 各25点として、合計100点として総合的に評価します。

## ◆教科書

**通材**『証券市場論 S30800』 通信教育教材

## ◆参考書

**市販本**『図説 日本の証券市場 2020年版』 公益財団法人 日本証券経済研究所

## ◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>金融と証券（金融証券市場の基礎、資金循環構造、間接金融と直接金融）の基礎</p> <p>日本の証券市場の歩み（戦前・戦後・金融ビックバン・バブル崩壊・失われた30年について学ぶ）</p> <p>証券の種類と性格①（株式会社、株式と株主権について学ぶ）</p> <p>証券の種類と性格②（債券について学ぶ）</p> <p>証券評価の基本（証券の価値とは何か、時間価値、複利、将来価値、現在価値の考え方について学ぶ）</p>
事 前 学 修	<p>金融と証券（教科書1～6頁）、証券市場の歩み（教科書6～19頁）、株式・公社債（教科書32～39頁）に関して教科書を事前に読み、整理したうえで、キーワードを確認しておきましょう。さらに、証券評価の基本に関して調べておきましょう。</p>
事 後 学 修	<p>オンデマンド授業の各日の終了後に、各授業のノートなどでの振り返りを行いましょう。さらに、オンデマンド授業を終了後に、各日のノートでの振り返りを行いながら、授業全体の復習・整理などを行い、疑問点がないようにしましょう。</p>

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	証券の発行市場と流通市場について(2つの市場の相互関係について学ぶ) 株式市場について (株式市場の機能とは何か、金融証券取引所を中心に学ぶ) 債券市場について (国債、地方債、社債を中心に学ぶ。特に、企業が発行する社債について学ぶ) 新規株式公開 (IPO)について学ぶ 債券の信用格付 (クレジット・レーティング) について学ぶ
2 日 目	授 業 内 容	証券投資論・ポートフォリオ理論の基礎① (リスクと証券について学ぶ) ポートフォリオ理論の基礎② (CAPM: 資本価格形成モデル及び資本コストなどについて学ぶ) 金融派生商品・デリバティブ① (先物取引の仕組み・機能について学ぶ) 金融派生商品・デリバティブ② (オプション取引の仕組み・機能について学ぶ) 全体の講義のまとめとその他のテーマ (証券会社の役割、キャッシュレス経済、インターネットを利用した資金調達など)
事 前 学 修	証券の発行市場と流通市場(教科書 43~54 頁)、株式市場、債券市場 (教科書 43~51 頁) を読み、整理しておきましょう。新規株式公開 (IPO)、信用格付に関して事前に整理しておきましょう。 「リスクとリターン」の基本的な考え方や、なぜリターンがリスクと密接に関係しているかを考えてみましょう。「ポートフォリオ」とは何か、投資分散によるリスク軽減効果等について考えてみましょう。なぜ、先物取引が必要か、その意義や利用の仕方について調べておきましょう。オプション取引の意義、仕組み、コール・オプション、プット・オプションについて調べておきましょう。	
事 後 学 修	対面授業 1 日目の終了後に、対面授業 1 日目のノートでの振り返りを行いましょう。さらに、対面授業 2 日目を終了後に、対面授業 2 日目のノートでの振り返りを行いながら、対面授業全体の整理を行い、疑問点がないようにしましょう。質問は、随時受け付けます。	



# 講座内容（シラバス）

## 〔英語科教育法Ⅱ〕

市川 泰弘

- ◆**授業概要** 本講義では英語を教える目的を見据え、日本の英語教育の現状を踏まえながら5つの領域（Reading, Listening, Writing, Speaking, Debating）をどのように指導していくかを実際の現場の状況をとらえながら理解し、また新たに築き上げるための能力を身につけ、さらに今後の英語教育のあり方について対象となる生徒・学生の能力・取り組む意識を心にとめながら考察していく。
- ◆**学修到達目標** 本講義の目標は、1）5つの領域（Reading, Listening, Writing, Speaking, Debating）についてそれぞれの具体的なポイントを理解し、2）各領域の指導方法を理解し、3）今求められている英語教育の具体的な内容を把握することである。さらに個々の内容は当然学生・生徒のモチベーション・能力の違いによって変化していくものであるから、その変化に対応できる能力および対応の基盤となる英語力を修得し、様々な教えるための方策を作成できるようになることを目指す。
- ◆**授業方法**
  - ・オンデマンド  
テーマに関わる資料を読み、テキストを参照しながら2つの課題に関するレポート（各課題、A4版に明朝体10.5ポイントで1ページ分）としてまとめる。
  - ・対面授業  
テーマを設定し、グループディスカッションを行います。各グループでの議論をまとめ、代表者に発表をしてもらいます。発表後に総括としての講評をおこない、重要ポイントを指摘します。テーマに関する資料は事前あるいは当日配布し、決められた時間で内容をまとめ、議論を進めていきます。各テーマごとにその日の最後にレポートを作成、提出してもらいます。
- ◆**履修条件**
- ◆**教科書** 資料配布（Classroom） 資料を作成し、Classroom内で配布します。
- ◆**参考書** 教材 『行動志向の英語科教育の基礎と実践—教師は成長する—』JACET教育問題研究会編 三修社 2017年  
丸沼 『英語授業改善のための処方箋：マクロに考えミクロに対処する』金谷憲著 大修館書店  
丸沼 Brown, H.D. Teaching by Principles - An Interactive Approach to Language Pedagogy (4th Edition) Longman
- ◆**成績評価基準** 講義内でのディスカッション・発表（30%）、レポートなど（70%）で総合的に判断します。詳細は第1回目の講義で説明します。特にディスカッションでの Participation は重要となります。
- ◆**授業相談（連絡先）**：ys\_ichi0202@yahoo.co.jp
- ◆**授業計画〔各90分〕**
  - ・オンデマンド

授業内容	5つの領域（Speaking, Listening, Writing, Reading, Presentation）と今までの英語教育を概観し、資料を読み進め、こちらから示す課題に対して自分の意見をまとめレポートとして提出する。 Inputとしての領域（Listening・Readingとその指導概要）について教える対象（高等学校）に関連して、資料を読み進め、こちらから示す課題に対して自分の意見をまとめレポートして提出する。 Outputとしての領域（Writing・Speaking・Presentationとその指導概要）について教える対象（高等学校）に関連して、資料を読み進め、こちらから示す課題に対して自分の意見をまとめレポートして提出する。
事前学修	こちらから配布する資料を読み、参考文献を参照しながら、それぞれのポイントをまとめておく。
事後学修	こちらから提示した課題のレポートを読み直し、参考文献及び資料の重要部分を確認しておく。

### ・対面授業

1日目	授業内容	午前中は、Inputとしての領域（Listening・Readingとその指導概要）について、配付した資料から各グループで議論する内容を教える対象（中学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。午後はOutputとしての領域（Speaking・Presentation・Writing・Paragraph Writingとその指導概要）について配付した資料から各グループで議論する内容を教える対象（中学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後に午前・午後のテーマに即した課題をしめし、レポートを作成し提出する。
2日目	授業内容	午前中は、Inputとしての領域（Listening・Readingとその指導概要）について、配付した資料から各グループで議論する内容を教える対象（小学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。午後はOutputとしての領域（Speaking・Presentation・Writing・Paragraph Writingとその指導概要）について配付した資料から各グループで議論する内容を教える対象（小学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後に午前・午後のテーマに即した課題をしめし、レポートを作成し提出する。
	事前学修	こちらから配布する資料を読み、参考文献を参照しながら、それぞれのポイントをまとめておく。
	事後学修	こちらから提示した課題のレポートを読み直し、参考文献及び資料の重要部分を確認しておく。



# 講座内容（シラバス）

## 〔生涯学習論〕

三輪 建二

◆**授業概要** 生涯学習は1965年のユネスコ国際委員会で提唱され、日本でもその政策化と理論化が進められている。今回の講義では、主に以下の2点について講義する。

①生涯学習の視点が「個人」の自発的な学習から、学習成果を地域や社会に生かす「共生」や「学び合い」の視点へと移行している点を理解する。

②成人学習者の特性を生かした学習理論（自己決定性、経験の尊重、意識変容、省察〔リフレクション〕など）について検討する。

◆**学修到達目標** ①生涯学習について理論的な側面の理解に加えて、自分自身の日常生活や仕事と結び付けながら説明することができる。

②自分にとっての生涯学習に加えて、他者や社会を生かす「共生」「学び合い」の生涯学習への視点の転について説明することができる。

③成人学習者の特性である自己決定性、経験の尊重、意識変容、省察（リフレクション）などのキーワードを理解し、説明することができる。

④生涯学習のキーワードを理解した上で、自分自身の生涯学習を再構築することができる。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

テキストである三輪建二『おとなの学びとは何か（増補版）』鳳書房、2020年のうち、「はじめに」から第4章までを取りあげる。「はじめに」と本講座の説明

第1章「日本社会がかかえる問題とおとな」

第2章「成熟と共生をめざすおとなの学び」

第3章「おとなの学びの語られ方—生涯学習」

第4章「おとなが学ぶとはⅠ：経験の尊重と問題の設定」（前半の「経験の尊重」）

#### ・対面授業

テキストの第4章後半から、8章10章を除いて、11章までを取りあげる。

第4章「おとなの学びとはⅠ」（後半の「問題の設定」）

第5章「おとなが学ぶとはⅡ：省察的实践」

第6章「おとなが学ぶとはⅢ：意識変容の学習」

第7章「学び合いを創造する」

第9章「教師の学び合い」

第11章「企業での学び合い」

授業のまとめ

◆**履修条件** 平成2年度夏季「生涯学習論」

◆**教科書** 丸沼『おとなの学びとは何か（増補版）』三輪建二、鳳書房、2020年  
教科書は、提携の丸沼書店よりご購入下さい（Amazonでは購入できません）。

◆**参考書** 丸沼『教師の能力開発：省察とアクションリサーチ』ナンシー&キース・アップルヤード著、三輪建二訳、鳳書房2018  
参考書は、提携の丸沼書店よりご購入下さい（Amazonでは購入できません）。

丸沼『教師の省察的实践：』I・ラシュトン、M・スター著、三輪建二訳、鳳書房2018

参考書は、提携の丸沼書店よりご購入下さい（Amazonでは購入できません）。

◆**成績評価基準** オンデマンドでの振り返りシート（A4一枚以内）30%、スクーリングへの参加姿勢20%、スクーリング時の振り返りシート（A4一枚以内）30%、終了時のレポート「自分にとっての生涯学習」20%

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom上にて行う。

### ◆授業計画〔各90分〕

#### ・オンデマンド

授業内容	テキストの「はじめに」および本講座の説明 第1章「日本社会がかかえる問題とおとな」の検討とケーススタディの解説 第2章「成熟と共生をめざすおとなの学び」の検討とケーススタディ「ことわざと仏教の両行」の解説 第3章「おとなの学びの語られ方—生涯学習」の検討とケーススタディ「生涯学習をめぐる新聞投稿」の解説 第4章「おとなが学ぶとはⅠ：経験の尊重と問題の設定」のうち1～3（主に経験の尊重）を検討
事前学修	1. テキストの「はじめに」を予習しておくこと 2. 第1章を予習し、ケーススタディ「ヨウカン事件」を解説を読まないで考えておくこと 3. 第2章を予習し、ケーススタディ「ことわざと仏教の両行」の問いを解説を読まないで考えておくこと 4. 第3章を予習し、ケーススタディ「生涯学習をめぐる新聞投稿」の問いを解説を読まないで考えておくこと 5. 第4章1～3を予習しておくこと
事後学修	1. から5. までの中から、「授業で印象に残ったこと3点をあげて要点を整理し、経験談などをふまえながら自分の考えをまとめる」こと。 振り返りシートは1回で、5回目が終了した段階で提出とする。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	1. 第4章「おとなが学ぶとはⅠ」（後半の「問題の設定」）の説明と、ケーススタディ「映画『学校』」の上映と解説 2. 第5章「おとなが学ぶとはⅡ：省察的实践」の検討とケーススタディ「アトム共同保育所」の上映・解説 3. 第6章「おとなが学ぶとはⅢ：意識変容の学習」の検討とケーススタディ「中高年に演劇集団」上映・解説
2日目	授業内容	4. 第7章「学び合いを創造する」の検討とケーススタディ「福井ラウンドテーブル」の解説 5. 第9章「教師の学び合い」の検討とケーススタディ「学び合う教師の授業研究」の解説 6. 第11章「企業での学び合い」の検討とケーススタディ「センゲの学習する組織論」の解説 7. 授業のまとめ
	事前学修	第4章、5章、6章、7章、9章および11章を、各章最後にある「ケーススタディ」を除いて、事前に読んでおくこと
	事後学修	対面授業で取り上げた章の中から2つのキーワード（章のテーマではない）を選び、その論点を整理した上で、自分の経験談などを踏まえながら意見をまとめる。

地方スクーリング(7月期)開講講座一覧

5月12日現在

講座コード	科目名	開講単位数	担当教員名	科目コード	科目名	併用	配当学年	備考
F9A1	英語Ⅰ～Ⅳ	1	佐藤 健児	C10100	英語Ⅰ		1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語Ⅱ			
				C10300	英語Ⅲ		2年	
				C10400	英語Ⅳ			
F9A2	経済原論／経済学原論	2	陸 亦群	R20100	経済原論		※	・経済学部は1学年以上申込可。
				L20200	経済学原論			・文理・商学部は2学年以上申込可。
F9A3	保険総論	2	岡田 太	S30600	保険総論		2年	・政治経済学科は1学年以上申込可。
F9A4	英語科教育法Ⅰ	2	小澤 賢司	T20900	英語科教育法Ⅰ	×	2年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。
				T23800	英語科教育法Ⅰ			・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
F9B1	政治学	2	関根 二三夫	B11700	政治学		1年	・入学年度に応じ科目コードが異なる科目です。
F9B2	英語学演習Ⅰ～Ⅲ	1	山岡 洋	N401S0	英語学演習Ⅰ	×	3年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。
				N402S0	英語学演習Ⅱ			・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N403S0	英語学演習Ⅲ			
F9B3	日本史概説/日本史概論	2	鍋本 由徳	Q30200	日本史概説		2年	・文理／経済／商学部のみ申込可。
		2		K32200	日本史概論			・法学部のみ申込可。

# 講座内容（シラバス）

## 〔英語Ⅰ～Ⅳ〕

佐藤 健児

◆**授業概要** 全米で感動の渦を巻き起こした『Chicken Soup for the Soul』（心温まる小話集）を材料に、英文法・語法の知識、および、「読解の原則」に基づいて、英文の読解・和訳ができるようになるための授業です。

◆**学修到達目標** 英文法・語法の知識、および、「読解の原則」に基づいて、英文の読解・和訳ができるようになることを目標とします。

### ◆**授業方法**

#### ・オンデマンド

英文を読む上で特に重要な品詞と文型、句と節、および、1. The Circus を動画で解説します。動画を視聴後、Google Classroom 上の課題に取り組んでください。課題にはフィードバックをつけておきますが、もし不明な点があればメールで質問してください。

#### ・対面授業

4. Puppies For Sale, 5. Follow Your Dream, 8. Love And The Cabbie, 10. A Simple Gesture を輪読形式で読み進めていきます。質問はその場で受けつけます。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 丸沼『Chicken Soup for the Soul』Jack Canfield and Mark Victor Hansen 金星堂 1997年  
資料配布 (Classroom) オンデマンド授業の資料 (品詞と文型、句と節、および、1. The Circus)

◆**参考書** 丸沼『ジーニアス英和辞典』第5版 大修館書店 2014年  
丸沼『アクシスジーニアス英和辞典』大修館書店 2019年  
丸沼『ジーニアス総合英語』中邑光男・山岡憲史・柏野健次 大修館書店 2017年

◆**成績評価基準** Google Classroom 上の課題、予習状況、授業への取り組み（発表）等により総合的に判断します。予習をしていない場合は、大幅に減点します。

◆**授業相談（連絡先）**：Email (satou.kenji@nihon-u.ac.jp) で随時受けつける。

### ◆**授業計画〔各 90 分〕**

#### ・オンデマンド

授業内容	英文を読む上で特に重要な品詞と文型、句と節、および、1. The Circus を動画で解説します。動画を視聴後、Google Classroom 上の課題に取り組んでください。課題にはフィードバックをつけておきますが、もし不明な点があればメールで質問してください。
事前学修	事前に配布する初回授業用資料を熟読し、不明な点を明らかにしておいてください。1. The Circus に関して、英和辞典や文法書などを駆使して、丁寧に（語法や文法の知識に基づいて）英文を精読し、全訳を作成しておいてください。
事後学修	授業での解説を基に、正しく英文が解釈できなかった箇所について、今一度解釈を試みてください。

#### ・対面授業

1日目	授業内容	4. Puppies For Sale, 5. Follow Your Dream を輪読形式で読み進めていきます。英文法・語法の知識、および、「読解の原則」に基づいて、英文の読解・和訳を進めていきます。質問はその場で受けつけます。
2日目	授業内容	8. Love And The Cabbie, 10. A Simple Gesture を輪読形式で読み進めていきます。英文法・語法の知識、および、「読解の原則」に基づいて、英文の読解・和訳を進めていきます。質問はその場で受けつけます。
	事前学修	対面 1, 2日目で扱う文章に関して、英和辞典や文法書などを駆使して、丁寧に（語法や文法の知識に基づいて）英文を精読し、全訳を作成しておいてください。
	事後学修	授業での解説を基に、正しく英文が解釈できなかった箇所について、今一度解釈を試みてください。

**◆授業概要**

本講義は現代マクロ経済学入門として位置づける。本講義において、ケインズ経済学の基礎である有効需要の原理、流動性選好利子率論を説明したうえで、IS=LM 分析とマンデル＝フレミング・モデルを中心とするオープンエコノミーを展開し、短期モデルと長期モデルの比較を踏まえて、新古典派経済学の視点から物価水準の決定、インフレとデフレに関する問題を主として学修し、応用・展開科目を学ぶ土台を築く。

**◆学修到達目標**

マクロ経済学において、有効需要原理、流動性選好利子率論、IS=LM 分析、国際マクロ経済学、短期モデルと長期モデルの比較、物価水準の決定、インフレとデフレを中心に講義を進める。この講義を通じて、マクロ経済学全般の「基礎知識」を習得し、現実のマクロ経済現象に対して「経済学的な考え方」を理解し、「分析手法」を身につけることができる。

**◆授業方法**

## ・オンデマンド

本講義の第1回から第5回までの内容はオンデマンド形式で授業を進める。経済学の理論を理解することを目的とし、現代マクロ経済学を概説し、有効需要原理、流動性選好利子率論、IS=LM 分析を中心としたケインジアン理論の解説を行う。

## ・対面授業

本講義の第6回から第15回までの内容は対面授業、または同時双方向型のライブ授業を進める。教学内容は主にマンデル＝フレミング型モデルを中心としたオープンマクロ、新古典派理論をベースとした長期マクロ経済モデル、そして物価の理論について解説し、現実の経済の動きを把握しながら、必要に応じて時事経済関連の新聞・雑誌記事等を資料として配布・解説する。また、講義内で課題を設ける場合、その解説は講義内で行うようにする。

**◆履修条件**

経済学や経済学概論でマクロ経済学の基礎理論を学修してから履修する方が望ましい。

**◆成績評価基準**

試験（60%）、講義内課題（40%）。毎回出席することを前提として評価し、基礎理論を身に付けているかを判定する。

**◆教科書**

『ミクロ・マクロ経済理論入門』 藤本訓利・陸亦群・前野高章 文眞堂 2020年

**◆参考書**

中谷巖『入門マクロ経済学』第6版、日本評論社、2021年

**◆授業相談先（連絡先）**

オフィスアワーおよび講義終了後。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>第1回：マクロ経済学では何を学ぶか，特に現代マクロ経済学の学習内容を概説する</p> <p>第2回：国民所得の諸概念と物価について</p> <p>第3回：国民所得の決定と有効需要の原理</p> <p>第4回：流動性選好利子率論と貨幣供給</p> <p>第5回：IS-LM分析と財政金融政策</p>
事 前 学 修	<p>事前配布講義レジメおよび教科書第Ⅱ部マクロ経済学の第1章，第2章，第3章，第5章，第6章，第7章を予め読んでおくこと。</p>
事 後 学 修	<p>講義レジメを参照し，講義ノートを整理すること。そして，各回の講義の内容を整理し，配布資料を読んで，重要なポイントを整理すること。第1回，マクロ経済学の誕生とその歴史的背景を把握すること。第2回，国民経済計算，付加価値，経済循環，GDPデフレーター計算を復習すること。第3回，消費関数，投資関数，45度線モデルと財市場の均衡調整，財政政策，総需要管理，乗数効果を復習すること。第4回，流動性選好利子率論，貨幣の需要とマネーサプライの基礎知識を復習すること。第5回，財市場とIS曲線，貨幣市場均衡LM曲線，そしてIS=LM同時均衡の基礎的分析手法を復習すること。</p>

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	第 6 回：国際収支表の構造，国際通貨制度，IS バランスと資本勘定。第 7 回：マンデル-フレミング・モデル。第 8 回：固定相場制のもとの経済政策の効果。第 9 回：変動相場制のもとの経済政策の効果。第 10 回：マクロ経済分析の基本的な枠組み，短期のケインズモデル，長期の新古典派モデル。
2 日 目	授 業 内 容	第 11 回：供給サイドを考慮した長期モデルの分析。第 12 回：物価水準はどのように決まるのか/IS・LM モデルの拡張①。第 13 回：物価水準はどのように決まるのか/IS・LM モデルの拡張②。第 14 回：インフレとデフレ。第 15 回：全体のまとめ。
事 前 学 修	事前配布講義レジメおよび教科書第Ⅱ部マクロ経済学の第 8 章，第 9 章，第 10 章を予め読んでおくこと。	
事 後 学 修	講義レジメを参照し，講義ノートを整理事ること。そして，各回の講義の内容を整理し，配布資料を読んで，重要なポイントを整理すること。対面 1 日目，第 6 回：国際通貨制度を理解し，国際収支表の構造と IS バランスと資本勘定の基礎概念を確認すること。第 7 回：開放経済体系における財市場の均衡と IS 曲線の導出，貨幣市場の均衡と LM 曲線の導出，資本移動と利子率の決定の講義内容を復習すること。第 8 回：固定相場制のもとの財政政策の効果，金融政策の効果，為替レート変更の効果，保護主義的な貿易政策の効果について復習すること。第 9 回：変動相場制のもとの財政政策の効果，金融政策の効果，為替レート変更の効果，保護主義的な貿易政策の効果について復習すること。第 10 回：長期均衡モデルにおける労働市場の均衡と産出量の決定，財市場の均衡と利子率の決定，貨幣市場の役割，貨幣数量説を復習すること。対面 2 日目，第 11 回：マネーサプライと名目 GDP 及びインフレーションの関係，期待物価上昇率，「名目」利子率と「実質」利子率について復習すること。第 12 回：ケインジアンと古典派の総供給曲線，現実的な短期の総供給曲線，労働者錯覚モデル，総供給関数における長期と短期について確認し講義内容を復習すること。第 13 回：物価水準の決定，名目賃金率の伸縮性，労働市場と完全雇用，ピグー効果，AD/AS 分析と財政・金融政策の効果，価格の調整速度について復習すること。第 14 回：フィリップス曲線とインフレーション，合理的期待形成と自然失業率仮説，インフレとデフレの社会的費用の概念を整理し復習すること。第 15 回：各章の講義レジメを参照し，講義ノートを整理事，全体復習すること。	

# 講座内容（シラバス）

## 〔保険総論〕

岡田 太

- ◆**授業概要** ・ 保険理論の基礎を学ぶことで保険がなぜ社会に存在するのか、その存在意義を明らかにする。一方、保険が存在するためにもたらす社会的コストのうち逆選択とモラルハザードをとりあげ、具体例を用いて説明する。次に、日本の保険市場 150 年の軌跡について、商品と流通の視点から概観する。最後に、ビッグデータ、AI などの保険への適用事例を紹介し、今後を展望する。  
・ 対面授業では、保険の現代的課題についてアクティブラーニング（グループワーク）を行う。
- ◆**学修到達目標** ・ 保険の基礎理論をふまえて保険に関する諸問題を分析し、考察し、改善することができるようになる。  
・ 保険市場を 150 年という時間的視野で概観し、新たな環境変化に保険ビジネスがどのように変化するかを展望し、説明することができるようになる。  
・ グループ・ワークを通じて、保険の現代的課題に対する問題設定、仮説論証を行うことができるようになる。
- ◆**授業方法**
  - ・ **オンデマンド**  
授業動画（音声付きのパワーポイント）を視聴し、学習活動として指定された課題に取り組み google form または google classroom に提出する。課題に対するフィードバックをオンラインまたは対面授業で行う。
  - ・ **対面授業**  
オンデマンドでの学習の応用・発展として、アクティブラーニング（グループワーク）を中心に行う。グループワークは 3～4 人でグループを結成し、レポート作成と発表を行う。最後に、授業のまとめと復習を行い、テストを実施する。
- ◆**履修条件** 令和 3 年度夏期スクーリング「保険総論」との積み重ね不可
- ◆**教科書** 丸沼 下和田功他著『はじめて学ぶリスクと保険（第 4 版）』有斐閣、2014 年
- ◆**参考書** 資料配布（Classroom） 適宜参考資料をアップロードする
- ◆**成績評価基準** テスト(40%)、オンデマンド授業の課題(30%)、対面授業でのレポート(20%)およびプレゼンテーション(10%)により評価する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：classroom のストリーム等またはメール（okada.futoshi@nihon-u.ac.jp）にて対応する
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
  - ・ **オンデマンド**

授業内容	保険の存在意義ーリスクとは何かから紐解き、保険の果たす役割を学ぶ 保険の仕組みー保険の原理・原則を学び、保険の機能・経済効果を理解する 保険の機能を制約する問題：①逆選択ーリスク細分型保険の意義と課題を学ぶ 保険の機能を制約する問題：②モラルハザードー保険におけるロスコントロールの重要性を学ぶ 保険市場 150 年の軌跡：①商品ー主要な保険商品の変遷を通じて保険商品のデザインについて考察する 保険市場 150 年の軌跡：②流通ー保険自由化以降を中心に保険流通の変革を学ぶ 近年の環境変化と保険：①ビッグデータ、AIーテレマティクス、健康増進支援型保険など最新技術を利活用した保険を学ぶ
事前学修	教科書の第 1 章と第 2 章を精読し、キーワードを理解する 教科書の第 3 章を精読し、キーワードを理解する 教科書の第 6 章を精読し、キーワードを理解する 教科書の第 7-12 章を熟読し、保険の歴史、主要な保険商品の概要を理解する 教科書の第 16 章を理解し、保険流通の概要を理解する 「近年の環境変化と保険①」については、配布資料を熟読し、ウェブサイトで示された関連資料にアクセスする
事後学修	講義内容と課題学習について復習する。具体的には、保険の存在意義と機能、保険の原理、逆選択とモラルハザード、保険の歴史と主要な保険商品のデザイン、保険流通の変化と多様化および近年の保険ビジネスをめぐるイノベーションを理解することである。 内容が難しい項目については、繰り返し動画を視聴するほか、教科書の該当箇所を精読する。

### ・対面授業

1 日目	授業内容	グループの結成およびレポートのプラン（計画書）の作成 レポートとプレゼンのための意見交換 オンデマンド学習の一部復習と練習問題の解説 近年の環境変化と保険：②インシュアテックー諸外国の動向もふまえて、新しい時代の保険の可能性を探る
2 日目	授業内容	レポートの発表と総仕上げ 保険業の将来展望ー日本およびグローバルな視点から保険業の変化を考える 授業の総まとめ 最終テストと解説
事前学修		対面学習に備えて、グループワークの進め方を理解し、参加するための準備を行う。 「近年の環境変化と保険②」について、配布資料を熟読し、ウェブサイトで示された関連資料にアクセスする 「保険業の将来展望」について、配布資料を熟読し、ウェブサイトで示された関連資料にアクセスする レポートについてプレゼンするための準備を行う 最終テストに向けて、オンデマンドおよび対面授業の内容や課題について復習する。
事後学修		レポートを作成する 講義内容と課題学習について復習する。具体的には、インシュアテックとは何か、最新事例、諸外国との比較、保険業の将来展望について理解を深める。そのためには、関連資料を読み込むことが大切である。 レポートとプレゼンテーションを振り返り、改善点を確認する テストを通じて理解不足な事項を確認し、理解できるようにする

**◆授業概要**

中学校および高等学校における英語科教育を扱う本授業では、以下の点について学修します。

- ① 英語（科）教育の目的
- ② 英語指導と教科用図書
- ③ 指導計画および学習指導要領
- ④ 英語科教育の小中高連携
- ⑤ その他、授業担当者の実務経験に基づいた英語科教育において必須となる諸項目

**◆学修到達目標**

本授業では、以下の点を目標とします。

- ① 英語科教育に関する知識を身につけ、それらをわかりやすい言葉で説明することができる
- ② 教科用図書と連動させた効果的な指導方法を考案することができる
- ③ 指導計画に基づいた学習指導案を作成することができる
- ④ 協働作業を通して有益な案を創出することができる

英語科教育に携わる者として、過去・現在・未来に渡る英語科教育に関する知識や情報、動向等には常に注意を向けるようにしましょう。

**◆授業方法****・オンデマンド**

Google Classroom 上に公開される授業動画を視聴し、課題に取り組み、期限までに課題を提出してください。授業動画では、各授業計画に示した内容の確認と教科書では触れられていない内容についての補足説明等を行いません。授業内容で不明な点がある場合、Google Classroom 上に質問を受け付ける場所を用意しておきますので、そちらに質問を書き込んでください。

**・対面授業**

オンデマンドに引き続き、各授業計画に示した内容の確認等を行いません。オンデマンドとは異なり、対面授業ではグループワーク（発表）を行いません。事前の準備学修がグループワークの出来に大きく関わってきますので、しっかり準備（教科書を熟読する、配布資料によく目を通しておく、オンデマンドの課題を再度確認しておく等）をして臨んでください。

**◆履修条件**

なし

**◆成績評価基準****◆教科書**

市販本 『基礎から学ぶ英語科教育法』 岡田圭子・ブレンダハヤシ・嶋林昭治・江原美明  
松拍社 2015年

適宜、資料も配布します。

**◆参考書**

『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編』 文部科学省※開隆堂から出版されているものを購入するか、文部科学省のHPからダウンロードすることが可能

『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 外国語編・英語編』 文部科学省※開隆堂から出版されているものを購入するか、文部科学省のHPからダウンロードすることが可能



### ◆授業相談先（連絡先）

オンデマンド授業期間中は Google Classroom 上で、対面授業期間中は Google フォームにて質問を受け付けます。

### ◆授業計画

#### ・オンデマンド

授 業 内 容	学習指導要領 英語教育の目的 学習者論 言語習得と言語教育 教授法 英語力チェック、英語学力チェック
事 前 学 修	①本授業のシラバスをよく確認しておいてください。 ②授業日初日の数日前までに Google Classroom の登録を済ませておいてください (Google Classroom への入り方、使い方等がわからなければ教務課へ連絡)。 ③教科書の第1章、第3章、第4章、第5章をよく読み、授業動画を視聴してください。 ④第2章の「学習指導要領」に関しては、本授業指定の教科書では1つ前の古いものを使用しているため、そちらは参照せず、各自、平成29・30年告示版の学習指導要領 (解説 外国語編) を入手し、そちらを参照するようにしてください (必ず「解説 外国語編」のほうを入手するように)。
事 後 学 修	①授業動画視聴後、各課題に取り組み、期限までに提出してください。 ②「英語力チェック」および「英語学力チェック」を繰り返し視聴し (復習し)、何も見なくてもチェック内容を実行・説明できるようになりましょう。また、両チェックの出来を鑑み、自身にとって今後学習が必要であろう事項を見極め、勉学に励みましょう。

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	<p>①英語指導と教科用図書</p> <p>②4技能指導 (Listening / Speaking / Reading / Writing) : グループ発表</p> <p>③指導計画</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>①評価とテスト</p> <p>②学修指導案作成 : グループ発表</p> <p>③英語教師論</p> <p>④授業内レポート</p>
事 前 学 修		<p>①教科書の第2章および第7章以下をよく読んでおいてください。</p> <p>②教科書の内容を把握しているかの確認テストを行なう予定です。教科書をしっかり読み込んでおいてください。</p> <p>③対面授業ではグループワーク (発表) があります。事前学修の如何によってグループワークの効果・成果に大きな違いが生じますので、しっかり準備をして臨んでください。</p>
事 後 学 修		<p>英語を教えている姿を想像し、どのような教師が自分にとって、児童・生徒にとって理想であるかを考えてみましょう。そして、本授業の学修を振り返り、今後教職に就く、あるいは英語の教育に携わっていくうえでやっておかなければいけないことを可視化 (文字化) してみてください。それをさらに優先度順に分け、単なる「理想」で終わらせず、「現実」となるよう、日々努力してください。</p>

# 講座内容（シラバス）

## 〔政治学〕

関根 二三夫

◆**授業概要** 基礎教育としての講義を行います。政治学の変遷、政治の概念、政治の本質、政治権力、国家、議会政治、立法部と行政部、選挙、政党、圧力団体、コミュニケーション、リーダーシップについて学びます。

◆**学修到達目標** 議会及び大統領もしくは内閣の動きを見ますと、政治が難しい現象のように思われます。しかし、法律や予算の制定や執行は、国家や社会や個人の発展に寄与するために役立ちます。この講義においては、政治が我々の生活に大きな影響を及ぼすと同時に、我々にとって身近な現象であることを理解できるようにします。

### ◆**授業方法**

#### ・オンデマンド

講義形式で行います。講義においては、政治に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。講義の中で、受講生の理解度を調べるための理解度チェックを行い、課題内容を説明します。受講に際しては、予習及び復習が必要になります。

#### ・対面授業

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 〔丸〕『政治学 B11700』通信教育教材（教材コード 000279）2,100 円（送料込）

◆**参考書** 〔丸〕『教養政治学』岩井奉信、黒川貢三郎、関根二三夫他 南窓社 3,132 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 試験 70%、平城手 30% ※試験同様、質問や理解度チェック等の平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意して下さい。

◆**授業相談（連絡先）**：sekine.fumio@nihom-u.ac.jp

### ◆**授業計画〔各 90 分〕**

#### ・オンデマンド

授業内容	政治学の変遷（古代から近代）、政治の概念（政治国家現象説・政治集団現象説）、政治の本質、政治権力（実体説・関係説）、国家（概念・成立の要素・国家機関）、議会政治（沿革・原理）、立法部と行政部（大統領制・議院内閣制）、選挙（選挙制度・選挙区・代表選出の形態）、政党（概念・特徴・形態）、政党（機能・問題点）、圧力団体（概念・特徴・問題点）、コミュニケーションとリーダーシップ
事前学修	政治学の変遷については参考書の第1章第2節を、政治の概念については参考書の第1章第1節を、政治の本質についてはテキストの第1章第1節を、政治権力についてはテキストの第1章第2節及び参考書の第2章第4節を、国家については参考書の第3章を熟読すること。議会政治についてはテキストの第5章及び参考書の第4章第1節を、立法部と行政部についてはテキストの第5章及び参考書の第4章第1節を、選挙についてはテキストの第3章第3節及び参考書の第5節第1節から第2節を熟読すること。政党についてはテキストの第3章第4節及び参考書の第4章第2節を、圧力団体についてはテキストの第3章第5節及び参考書の第4章第3節を、コミュニケーションについては参考書の第6章第3節を、またリーダーシップについては参考書の第2章第5節を熟読すること。
事後学修	それぞれの授業内容毎に講義で知り得た内容を整理し、事後学修として、また復習として整理した内容をノートに丁寧に纏めること。

#### ・対面授業

1日目	授業内容
2日目	授業内容
事前学修	
事後学修	

**◆授業概要**

言語学の下位分類である英語学という学問分野の概略を理解した上で、今回は特に音声学・音韻論に焦点を当てて説明をしていく。人間の用いる言語は、音声-文法-意味の3要素から成るが、言語学はそれぞれの側面に応じた音声学・音韻論・形態論・統語論・意味論・語用論などに分類される。その中でも、この講義では音声学と音韻論がどのように異なるのかを説明する。

**◆学修到達目標**

指定教科書とオンデマンドのコンテンツで音声学と音韻論の理解を深める。オンデマンドのコンテンツはメディア授業「英語学概説 MA」の第1章から第4章までと理解度チェック1を用いる。オンデマンドの期間で教科書の第1章と第2章も読みながら概ね音声学の理解を深める。対面授業においては、音声学に続いて音韻論の理解を深めるべく、教科書の第3章から第6章の説明をしていく。これらを併せて音声学と音韻論の全体像を理解する。

**◆授業方法****・オンデマンド**

音声学の第1章から第4章まで（自己点検を含む）を視聴し理解度チェックを解く。また、教科書の第1章と第2章を熟読し、概ね音声学に関する理解を深める。

**・対面授業**

教員が教科書の第3章から第6章までの説明をし、音韻論の理解を深める。対面授業2日目の午後に音声学と音韻論に関する最終試験を行う。

**◆履修条件**

内容は音声学・音韻論ではあるが、試験はこの授業独自の試験を作成してことばの仕組み・音声学・音韻論の理解度を測るため、他の音声学・音韻論の単位は別のものとなる。

**◆成績評価基準**

授業参加度：10%（対面授業半日欠席につき5点減点）

理解度チェック：10%（自己点検は評価対象外）

最終試験：80%（教科書・参考図書・ノート・電子辞書持ち込み可）

**◆教科書**

市販本 窪園晴夫（1998）『音声学・音韻論』 くろしお。

**◆参考書**

市販本 『音韻構造とアクセント』 日英語比較選書 10, 窪園晴夫・太田聡, 研究社, 東京. (1998)

市販本 『音節とモーラ』 英語学モノグラフシリーズ 15, 窪園晴夫・本間猛, 研究社, 東京. (2002)

市販本 『英語の発音と英詩の韻律』 英語学入門講座 7, 窪園晴夫・溝越彰, 英潮社, 東京. (1991)

市販本 『現代の英語音声学』 佐藤寧・佐藤努, 金星堂, 東京. (1997)

市販本 『日英語対照による英語学概論』, 西光義弘 編, くろしお出版, 東京. (1999)

**◆授業相談先（連絡先）**

yamaoka.hiroshi2020@nihon-u.ac.jp

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	音声学 第1章 (自己点検を含む) 音声学 第2章 (自己点検を含む) 音声学 第3章 (自己点検を含む) 音声学 第4章 (自己点検を含む) 音声学 理解度チェック 1
事 前 学 修	教科書の第1章と第2章を読んで音声学に関する理解を深める。
事 後 学 修	参考図書のうちどれか1冊の中音声学・音韻論の箇所を熟読し、できるだけ対面授業の時に質問できるようにいくつかの質問を用意しておく。

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	教科書の第3章 音素と音素体系 教科書の第4章 音節とモーラ 教科書の第5章 語アクセント
2 日 目	授 業 内 容	午前中は教科書の第6章 文の発音 午後は最終試験
事 前 学 修		参考図書のうちどれか1冊の中音声学・音韻論の箇所を熟読し、できるだけ対面授業の時に質問できるようにいくつかの質問を用意しておく。
事 後 学 修		言語学の中における言語音の研究を復習する。

# 講座内容（シラバス）

## 〔日本史概説 / 日本史概論〕

鍋本 由徳

◆**授業概要** 本科目では、①「日本史」とは何か、②原始・古代～現代までの歴史の変遷、③「歴史事実」の多様性への理解などを、世界のなかでの日本を意識しながら学び、「日本史」全体を考える技術と態度の修得をめざします。社会経済や文化を中心に据えながら、政治・外交の影響に関わる理解を深めます。また、史料専門調査員としての経験を活かし、各時代の史料を使った歴史復原や意義付けの方法について指導します。

◆**学修到達目標**

1. 日本史を知るため、全時代を通じた時代の流れを説明できるようにする。
2. 各時代の主な政治・外交の背景や意義、着眼点について説明できるようにする。
3. 各時代の歴史事実を裏づける歴史資料の読解や歴史学的考察の成果を理解できるようにする。
4. 将来卒業論文を書く、あるいは教壇に立つ者としての必要な知識と姿勢を身につける。

◆**授業方法**

・オンデマンド

教科書内容の一部をとりあげ、90分授業換算で5回分の動画を準備します。配付プリント・授業進行用スライドはすべて対面授業同様のものを使用します。授業動画は内容に沿って分割配信し、ノートテイクのため動画を一時停止しながら学修してください。質問は小テストフォームにて受け付けます。各回実施の小テストも対面同様の形式となります（回答期間は別途指示）。小テスト・自己評価講評は後日 Classroom にて公開します。

・対面授業

教科書内容の一部をとりあげ、スクリーン投影資料、音声・映像資料などを併用しながら、プリント内容を説明します。各回終了前に理解度チェック（小テスト）と理解度自己評価を実施します。情勢を鑑み、実地巡見は予定しておりません。配付資料・小テストなどはオンデマンド授業と同様のものを配布します。なお、授業計画は「予定」であり、変更する場合があります。

◆**履修条件** 令和2年度昼間スクーリング（前期）・夏期スクーリング「日本史概説」（鍋本由徳）、令和3年度昼間スクーリング（前期）「日本史概説」（鍋本由徳）とは積み重ね不可

◆**教科書** 丸沼『概論 日本歴史 Q30200』通信教育教材（教材コード 000382）  
参照プリントを Classroom にて各回で配布

◆**参考書** 配布プリントで適宜紹介します

◆**成績評価基準** 最終課題レポート（70%）、授業内小テスト（出欠確認含 30%）、授業参画・リアクションなど（10%）の総合評価  
※ 15 回全出席を前提とした評価です。

◆**授業相談（連絡先）**：原則として、オンデマンドは Classroom 上、対面時は授業休憩中に受け付けます。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	日本史概説の概要 / 日本先史・古代史 ①日本史概説の特性と学びの意味 ②先史時代の特徴 ～旧石器から弥生時代～ ③ヤマト王権 ～倭王武から推古朝～ ④奈良時代の政治 ～政争～ ⑤平安時代の政治 ～遷都と聖俗～
事前学修	シラバスを熟読した上で、講義全体の流れを把握する。各回（①～⑤）について、教科書の当該時期の範囲を読んで時代概要を把握し、さらに①～⑤に関する各事前配布シートについて調べ、記入する。
事後学修	①については各回の学修意図を振り返り、今後の学修目標を定めていく。②～④については、ノートと教科書を見返し、概説書を使って自己理解が低い箇所を重点的に復習する（事後学修シートを利用し記入しておく）。

・対面授業

1 日目	授業内容	日本中世史・近世史 ⑥鎌倉幕府の成立 ～東国王権と西国王権～ ⑦室町幕府の特徴 ～建武の新政から観応の擾乱～ ⑧戦国時代の様相 ～統一政権への布石～ ⑨天下統一と徳川政権 ～朝廷との関係～ ⑩明治新政府の施政方針 ～江戸幕府の遺制～
2 日目	授業内容	日本近代史・現代史 ⑪条約改正問題と帝国議会 ～成果と課題～ ⑫大正デモクラシー ～政変と普選～ ⑬太平洋戦争と国際関係 ～日本の対米英意識～ ⑭戦後日本のあゆみ ～戦後改革と歴史学～ ⑮授業総括
事前学修		対面授業 1 日目までに、授業回（⑥～⑮）に関して、教科書の当該時期の範囲を読んで時代概要を把握する。さらに、事前に配布した 1 日目・2 日目の授業回⑥～⑮に関する事前配布シートの課題について調べ、その結果を記入しておく。
事後学修		1 日目の授業終了後は、⑥～⑮の事後学修シートを記入し、自身の学修理解度が低い点を把握する。2 日目の授業終了後も 1 日目同様、⑪～⑮の事後学修シートを記入して学修理解度の低い点を把握する。さらに、⑥～⑮の事後学修シートに記入した内容にもとづいて、ノートと教科書あるいは参考文献などを通して、自身の学修理解度が低かった点を重点的に復習し、理解度を高めていくようにする。

夜間スクーリング(春期)開講講座一覧

曜日	講座コード	科目名	開講 単位数	担当教員名	科目コード	科目名	併用	配当学年	備考
月	B1A1	文学	2	渡邊 重人	B11300	文学		1年	
	B1A2	西洋思想史Ⅱ	2	石井 友人	P30600	西洋思想史Ⅱ		2年	
	B1A3	日本史概説/日本史概論	2	千葉 篤志	Q30200	日本史概説		2年	・文理/経済/商学部のみ申込可。
					K32200	日本史概論			・法学部のみ申込可。
	B1A4	交通論	2	三ツ木 丈浩	S30700	交通論		2年	
	B1A5	道徳教育の理論と方法/ 道徳教育の研究	2	李 吉魯	T21300	道徳教育の理論と方法	×	2年	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
T21400					道徳教育の研究				
B1A6	博物館資料論	2	平野 卓治	Y20600	博物館資料論	×	2年	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
火	B1B1	刑法Ⅱ	2	上野 幸彦	K30800	刑法Ⅱ		2年	
	B1B2	英作文Ⅰ	2	アレックス ブラウン	N30400	英作文Ⅰ		2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
	B1B3	英語学演習 B	1	田中 竹史	N401S0	英語学演習Ⅰ	×	3年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
					N402S0	英語学演習Ⅱ			
					N403S0	英語学演習Ⅲ			
	B1B4	工業経済論	2	小林 世治	R30900	工業経済論		2年	
	B1B5	情報概論	2	高橋 文行※	R32300	情報概論		2年	
B1B6	博物館概論	2	宮瀧 交二	Y20300	博物館概論	×	2年	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
水	B1C1	総合科目Ⅰ～Ⅵ	2	鍋本 由徳	B101S0	総合科目Ⅰ		1年	・Ⅰ～Ⅵのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
					B102S0	総合科目Ⅱ			
					B103S0	総合科目Ⅲ			
					B104S0	総合科目Ⅳ			
					B105S0	総合科目Ⅴ			
B106S0					総合科目Ⅵ				
B1C2	英文法	2	小澤 賢司	N20200	英文法		2年	・文学専攻(英文学)のみ1学年以上申込可。それ以外は2学年以上申込可。	
B1C3	西洋史概説/西洋史概論	2	荒木 洋育	Q30400	西洋史概説		2年	・文理/経済/商学部のみ申込可。	
				K32400	西洋史概論			・法学部のみ申込可。	
B1C4	現代教職論	2	古賀 徹	T10100	現代教職論	×	2年	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
B1C5	博物館展示論	2	岡部 幹彦	Y20800	博物館展示論	×	2年	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
木	B1D1	英語 B	1	北原 安治	C10100	英語Ⅰ		1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
					C10200	英語Ⅱ			
					C10300	英語Ⅲ		2年	
					C10400	英語Ⅳ			
	B1D2	民法Ⅱ	2	根本 晋一	K30100	民法Ⅱ		2年	
	B1D3	行政法Ⅱ	2	小澤 久仁男	K31000	行政法Ⅱ		2年	
	B1D4	知的財産権法	2	三村 淳一	K31400	知的財産権法		2年	
B1D5	英語史	2	真野 一雄	N30300	英語史		2年		
B1D6	教育課程論	2	野内 頼一	T23300	教育課程論	×	2年	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
金	B1E1	英語 C	1	常名 朗央	C10100	英語Ⅰ		1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
					C10200	英語Ⅱ			
					C10300	英語Ⅲ		2年	
					C10400	英語Ⅳ			
	B1E2	英語Ⅴ	1	水野 隆之	C10500	英語Ⅴ		2年	
B1E3	国文学基礎講義	2	布村 浩一	M20100	国文学基礎講義		※	・文学専攻(国文学)のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
B1E4	英米文学演習Ⅰ～Ⅲ	1	小田井 勝彦	N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				N405S0	英米文学演習Ⅱ				
				N406S0	英米文学演習Ⅲ				
B1E5	日本経済史	2	飯島 正義	R30500	日本経済史		2年		

※ポータルサイト上では中村典裕先生が表示されますが、実際に担当されるのは高橋文行先生です。

# 講座内容（シラバス）

〔文学〕

渡邊 重人

◆**授業概要** 文学ジャンルは多岐にわたりますが、端的に言えば、言語芸術であるということになります。そこで、この授業では言語芸術のなかでも、フィクション、特に散文による小説に焦点を当て、学修します。具体的には、小説を読むという行為の前景化を通して、小説表現の特性と多様性、小説ジャンルの多様性、史実とフィクションをめぐる想像力などさまざまな角度から文学について考察します。

◆**学修到達目標** 1. 小説を読むという行為について考察し、具体例を挙げながら説明することができる。  
2. 小説表現の特性と多様性、小説ジャンルの多様性について考察し、説明することができる。  
3. 史実とフィクションをめぐる想像力について考察し、説明することができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

文学テキストをただ読むのではなく、さまざまな角度から分析・考察することで幅広い教養を身に付けることを目指します。講読と解説、履修者間のピアワークを Google Classroom で実施します。授業動画には番号が付いていますので、順番に視聴してください。繰り返し視聴することで理解が深められると考えます。フィードバックは、授業動画での全体講評と Gmail もしくは Google Classroom での質疑応答で対応します。その他の質問も Gmail で随時受け付けます。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。

・対面授業

文学テキストをただ読むのではなく、さまざまな角度から分析・考察することで幅広い教養を身に付けることを目指します。オンデマンド授業で提示された動画を必ず視聴しておいてください。対面授業では、講読と解説、履修者間のピアワークを実施します。また、各回の授業内レポートを用いて、履修者と担当者の意見交流も実施し、フィードバックは、授業時の全体講評と質疑応答で対応します（Google Classroom も活用します）。その他の質問も Gmail で随時受け付けます。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** **【その他】** 教材については、青空文庫 <https://www.aozora.gr.jp/> を活用してください。なお、一部の資料については Google Classroom で配布します。

◆**参考書** **【汎用】**『超入門！ 現代文学理論講座』亀井秀雄監修／蓼沼正美著 筑摩書房 2015年

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で出される課題とピアワークは評価対象となりますので、すべて提出・参加してください（全体の40%）。対面授業では、各回のピアワークと各回の最後の時間に実施する授業内レポートが評価対象となります（全体の60%）。オンデマンド授業、対面授業において総合的に評価します。なお、オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席確認を兼ねています。

◆**授業相談（連絡先）**：watanabe.shigeto2020@nihon-u.ac.jp もしくは Google Classroom で対応します。

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	1. 履修者自身の小説を読むという行為について検討し、前景化を図ります。 2. 分析・考察に必要な概念と用語について確認します。 3. 夏目漱石『夢十夜』「第一夜」を読み、小説を読むという行為を前景化させます。 4. 夏目漱石『夢十夜』「第五夜」を読み、異化と自動化の概念について考察します。 5. 夏目漱石『夢十夜』「第六夜」を読み、同時代の文学状況との関係について考察します。「第九夜」を読み、小説を読む際のバイアスについて考察します。
事前学修	1. 自分がどのように小説を読んでいるかということを想起し、まとめておきます。 2. テキスト、ストーリー、プロット、語り手、異化、自動化など小説を分析・考察する際に必要となる概念と用語について調べ、まとめておきます。 3. 夏目漱石『夢十夜』「第一夜」を熟読し、その印象についてまとめておきます。 4. 夏目漱石『夢十夜』「第五夜」を熟読し、その印象についてまとめておきます。 5. 明治30・40年代の文学状況について、文学史年表等で確認しておきます。
事後学修	1. 授業計画を再読し、学修の見直しをもちます。 2. 分析・考察に必要な概念・用語について振り返り、この授業で小説を読むための準備をします。 3. 異化と自動化の観点から「第一夜」を読み直します。 4. 異化と自動化について事例を挙げて説明できるようにします。 5. 同時代の文学状況を踏まえて、『夢十夜』を再読します。小説を読む際のバイアスについて、具体例を挙げて説明できるようにします。

・対面授業

1回目	授業内容	・小説サンプルAを読み、小説を読むという行為についてピアワークで確認します。 ・小説を読む際のバイアスについて考察します。 ・小説サンプルAを分析し、小説を読むという行為について考察します。 ※小説サンプルAについては、意図的に作者名とタイトルを伏せてあります。
	事前学修	・小説を読むという行為について既習内容を振り返り、自分なりにまとめておきます。 ・小説サンプルAを読み、登場人物の相関関係をまとめておきます。
	事後学修	・小説サンプルAをあらためて熟読し、自分がどのように読んだかについて振り返ります。 ・小説を読む際のバイアスについて振り返り、まとめておきます。
2回目	授業内容	・江戸川乱歩『人間椅子』を読み、物語の構造を捉えます。 ・『人間椅子』の語り方について、ピアワークで考察します。 ・江戸川乱歩『人間椅子』と山口譲司の漫画『人間椅子』を比較し、小説表現の特性と漫画表現の特性について考察します。
	事前学修	・江戸川乱歩『人間椅子』を熟読し、場面構成についてまとめておきます。 ・山口譲司の漫画『人間椅子』の表現と物語内容の関係性についてまとめておきます。
	事後学修	・江戸川乱歩『人間椅子』の語り方についてまとめておきます。 ・漫画表現との比較を通して、小説表現について考察し、その特性についてまとめておきます。 ・小説表現の多様性について既習内容を振り返り、まとめておきます。



3回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉鏡花『外科室』を読み、物語の構造を捉えます。</li> <li>・『外科室』を読み、「空所を読む」ということについて、ピアワークで考察します。</li> </ul>
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉鏡花『外科室』を熟読し、登場人物の相関関係をまとめておきます。</li> <li>・作中人物のイメージについて、自分の言葉で表現できるようにしておきます。</li> <li>・『外科室』を熟読し、場面構成についてまとめておきます。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉鏡花『外科室』における一人称の語りについてまとめておきます。</li> <li>・『外科室』を読む際にどのようなバイアスがかかるかという点について、自分なりの考えをまとめておきます。</li> </ul>
4回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉鏡花『外科室』と坂東玉三郎監督の映画『外科室』を比較し、小説表現の特性と映画表現の特性について考察します。</li> <li>・泉鏡花『外科室』とひらはしだれの漫画『外科室』および石川オレオの漫画『外科室』を比較し、小説表現の特性と漫画表現の特性について考察します。</li> <li>・映画表現や漫画表現と小説表現を比較し、ピアワークで交流します。</li> </ul>
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらはしだれの漫画『外科室』、石川オレオの漫画『外科室』の表現と物語内容の関係性についてまとめておきます。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画表現や漫画表現との比較を通して、小説表現について考察し、その特性についてまとめておきます。</li> </ul>
5回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・谷崎潤一郎『吉野葛』を読み、小説技法について考察します。</li> <li>・ジャンル認識とジャンルの逸脱という観点から、『吉野葛』についてピアワークで考察します。</li> </ul>
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・谷崎潤一郎『吉野葛』を読み、小説技法=小説の語られ方について自分なりにまとめておきます。</li> <li>・小説についてのジャンル認識について、自分なりの考えをまとめておきます。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修者自身の抱く、小説と随筆のイメージ=ジャンル認識についてまとめておきます。</li> <li>・小説とジャンルの逸脱の関係性について振り返り、まとめておきます。</li> <li>・小説ジャンルの多様性について振り返り、まとめておきます。</li> </ul>
6回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語世界の時代設定を踏まえて、谷崎潤一郎『吉野葛』について分析します。</li> <li>・史実とフィクションをめぐる想像力の観点から、『吉野葛』の物語内容について考察します。</li> <li>・小説を読むことの自由さ・不自由さについて、ピアワークで考察します。</li> </ul>
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南北朝正閏論争について調べておきます。</li> <li>・大逆事件について調べておきます。</li> <li>・後南朝について調べておきます。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説を読むという行為について振り返り、自分なりの考えをまとめておきます。</li> <li>・史実とフィクションをめぐる想像力について、自分なりの考えをまとめておきます。</li> <li>・小説を自由に読むということについて、自分なりの考えをまとめておきます。</li> </ul>

# 講座内容（シラバス）

## 〔西洋思想史Ⅱ〕

石井 友人

- ◆**授業概要** 16世紀から18世紀にかけての近代形成期の哲学の展開を追っていきます。主要な哲学者の学説を紹介しながら、どのような問題意識のもとで、彼らが自らの思想をつくり上げていったのか、科学革命と宗教革命から始まる時代の中で、理性の持っていた可能性について考えてみたいと思います。
- ◆**学修到達目標** 近世から近代にかけての西洋哲学の基本用語と問題意識を学び、基本的な哲学書を独力で読んでいくために必要な知識を身につけていく事を目的とします。
- ◆**授業方法**
  - ・オンデマンド  
配布プリントと教科書（辞書的・資料集的な副読本扱いになります）を用いて講義形式で行います（講義の進度により、扱う思想家の範囲を変更することもある）。
  - ・対面授業  
配布プリントと教科書（辞書的・資料集的な副読本扱いになります）を用いて講義形式で行います。可能であれば、例年通り、質疑応答を取り入れ、受講生からの積極的な参加を期待します（講義の進度により、扱う思想家の範囲を変更することもある）。
- ◆**履修条件**
- ◆**教科書** **教材**『西洋思想史Ⅱ P30600』通信教育教材（教材コード000570）  
**資料配布（Classroom）** 取り上げる哲学書からの抜粋、コピーを配布（授業内容の要約的なものではありません）。
- ◆**参考書** **その他** 講義時に紹介する。
- ◆**成績評価基準** 全出席を評価の前提とする。オンデマンド授業におけるレポート課題（40%）、及び対面授業における試験（60%）により総合的に評価する。尚、対面授業の試験はレポートへ変更の場合もある。
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各90分〕**
  - ・オンデマンド

授業内容	ガイダンス（シラバスの説明）。 ルネサンスは近代に何をもたらしたのか？ ルネサンスは近代に何をもたらしたのか？ マキャベリと共和制について考える（扱う対象は変更することもある）。 デカルトの何が新しかったのか？ アリストテレスとデカルトの学問観の違いを『精神指導の規則』冒頭部分によって確認する。 デカルトの方法的懐疑について。主著『省察』は第一哲学についての書物である。第一哲学とはなにかをアリストテレス『形而上学』の部分を読みながら確認する。 社会契約説Ⅰ。ホブズの主権権力について、生き延びた狼について（次回まで続く）。
事前学修	・教科書の当該部分を読んでおくこと ・教科書の項目のほかに、熊野純彦『西洋哲学史Ⅱ』岩波新書など、各自で資料にあたって当該項目を確認しておくこと。
事後学修	ノートなど、授業内容を確認しておくこと。また講義を踏まえて、図書館等で、多少踏み込んだ哲学史の本にあたってみるのが好ましい（『哲学の歴史』中央公論新社など）。

### ・対面授業

1回目	授業内容	社会契約説Ⅱ。ロックの所有権について。所有権を人間のあらゆる権利の根拠とすることは妥当なのか。
	事前学修	前回までの事前学修と同じく、教科書に加えて、各自で資料にあたって当該項目を確認しておくこと。
	事後学修	ノートなど、授業内容を確認しておくこと。また講義を踏まえて、図書館等で、多少踏み込んだ哲学史の本にあたってみるのが好ましい。
2回目	授業内容	ロックの観念の哲学について。また所有権について再説する。
	事前学修	教科書の経験論の項目は簡潔すぎるので、教科書に加えて、各自でもう少し情報量のある資料にあたって当該項目を確認しておくこと。
	事後学修	ノートなど、授業内容を確認しておくこと。また講義を踏まえて、図書館等で、多少踏み込んだ哲学史の本にあたってみるのが好ましい。
3回目	授業内容	ライプニッツの个体論／可能世界論について。ライプニッツはデカルトの何を批判したのか？ モナドロジーとは何か？
	事前学修	教科書のライプニッツの項目は簡潔すぎるので、教科書に加えて、各自でもう少し情報量のある資料にあたって当該項目を確認しておくこと。
	事後学修	ノートなど、授業内容を確認しておくこと。また講義を踏まえて、図書館等で、多少踏み込んだ哲学史の本にあたってみるのが好ましい。
4回目	授業内容	スピノザの神とその力の表現の哲学。彼の人間の感情についての分析を見ていく。
	事前学修	教科書のスピノザの項目は簡潔すぎるので、教科書に加えて、各自でもう少し情報量のある資料にあたって当該項目を確認しておくこと。
	事後学修	ノートなど、授業内容を確認しておくこと。教科書の内容は、多くの場合簡潔すぎるので、図書館等で、多少踏み込んだ哲学史の本にあたってみるのが好ましい。
5回目	授業内容	ヒュームの懐疑論について。デカルトの懐疑と何が異なるのか？ ヒュームの共感の哲学。ルネサンスから近代へ。
	事前学修	教科書のヒュームの項目は簡潔すぎるので、教科書に加えて、各自でもう少し情報量のある資料にあたって当該項目を確認しておくこと。
	事後学修	ノートなど、授業内容を確認しておくこと。また講義を踏まえて、図書館等で、多少踏み込んだ哲学史の本にあたってみるのが好ましい。
6回目	授業内容	まとめと試験。講義の進度によっては、通常授業に変更する（その場合、試験はレポートに変更になります）。
	事前学修	・講義で分からなかった部分を洗い出しておくこと。 ・試験は記述式で行い、範囲、問題はあらかじめ告知する。ノートに要点をあらかじめまとめておくことが望ましい。試験はレポートに変更することもある。
	事後学修	実際に哲学の古典を読んでみる。これ以上の学習方法はありませぬ。

# 講座内容（シラバス）

## 〔日本史概説 / 日本史概論〕

千葉 篤志

◆**授業概要** 本科目では、古代から現代（昭和までを予定）に至るまでの日本の歴史を政治史を中心として学修し、同時に個別のテーマとして特に日本の「印章」に関する事項について取り上げ、通史（日本）を学修することの意義と特定のテーマを設定して考察することの意義への理解を深める。

◆**学修到達目標** ①日本の古代から現代（昭和までを予定）までの流れを辿り、各時代の主な出来事と、その背景や意義、注目点について学び、説明できるようになる。  
②日本の「印章」に関する歴史的事項について学び、通史（日本）との関連性を考察することにより、過去の事実を通して現在の物事や課題を考える姿勢を身につけるようになる。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

まず、授業の進め方や成績評価について説明を行ない、事前に教科書や関連文献などで、時代概要を把握していることを前提として、Classroom上にレジュメのデータをアップロードして、授業を進行する。オンデマンド授業のみ、必ずリアクションペーパーの提出を求める。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安とする。

#### ・対面授業

事前に教科書や関連文献などで、時代概要を把握していることを前提として、プリントの配布を中心に授業を進行し、適所でスクリーンなどの補助教材を使用する。対面授業の期間中にレポートの提出を求める。最終日に授業内試験を行う。なお、受講人数によって授業方法を変更する場合がある。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安とする。

◆**履修条件** 卒業に必要な単位を2分の1以上取得済で、4年生の受講を優先し、人数に空きがあれば、3年生→2年生→1年生の順に受講を受け付ける。

◆**教科書** **通材**『概論 日本歴史』通信教育教材（教材コード 000382）

資料配布（Classroom）必要に応じて資料を配布する

◆**参考書** **丸沼**『印章』新装版 日本歴史叢書 13 荻野三七彦 吉川弘文館 1995年

（1966年に吉川弘文館から刊行、のちに新装版として同社から刊行）

**丸沼**『ハンコの文化史～古代ギリシャから現代日本まで～』読みなおす日本史 新関欽哉 吉川弘文館 2015年

（1987年にPHP研究所から刊行、のちに吉川弘文館から再刊）

**丸沼**『はんこ』ものや人間の文化史 178 久米雅雄 法政大学出版局 2016年

**丸沼**『はんこと日本人』読みなおす日本史 門田誠一 吉川弘文館 2018年

（1997年に大巧社から刊行、のちに吉川弘文館から再刊）

### ◆成績評価基準

・オンデマンド授業：リアクションペーパー（20%）。

・対面授業：試験内試験（60%）、レポート（20%）。

以上の内容により総合的に評価する。授業に全て出席し、特に対面授業に関しては真摯な態度で授業に参加していることを前提として評価を行う（オンデマンド授業に関しては、リアクションペーパーの提出が出席を兼ねる）。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom上にて行う

### ◆授業計画〔各90分〕

#### ・オンデマンド

授業内容	1. 授業の進め方や成績評価について説明 2. 先史時代について（旧石器時代～弥生時代） 3. 志賀島の金印について 4. ヤマト王権の成立と展開（古墳時代～飛鳥時代） 5. 將軍章・香木烙印十字について 6. 律令国家の成立と展開（奈良時代） 7. 公式令と印章について
事前学修	教科書 p 3～32 を熟読しておくこと。
事後学修	オンデマンド配信動画の内容をノートに整理し、テキストの該当ページを確認しておくこと。また、リアクションペーパーとして提出した内容もノートに整理しておくこと。

#### ・対面授業

1回目	授業内容	・王朝国家の展開と武士の台頭（平安時代） ・押印の敬遠と花押の出現について ・鎌倉幕府の成立と展開（鎌倉時代） ・禅宗と印章について
	事前学修	教科書 p 33～67 を熟読しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を再確認し理解しておくこと。
2回目	授業内容	・室町幕府の成立と展開（室町時代） ・勘合貿易と印章について ・領域権力の割拠から統一へ（戦国時代） ・印判状について
	事前学修	教科書 p 68～89 を熟読しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を再確認し理解しておくこと。
3回目	授業内容	・幕藩体制の成立（安土桃山時代～江戸時代初期） ・ローマ字印、江戸時代の印章について ・幕藩体制の展開（江戸時代中期） ・印判師について
	事前学修	教科書 p 115～137 を熟読しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を再確認し理解しておくこと。

4回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幕藩体制の崩壊（江戸時代後期）</li> <li>・「天皇御璽」と「大日本国璽」について</li> <li>・近代国家の建設と展開（明治時代）</li> <li>・印鑑登録制度について</li> </ul>
	事前学修	教科書教科書 p 138～161, p 189～220 を熟読しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を再確認し理解しておくこと。
5回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デモクラシーの時代（大正時代）</li> <li>・大正時代の印鑑に関する出来事について</li> <li>・恐慌から戦争へ（昭和初期～アジア・太平洋戦争終結）</li> <li>・検閲と軍事郵便について</li> </ul>
	事前学修	教科書 p 220～260 を熟読しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を再確認し理解しておくこと。
6回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後改革と冷戦（終戦以降）</li> <li>・終戦から最近までの日本の印章に関する出来事について</li> <li>・授業内試験と本講義の総括</li> </ul>
	事前学修	教科書 p 263～309 を熟読しておくこと。 オンデマンド授業と対面授業の学修内容全てをまとめておくこと。
	事後学修	授業で学んだことを振り返り、理解度の低い部分を確認する。

## ◆授業概要

「交通論」の対象は、「ヒト・モノ・情報」の「場所的距離の克服」である。ヒトやモノをある場所から他の場所へと移動させる陸海空の交通手段が、自動車や鉄道、航空機、船舶等である。それらに活動に付随したビジネスについて学んでいく。特に、ヒトの移動＝観光、モノの移動＝ロジスティクスを中心に理解を深めていく。また、可能な限り事例を交えながら講義を進めていく。

## ◆学修到達目標

- ①交通サービスの特性についての理解し、説明することができる。
- ②航空会社や鉄道会社、クルーズ会社の知識を深め、観光ビジネス全体の結びつきについて理解し、説明することができる。
- ③世界のモノの移動＝ロジスティクスの知識を深め、陸海空のコンテナ輸送と空港・港湾戦略の結びつきについて理解し、説明することができる。

## ◆授業方法

オンデマンド授業の動画は毎回テーマ毎に行う。動画での学修内容は必ずノートに取り、理解する。また視聴後は毎回、Google フォームでの課題提出を行う。場合により、リアクションペーパーの提出を求めるので、ノートを確認しながらリアクションペーパー作成に取り組み、氏名、学生証番号を記して Google Classroom 上で提出する。

## ◆履修条件

なし

## ◆成績評価基準

レポート（50%）、小論文（30%）、平常点（20%） 授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します。

## ◆教科書

交通論（通信教育教材）

## ◆参考書

## ◆授業相談先（連絡先）

Google Classroom 上、あるいは Google フォームにて質問を受け付けます。

## ◆授業計画

オンデマ ンド	授業内容	動画①交通サービスの特徴について 動画②交通サービスの特徴と運賃 動画③産業社会の変化と経済性について 動画④流通活動と物流について 動画⑤物流・ロジスティクスの基本的サービス
	事前学修	課題として挙げたテーマについて、情報収集し、新聞や雑誌を活用してまとめておきましょう。
	事後学修	講義で行った内容をもう一度確認をし、各テーマについて理解を深めて下さい。

対面授業 1回目	授業内容	観光ビジネスと交通の関係について
	事前学修	課題として挙げたテーマについて、情報収集し、新聞や雑誌を活用してまとめておきましょう。
	事後学修	講義で行った内容をもう一度確認をし、次週以降、質疑に対応できるようにしておきましょう。
対面授業 2回目	授業内容	国際観光の重要性について
	事前学修	課題として挙げたテーマについて、情報収集し、新聞や雑誌を活用してまとめておきましょう。
	事後学修	講義で行った内容をもう一度確認をし、次週以降、質疑に対応できるようにしておきましょう。
対面授業 3回目	授業内容	航空輸送と観光の関係について
	事前学修	課題として挙げたテーマについて、情報収集し、新聞や雑誌を活用してまとめておきましょう。
	事後学修	講義で行った内容をもう一度確認をし、次週以降、質疑に対応できるようにしておきましょう。
対面授業 4回目	授業内容	観光・旅行の未来について
	事前学修	課題として挙げたテーマについて、情報収集し、新聞や雑誌を活用してまとめておきましょう。
	事後学修	講義で行った内容をもう一度確認をし、次週以降、質疑に対応できるようにしておきましょう。
対面授業 5回目	授業内容	陸海空のコンテナ輸送と港湾・空港の関係性について
	事前学修	課題として挙げたテーマについて、情報収集し、新聞や雑誌を活用してまとめておきましょう。
	事後学修	講義で行った内容をもう一度確認をし、次週以降、質疑に対応できるようにしておきましょう。
対面授業 6回目	授業内容	国際貿易における観光の重要性
	事前学修	課題として挙げたテーマについて、情報収集し、新聞や雑誌を活用してまとめておきましょう。
	事後学修	講義で行った内容をもう一度確認をし、理解深めて下さい。



# 講座内容（シラバス）

## 〔道徳教育の理論と方法 / 道徳教育の研究〕

李 吉魯

◆**授業概要** この授業では、道徳の意義や原理などを踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。また、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法などを幅広く理解する。さらに、授業中に配布する資料や各種のデータ・映像などを用いて教育の問題に対する理解を深めるとともに、受講生どうしの「話し合い」を通じて、多様な考え方を共有する場としたい。

◆**学修到達目標** 1. 道徳及び道徳教育、道徳性、道徳科の指導、評価等の意義を理解し、学校教育の中でこれらが、どのように位置づけられているのかを説明できる。  
2. 学習指導要領に基づいて道徳に関する諸概念の検討、道徳教育の歴史的背景、道徳教育の指導計画など、道徳の授業実践に役立つ基本的な事項について知り、説明することができる。  
3. 学習指導案の作成を通して、教師としての求められる資質・能力を養うことができる。

### ◆**授業方法**

#### ・オンデマンド

オンデマンド授業の動画は各回共に2分割されている。動画で取り上げる授業内容の資料は Google Classroom 上でダウンロードして事前に目を通しておく。また、授業時にその他の授業関連の指示があった場合は、参考資料などを確認するとともに、授業終了後は、毎回リアクションペーパーを含む確認テスト（小テスト）や課題、レポートなどの提出を求めため、学修内容をしっかりと取り組み、Google Classroom 上で提出する。また、提出された課題に対しては、採点をし、点数を入力して受講者に「返却」する。その際、個別に対応するために「限定公開のコメント」欄を通じてフィードバックを行う。さらに、授業方法に対応できるように、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の手法を取り入れ、受講者の能動的な学習への参加を促す。

#### ・対面授業

前半部分（1日目～3日目）は道徳教育の指導計画と実際の指導、そして戦前戦後の道徳教育の変遷等について解説する。後半部分（4日目～6日目）は道徳教育の実践（模擬授業と検討会）についてグループワーク（あるいは個別）を通じて実践的指導力を身につける。なお、各グループあるいは個人が行った模擬授業については、毎回感想および評価などを整理して Google Classroom 上で提出する。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 丸沼『小学校学習指導要領解説 道徳編』文部科学省 東洋館出版 2008年  
丸沼『中学校学習指導要領解説 道徳編』文部科学省 日本文教出版 2008年  
丸沼『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「特別の教科 道徳編」』文部科学省 教育出版 2017年

◆**参考書** 通材『道徳教育の理論と方法／道徳教育の研究 T21300 / T21400』通信教育教材（教材コード 000543）  
〈この教材は市販の『道徳教育の理論と方法』羽田積男・関川悦雄編 弘文堂 2016年と同様。〉  
丸沼『教科化された道徳への向き合い方』碓井敏正著 かもがわ出版 2017年  
丸沼『考える道徳教育「道徳科」の授業づくり』笹田博通・山口匡・相澤伸幸編 福村出版 2018年  
丸沼『私たちの道徳 中学校』廣済堂あかつき 2014年  
丸沼『道徳教育』明治図書 月刊誌

◆**成績評価基準** 試験（40%）、レポートおよび課題（20%）、模擬授業（20%）、授業への取り組み（20%）により総合的に評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：授業に関する受講者への対応（出席確認や確認テストなど）については、Google Classroom を通じて行う。

### ◆**授業計画〔各 90 分〕**

#### ・オンデマンド

授業内容	動画①の内容：ガイダンスとして授業の内容や進め方、成績評価、教職の学習方法など、これから授業を受けるにあたっての諸注意事項について説明を行う。また、道徳および道徳教育とは何かについて解説する。 動画②の内容：道徳性の発達理論について解説する。まず、道徳性とは何かを考える。文部科学省による道徳性についての見解を概観し、さらにその具体的な内容や特徴などについて学修する。 動画③の内容：道徳性の発達に関して代表的な人物である、ジャン・ピアジェ (Piaget, Jean 1896 - 1980) とローレンス・コールバーグ (Kohlberg, Lawrence 1927-1987) の発達理論について学修する。 動画④の内容：学校教育における道徳教育の位置づけについて解説する。具体的にはどのような目標を持ち、学校全体で行う道徳教育の中でどのような方向性と役割を持つのかについて学修する。
事前学修	シラバスに示された授業の関連資料等をよく読み、授業の概要や道徳教育の目標、目的などを理解しておく。
事後学修	授業で取り上げた内容を確認するとともに、授業中に示された関連資料等を用いてもう一度見直し、ノートに要点を整理する。

#### ・対面授業

1回目	授業内容	道徳教育（道徳科）の指導計画と実際の指導について解説する。具体的には教育基本法および学校教育法に基づく道徳教育、道徳教育の全体計画（意義・内容・留意点）と年間指導計画（基本方針・意義・留意点）、道徳教育・道徳科と他教科との関連などについて学修する。
	事前学修	道徳教育関連する教育基本法および学校教育法の条文内容について授業の関連資料（教科書や参考資料など）を用いて把握しておく。
	事後学修	授業で取り上げた内容を確認するとともに、授業中に示された関連資料等を用いてもう一度見直し、ノートに要点を整理する。
2回目	授業内容	①戦前の道徳教育について解説する。具体的には道徳教育を担った「修身」が天皇制国家主義に基づいて戦前の教育を根底から支えるに至った経緯を学修する。 ②戦後の道徳教育について解説する。戦後の道徳教育では学習指導要領と道徳教育、「道徳の時間」の特設、「特別の教科 道徳」（道徳科）の設置など、戦後における教育改革と道徳教育との関連について学修する。
	事前学修	①天皇制公教育と修身との関係について調べておく。 ②特設された「道徳の時間」の経緯やその内容について調べておく。
	事後学修	授業で取り上げた内容を確認するとともに、授業中に示された関連資料等を用いてもう一度見直し、ノートに要点を整理する。

3回目	授業内容	道徳科の学習指導案の作成について解説する。まず、学習指導案とは何かを考える。そして学習指導案の構成や作成、その留意事項などについて学修する。
	事前学修	道徳科の学習指導案の作成例について関連資料等をよく読み、把握しておく。
	事後学修	授業で取り上げた内容を確認するとともに、授業中に示された関連資料等を用いてもう一度見直し、ノートに要点を整理する。
4回目	授業内容	道徳教育の実践① 模擬授業と検討会（グループによる発表《あるいは個別》および質疑応答）を行う。その際、模擬授業の時間は各グループ40分程度で、受講生の積極的な意見や考え方などを求める（受講人数によって、計画を変更する場合がある）。
	事前学修	作成された学習指導案の内容に基づいて、どうしたら良い道徳授業ができるかについて受講者同士で意見交換し、模擬授業に向けて準備する。
	事後学修	各グループあるいは個人が行った模擬授業について、感想および評価などを整理しておく。その際、資料の工夫、発表方法の工夫、コミュニケーションの工夫などの視点から、良かった点やここを工夫すればさらに良くなると思われる点などを理解する。
5回目	授業内容	道徳教育の実践② 模擬授業と検討会（グループによる発表《あるいは個別》および質疑応答）を行う。その際、模擬授業の時間は各グループ40分程度で、受講生の積極的な意見や考え方などを求める（受講人数によって、計画を変更する場合がある）。
	事前学修	作成された学習指導案の内容に基づいて、どうしたら良い道徳授業ができるかについて受講者同士で意見交換しながら、模擬授業を準備する。
	事後学修	各グループあるいは個人が行った模擬授業について、感想および評価などを整理しておく。その際、資料の工夫、発表方法の工夫、コミュニケーションの工夫などの視点から、良かった点やここを工夫すればさらに良くなると思われる点などを理解する。
6回目	授業内容	道徳教育の実践③ 模擬授業と検討会（グループによる発表《あるいは個別》および質疑応答）を行う。その際、模擬授業の時間は各グループ40分程度で、受講生の積極的な意見や考え方などを求める（受講人数によって、計画を変更する場合がある）。
	事前学修	作成された学習指導案の内容に基づいて、どうしたら良い道徳授業ができるかについて受講者同士で意見交換しながら、模擬授業を準備する。
	事後学修	各グループあるいは個人が行った模擬授業について、感想および評価などを整理しておく。その際、資料の工夫、発表方法の工夫、コミュニケーションの工夫などの視点から、良かった点やここを工夫すればさらに良くなると思われる点などを理解する。



**◆授業概要**

博物館資料とは何か？その概念、収集・整理、その様々な活用のあり方などに関して、モノが博物館資料となる過程をふまえ、博物館資料をめぐる様々な事項に関して考察し、現状と課題をさぐる。博物館の学芸員としての経験をもとに、現場の実情と課題をふまえながら授業を進めていく。

**◆学修到達目標**

「博物館資料」に関する基礎的な知識、それを取り扱う基礎的技術を身につけ、実際の博物館における資料が抱える課題、資料の調査研究をめぐる課題に関して、各自が主体的なスタンスを構築することができる。

**◆授業方法**

## ・オンデマンド

各回、授業計画に基いて講義の動画を配信する。必要な資料は随時配布する。また、各回の講義の後に、講義内容に関する簡単な課題を出し、提出してもらう。

## ・対面授業

各回、授業計画に基いて講義を行なう。必要な資料は随時配布する。また、各回の授業に最後にリアクションペーパーを提出してもらう。

**◆履修条件**

学芸員資格の取得を希望する人

**◆成績評価基準**

試験（50%）、オンデマンド授業における課題の評価（20%）、授業参画度：リアクションペーパーの提出により評価（30%）

**◆教科書**

必要な資料は適宜配布する。

**◆参考書**

授業の中で随時指示する。

**◆授業相談先（連絡先）**

Classroom 上にて行う。

◆授業計画

オンデマ ンド	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業計画の説明と博物館と「資料」の関係について</li> <li>・ 博物館資料の定義と特性を探る</li> <li>・ 博物館資料の種類—一次資料と二次資料の区分を中心に</li> <li>・ 博物館資料化のプロセスについて考える</li> </ul>
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 博物館資料にはどのようなものがあるかを調べてピックアップし、ノートにまとめる。</li> <li>・ 博物館が所蔵する資料の種類に関して考え、ノートにまとめる。</li> <li>・ モノと博物館資料との相違に関して考え、ノートにまとめる。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の関心のある博物館の収蔵資料について調べてみる。</li> <li>・ 各回の講義の内容を確認し、ポイントをノートに整理する。</li> </ul>
対面授業 1回目	授業内容	博物館資料の分類と整理について、博物館資料の配架と保管・保存に関して
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多大な資料の「分類」について考え、ノートにまとめておく。</li> <li>・ 関心のある博物館の収蔵庫に関して調べてノートにまとめておく。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心のある博物館で資料の分類・整理がどのようにおこなわれているのかを調べる。。</li> <li>・ 講義の内容を確認し、ポイントを整理する。</li> </ul>
対面授業 2回目	授業内容	博物館資料の配架の実際、自然科学系博物館資料の収集・保存について、
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 博物館で資料がどのように保管されているのか、可能な限り調べる。</li> <li>・ 自然系博物館の資料に関して調べてノートにまとめておく。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義の内容を確認し、ポイントを整理する。</li> </ul>
対面授業 3回目	授業内容	博物館資料と調査研究、調査研究成果の公表・還元について
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学芸員には、なぜ調査・研究能力が求められるのかを考えてノートにまとめておく。</li> <li>・ 博物館で刊行している「調査報告書」を調べ、ノートに整理しておく。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義の内容を確認し、ポイントを整理する。</li> </ul>

対面授業 4回目	授業内容	博物館資料の活用について—展示、特別利用と教育的活用
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館で資料を展示する際に留意すべきことを考えてノートにまとめておく。</li> <li>・博物館で資料と接した経験を振り返ってノートにまとめておく。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義の内容を確認し、ポイントを整理する。</li> </ul>
対面授業 5回目	授業内容	博物館資料の活用について—情報的活用、博物館資料の保存と修復について
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館のHPから関心のある資料を探ってノートにまとめておく。</li> <li>・資料の劣化と保存・修復との関係を調べてノートにまとめておく。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義の内容を確認し、ポイントを整理する。</li> </ul>
対面授業 6回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験と解説</li> <li>・博物館資料をめぐる現状と課題について</li> </ul>
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの講義の内容を復習し、試験に備える。</li> <li>・博物館が教育委員会から首長部局の管轄下に入るとどうなるかを考えてノートにまとめておく。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験の結果を基に理解が足りなかった内容を復習し、学習した内容の整理を行う。</li> <li>・「博物館資料論」の授業を通して、何を学んだのかを振り返る。</li> </ul>

# 講座内容（シラバス）

## 〔刑法Ⅱ〕

上野 幸彦

◆**授業概要** 刑法典上の重要な個別の犯罪規定を対象として、社会で生起する具体的な出来事に対して、どのように適用されるのかを学ぶ。主要な刑罰法規に関する基礎知識の理解から出発し、実際の裁判例に基づきながら学修を進め、個々の犯罪規定の趣旨・規制目的を踏まえつつ、社会状況に応じた刑法の解釈・適用の在り方について探究し、実践的な知識と理解を獲得できるようにする。（なお、受講に当たり「刑法Ⅰ」を履修していることが望ましい。）

◆**学修到達目標** 刑法典上の重要な規定について、法規の趣旨・目的を理解し、実際の具体的な出来事に対して、裁判例の情報なども参考にしながら分析し、当該刑罰法規の合理的な解釈を通じ、その具体的な適用について検討し、刑法上の罪責（結論）を導き適切に説明することができるようになる。

### ◆**授業方法**

#### ・オンデマンド

授業動画は、(1)授業テーマの基本内容の部分と(2)各種演習の解説部分とに分割されているので、まず(1)を視聴して基本的知識の理解に努める。その後、関連する演習問題について授業時間中に各自で取り組む。そのうえで、演習についての解説動画を視聴し、各自の理解等についてチェックする。動画や演習に関して不明な点や質問がある場合には、メールにより随時受け付ける。

#### ・対面授業

テキストに拠りながら、パワーポイントを利用しながら説明する。授業中に、演習の時間を設けて各自で取り組んでもらった後、解説を行う。

◆**履修条件** 令和2年度夜間スクーリング（春期）「刑法Ⅱ」との積み重ね不可

◆**教科書** 丸沼『刑事法入門』 上野幸彦・太田茂著 成文堂 2018年

### ◆**参考書**

◆**成績評価基準** 《評価資料》①レポート（5回）：35% ②リアクションペーパー（5回）：20% ③授業内テスト：45%  
《評価項目》①は（データ・判例等の）分析力・読解力、ポイントの理解力、論理的思考能力、表現力、②は知識の充足度、（授業内容の）理解度、知識授業参加度、③は知識の充足度、理解力についてそれぞれ評価判定する。

◆**授業相談（連絡先）**：（メールアドレス）ueno.yukihiko@nihon-u.ac.jp

### ◆**授業計画〔各90分〕**

#### ・オンデマンド

授業内容	1. ガイダンス： 授業の概要および学修の方法について説明を行う。 2. 刑法各論とは： 学修の対象である刑法各論という分野について説明する。 3. 法益に基づく犯罪の分類： 刑法典が定めている「罪」の規定とその分類について説明する。 * 授業内で分類に関する演習に取り組む。（解説動画あり） 4. 日本の犯罪情勢： 犯罪白書に基づいて日本の犯罪情勢を概観する。 * 授業内で日本の犯罪情勢に関する演習に取り組む。（解説動画あり）
事前学修	・六法で「刑法」を参照し、第2編「罪」の規定を一覧したうえで、テキスト59～64頁を読んで法益に基づく分類につき予備的な知識を獲得する。 ・令和2年版の「犯罪白書」（法務省のウェブサイト参照）を閲覧し、最近の犯罪情勢の傾向・特徴について事前に調べる。
事後学修	・刑法典の「罪」の諸規定の配列と法益に基づく犯罪の分類とを比較し、両者の関連性について復習する。 ・犯罪白書のデータに基づいて、日本の犯罪情勢の特徴について再確認する。

#### ・対面授業

1回目	授業内容	5. 生命の保護： 最も価値の高い生命の保護に関する刑法上の規定を中心に、刑法の保護の対象となる「人」の意義をはじめ、生命の侵害・危険を処罰根拠とする規定について解説する。 6. 身体（身体の安全を含む）の保護： 傷害罪の規定を中心に、その結果的加重犯としての傷害致死罪、傷害に至らない暴行罪等について説明する。「傷害」、「暴行」という基本的な概念の整理についても解説する。
	事前学修	・最高裁判所平成21年12月7日決定を参照し（裁判所のホームページから「裁判例情報」で検索可能）、(1)事案の概要、(2)争点、(3)決定の要旨をまとめ、(4)その当否について検討し、レポート（no.1）にまとめ第5回の授業時に提出する。 ・テキスト67～69頁を読み、傷害および暴行の意義をチェックするとともに、現行刑法上の「傷害罪」と「暴行罪」との関係について予習する。
	事後学修	・今回取り上げた判例のケースなどを踏まえ、終末期医療や尊厳死・安楽死の問題について、刑法上の犯罪との関連性のポイントについて復習する。 ・裁判例に基づき、暴行の手段・方法によらずに傷害罪の成立が認められたケースを再確認し、復習する。
2回目	授業内容	7. 自由の保護： どのような自由を保護しているのかという観点から、関連する規定を整理し、それぞれの規定の内容について解説する。 8. 名誉の保護： 個人の人格権の一部としての名誉の保護と同時に、表現の自由との調整の問題について、判例の見解も含めて説明する。
	事前学修	・平成29年の改正で、176条以下の性犯罪に関する規定が大幅に改正されたが、この改正の(1)立法的な背景、(2)旧規定と新规定の違いについて調査して、レポート（no.2）にまとめ、第7回の授業時に提出する。 ・テキスト73～76頁を読み、刑法230条の構成要件をチェックするとともに、230条の2の規定による名誉毀損罪不成立の要件を確認しておく。
	事後学修	・13歳以上の者が対象である場合、「暴行または脅迫」を強制わいせつ罪・強制性交等罪成立の手段として定めているが、このような要件の設定の当否について、外国の立法例等も参考にして検討してみる。 ・人格権としての「名誉」の保護と表現の自由の保障（憲法21条）とは、いずれも憲法上の基本権（人権）として尊重されるべきものであるが、刑法230条の2の規定を手掛かりに両者が対立・衝突する場合の調整基準について再確認し、また最高裁判所昭和44年6月25日判決の意義について、授業内容を復習して再度理解を確かめておく。

3回目	授業内容	9. 財産の保護(1): 財産犯一般に関する問題として、財産犯の分類、財産犯の保護法益、領得罪における不法領得の意思について解説する。 10. 財産の保護(2): 財産犯の中でも特に重要な窃盗罪・強盗罪、詐欺罪、横領罪・背任罪を中心に裁判例も併せて説明する。
	事前学修	・最高裁判所平成元年7月7日決定について、(1)事案の概要、(2)争点、(3)決定の内容をまとめたうえ、(4)最高裁の判断がどのような見解に拠っているのかを分析し、その当否について検討して、レポート(no.3)にまとめ、第9回目の授業時に提出する。 ・テキスト77～81頁を読み、財産犯の主要な規定をチェックし、その内容を確認する。
	事後学修	授業内容を振り返り、財産犯の諸規定を分類・整理をチェックし、判例が採用する財産犯の保護法益に関する見解、不法領得の意思内容に関する見解について復習する。
4回目	授業内容	11. 公共の安全の保護: 公共の安全を脅かす犯罪としての「公共危険犯」を取り上げ、犯罪としての特徴、公共危険犯に分類される諸規定を概観したうえ、とくに放火罪を中心に解説する。 12. 取引の安全の保護: 各種偽造罪のうち、とくに文書偽造罪を中心に取り上げ、基本的な知識を確認しながら解説する。
	事前学修	・テキスト82～86頁を読み、刑法108条から110条までの規定について、構成要件上の「公共の危険の発生」の要否、放火の対象(客体)の区別、放火対象物が自己所有である場合の罪責について、整理しておく。 ・テキスト89～92頁を読み、日本の刑法において名義人の真正の偽りを処罰する規定と内容の虚偽を処罰する規定とを整理しておく。
	事後学修	伝統的な「文書」に加え、今日電磁的記録(データ)も保護の対象となっている。これにより、文書には妥当する有形偽造と無形偽造との区別がデータの場合には維持しにくくなっており、従来不可罰な無形偽造として取り扱われていたが、データの場合に一部が犯罪化されるに至っている。この点について、授業内容を振り返り、規定に即して理解を再確認する。
5回目	授業内容	13. 国家の作用の保護(1): 一般的な公務の保護を図る公務執行妨害罪を取り上げ、保護されるべき公務とは何かという問題を中心に検討し説明する。 14. 国家の作用の保護(2): 国家作用のうち、司法作用の保護に関連する規定を取り上げ、整理しながら説明する。
	事前学修	・テキスト96～97頁を読み、公務の適法性について学習したうえ、最高裁判所平成元年9月26日決定のについて、(1)事案の概要、(2)争点、(3)決定の内容をまとめたうえ、(4)その当否について検討して、レポート(no.4)にまとめ、第13回の授業時に提出する。
	事後学修	公務の適法性に関する一連の裁判例について整理する。
6回目	授業内容	15. 公務に対する国民の信頼の保護: 「汚職の罪」の章を対象に、職権濫用罪および賄賂罪に関する諸規定に関し、重要なポイントと関連する判例について解説する。 16. 授業内テストおよびその解説: 本授業のまとめを兼ねて、知識や理解を確認するために授業内テストを実施する。引き続きテストの解説を行う。
	事前学修	・最高裁判所平成7年2月22日判決(ロッキード事件)における内閣総理大臣の職務権限に関する判断について紹介し、そのような判断に至る根拠や背景を分析するとともに、その当否を検討してレポート(no.5)にまとめ、第15回の授業時に提出する。
	事後学修	職務権限に関する裁判所の判断について、とくに国民の信頼という観点が重視されていることを復習し、裁判例についてチェックする。

## ◆授業概要

The focus of Composition 1 centers around the writing process of a five-paragraph essay. Through this process students will produce two essays during the course while completing various writing activities along the way.

## ◆学修到達目標

This is multi-week, intensive writing course that requires students to do group work, however, students have the freedom to work on their own essays. Your teacher will discuss the essay topics in class.

## ◆授業方法

Together, students will work on developing ideas for their essays. Sentence and paragraph structures will be covered during this period. Active participation is expected by all students in pursuit of our writing goals.

## ◆履修条件

The course is open to all students. Keep in mind, our aim is to achieve improvements in academic writing.

## ◆成績評価基準

Students will be graded on two essays (60%) with strong consideration on class participation (40%).

## ◆教科書

なし

## ◆参考書

なし

## ◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

オンデマ ンド	授業内容	Self-introduction activity. Part 1 and 2 of The Writing Process along with in-class activities such as pre-writing and brainstorming activities.
	事前学修	Prepare a self introduction. Reasearch your topics for Essay 1 and Essay 2. To be a good writer you need to be a good reader. Research something you feel passionate about as well as something you can put an academic voice to in your writing.
	事後学修	Review your notes on the Writing Process. Make sure you understand all of the vocabulary, terms and expectations for writing your essays. Topic sentences is an important point. Make sure you understand this part and practice writing good topic sentences.
対面授業 1回目	授業内容	"Discuss your topic in a group. Brainstorm topic ideas and get feedback.
	事前学修	Finish the activity on supporting sentences. Prepare your answers for the next group activity.
	事後学修	"
対面授業 2回目	授業内容	Prepare 12 sentences from your weekly journal.
	事前学修	Develop ideas and provide details of your journal's notes.
	事後学修	"Focus on the grammar and sentence structure of your supporting sentences.
対面授業 3回目	授業内容	Study the grammar points from the previous lesson. Prepare answers for the editing activity.
	事前学修	Edit at least 2 partners' essays. Edit your Essay 1 from the comments made by other students.
	事後学修	Complete the Grading Grid for your Essay 1.
対面授業 4回目	授業内容	Prepare your final draft for Essay 1."
	事前学修	Prepare 12 sentences from your weekly journal.
	事後学修	Develop ideas and provide details of your journal's notes.
対面授業 5回目	授業内容	"Edit at least 2 partners' essays. Edit your Essay 1 from the comments made by other students.
	事前学修	Complete the Grading Grid for your Essay 1.
	事後学修	Prepare your final draft for Essay 1."

対面授業 6回目	授業内容	Prepare 12 sentences from your weekly journal.
	事前学修	Develop ideas and provide details of your journal's notes.
	事後学修	"Research ideas for Essay 2.



**◆授業概要**

ヒトは誰でも母語を獲得することができますが、その獲得は特別な勉強や訓練なしに子供の頃にいつの間にか当たり前のようになされてしまいます。これは、たとえば計算の仕方や交通規則を身につけるためには勉強しなければならないということや、ピアノやバイオリンを弾いたりあるいは泳いだり車を運転したりするためには特別な訓練が必要になる、といったこととは対照的です。また、通常大人が外国語を身につけるのには意識的な努力が必要であるということとも対照的です。それでは、なぜ子供は特別な勉強や訓練をせずとも母語を身につけられるのでしょうか。なぜ大人は勉強や訓練なしには外国語を身につけることができないのでしょうか。そもそもヒトは一体どのような仕組みにより、極めて複雑で豊かな内容を持つ言語を身につけているのでしょうか。

本講座では、上記のような事柄を通じて生物種としてのヒトの特徴について考えます。

**◆学修到達目標**

全ての生物種の中でヒト科ヒト属のみが持つと考えられている特殊な知識体系であることばに内在する性質、そして幼児による言語獲得の過程に触れることにより、ことばの分析方法や言語学・英語学の方法論を学ぶことを目標とします。

**◆授業方法**

## ・オンデマンド

授業動画は内容に沿って分割し、番号を付している。まずは全体を順に視聴すること。一度の視聴では理解が難しかった内容の動画は重点的に句理科 w して視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。授業用資料の配布、課題の提示などは Google Classroom を使用する。

## ・対面授業

オンデマンド授業で提示された動画は必ず視聴していること。対面授業では、テキストを題材に、受講者による担当部分の内容説明・質疑応答（その過程でアクティブラーニング、グループディスカッションなどを含みます）、教員による補足説明（その過程で課題に対するフィードバックを含みます）、という演習形式で授業を進めます。

**◆履修条件**

なし

**◆成績評価基準**

毎回出席することを前提として、発表や質疑応答などの授業に対する取り組み（50%）と授業終了後に提出のレポート（50%）により総合的に評価します。

**◆教科書**

資料配布 (An Introduction to Linguistic Theory and Language Acquisition. Crain & Lillo-Martin Blackwell 1999 (該当箇所 pp. 188-215 を配布します))

**◆授業相談先（連絡先）**

対面授業の初回に連絡する。

◆授業計画

オンデマ ンド	授業内容	1. 母語と外国語 2. ヒトの言語獲得 3. ことばの研究
	事前学修	配布された資料をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
対面授業 1回目	授業内容	18. WH-Movement (1)-Introduction
	事前学修	配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
対面授業 2回目	授業内容	18. WH-Movement (2)-Conclusion
	事前学修	配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
対面授業 3回目	授業内容	19. Cross-Linguistic Aspects of WH-Questions (1)-Introduction
	事前学修	配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
対面授業 4回目	授業内容	19. Cross-Linguistic Aspects of WH-Questions (2)-Conclusion
	事前学修	配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
対面授業 5回目	授業内容	20. The Acquisitio of WH-Questions (1) -Introduction
	事前学修	配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
対面授業 6回目	授業内容	20. The Acquisitio of WH-Questions (2)-Conclusion
	事前学修	配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。

	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。 難しいと感じた英文の解析を復習すること。
--	------	---

# 講座内容（シラバス）

## 〔工業経済論〕

小林 世治

◆**授業概要** 現代資本主義における生産の基本を、最もよく表す産業は「製造業」です。「農業」のように自然依存度の高い産業に比して、人間の支配力が強い産業は「工業」的と呼ばれます。工業生産の原理は「規模の経済」です。それは、今日の市場と技術の変化と、どのように対応しているのか？とくに取り上げるのは、機械とその部品を階層的に製作（加工・組立）する「機械工業」です。そこで発達した垂直分業と企業間関係についても考察します。

◆**学修到達目標** 1. ミクロ経済学における「生産」に関する理論を踏まえつつ、現実の「産業」を理解するのに必要な理論枠組みを学べる。2. 従来の「産業組織論」アプローチで欠けている、垂直分業と企業間関係など「企業経済」的視点を理解できる。3. 各種産業を比較分析する力を養い、ひいては「市場の現実」に迫ることができる。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

GoogleClassroomにて授業動画を配信する。内容に沿って分割し、ファイル番号を付しているため、順番に視聴すること。分からない部分は再度視聴し、それでも理解できなければ返信「質問」してください。動画の中には小テスト／課題の部分が含まれるので注意し、毎回「回答」を返信「提出」すること。

#### ・対面授業

パワーポイント（PPT）を使って概説した後、できるだけディスカッションの時間を取りたい。予めPPTを配布（1日目の分はGoogleClassroom経由）するので、用語を調べ質問の準備をすること。PPTは項目のみ記されているので、内容理解のためには、授業中のコメントを適宜メモすることが必要です。毎回リアクションペーパーに質問・感想を記入してもらい、次回の講義でお答えします。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** **資料配布（Classroom）** オンデマンド授業の場合は、GoogleClassroomで添付します。

**その他** 対面授業の場合は、次回講義の内容PPTコピー（ワークシート）を配布し、当日も追加の資料配布があります。

◆**参考書** **丸沼** 1. 『産業経済論』 安喜博彦著 新泉社 2007年

**丸沼** 2. 『エッセンシャル 経営史』 中瀬哲史著 中央経済社 2016年

◆**成績評価基準** 平常点（リアクションペーパー・課題の提出など）50%、最終日試験50%。「課題」には、オンデマンド授業の「小テスト」と、「中間テスト」が含まれます。毎回の受講が前提です。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

#### ・オンデマンド

授業内容	オンデマンド授業は2日分、5回の講義に相当します。 1日目は以下の①②、2日目は③④⑤がその内容となります。 ①本講義のアプローチ：「産業組織論」との違い ②「産業」とは何か：産業分類と産業構造 ③「工業的産業」の特徴：「農業的産業」との違い ④「技術」とは何か：労働過程と生産様式 ⑤機械工業の位置と構造：「工業統計表」を読み解く
事前学修	①参考書1などから「産業組織論」について、また②「日本標準産業分類」についてはWeb検索し、概略を調べておくこと。③「物質代謝」の意味、④「技術」の定義、⑤最新の「工業統計調査」をWeb検索し、概略を調べよう。
事後学修	授業の内容をノートに整理しておくこと。また「小テスト」に回答し、指定された期限内にGoogleClassroomにて提出すること。

#### ・対面授業

1回目	授業内容	ミクロ経済学による生産理論から、「規模の経済」の内容を説明します。また企業による「垂直統合」と他産業への「多角化」、そして「範囲の経済」等の基礎概念を学びます。
	事前学修	参考書1（第9章）などから「規模の経済」「範囲の経済」の内容を調べておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理しておくこと。
2回目	授業内容	英・米の産業革命をたどり、今日の大量生産を支える技術的基礎と、結果としての「大企業体制」を確認します。また「規模の経済」から「範囲の経済」への発展を、アメリカ自動車工業の寡占体制（フォード vs GM）の確立から見ていきます。
	事前学修	参考書2（第2章）などから「産業革命」の概略、また同書（第3章）などから諸概念の内容を調べておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理しておくこと。
3回目	授業内容	ME（マイクロ・エレクトロニクス）技術によって引き起こされた、生産革命の仕組みを解説します。またME技術と「手の労働」との結合によって、今日のフレキシブルな生産システムが発展していることを見ます。
	事前学修	「ME革命」をWeb検索してみよう。またフレキシブルな生産システムが何故必要とされるか考えてみよう。
	事後学修	授業の内容をノートに整理しておくこと。
4回目	授業内容	日本型生産システムの代表とされる「トヨタ生産システム」の特徴を解説します。また電子機器組立工程で広がったセル生産方式と、自動車工業にも普及し始めたモジュール化の動きを見ていきます。
	事前学修	参考書2（第4章）などから「トヨタ生産システム」について調べておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理しておくこと。
5回目	授業内容	日本型サプライヤー・システムを代表する、「系列」と「下請」の概念を説明します。また今後の学習のために、「取引コスト論」の概要を紹介します。
	事前学修	それぞれの概念の内容、とくに「取引コスト」についてWeb等で調べておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理しておくこと。
6回目	授業内容	全体のまとめをした後、試験および解説を行います。
	事前学修	前回の授業内で示した重要項目や注意点に従い試験準備すること。
	事後学修	自らの答案と解説を比較検討し、今後の課題を明らかにすること。

**◆授業概要**

IT化が進んだ現代社会では、ITに関する基礎知識や活用能力を備えた人材が求められている。本講義では、「ITパスポート試験」の資格取得を目指し、コンピュータに関する基礎的な理論知識や現代の経済・経営に欠かせないセキュリティ、ネットワークなどITを活用する技能がバランスよく習得できる。できるだけ身近な事例を用いてIT技術を解説するように心掛け、実務経験から得た知識を具体例として挙げる。

**◆学修到達目標**

「ITパスポート試験」のテクノロジー系について学習し、次の内容を習得することを目標とする。

1. コンピュータに関する基礎的な理論及びコンピュータシステムの説明ができる。
2. コンピュータで扱う技術要素について列挙し、その特徴を説明できる。
3. ネットワーク、情報セキュリティに関する基礎知識を身に付ける。

**◆授業方法****・オンデマンド**

オンデマンド授業の動画は各回共に三分割されている。講義動画視聴時間と問題解答時間を設けている。動画での学修内容は必ずノートに取り、理解する。また、動画内で演習課題の指示があった場合は、該当箇所を確認する。視聴後は、数回の課題提出を求めるので、ノートを確認しながら、氏名、学生証番号を記してGoogle Classroom上で提出する。

**・対面授業**

講義形式と演習の両方を行う。講義形式では重点ポイントを解説する。理解度を深めるため、コンピュータを用いて情報処理技術者試験の過去問を中心に演習を行う。授業の内容をノートに整理すること。

**◆履修条件**

特になし。本講義ではPCを利用する。

**◆成績評価基準**

最終課題（50%）＋演習課題（50%）により総合的に評価する。授業中の質疑応答には終評価で加点する。

**◆教科書**

必要に応じて資料を配布する。演習用ITパス試験の過去問は授業中で指示する。

**◆参考書**

『ITパスポート試験』のテキスト（各社）。

**◆授業相談先（連絡先）**

オンデマンド授業においてはGoogle Classroom上にて行う。

その後は、対面授業の初回に案内する。

◆授業計画

オンデマ ンド	授業内容	1 オンデマンド授業の進め方、IT パスポート試験的紹介 2 インターネットサービスの仕組み 3 コンピュータの構成要素 4 コンピュータシステムの仕組み・ハードウェア 5 コンピュータシステムの仕組み・ソフトウェア
	事前学修	日頃から多くの情報技術に興味を持つように、インターネットなど身近なサービスの仕組みを理解しておくこと。また、コンピュータシステムの仕組み・ハードウェア、ソフトウェアは前もって考えておくこと。
	事後学修	オンデマンド配信動画の内容をノートに整理すること。課題提出の際に、氏名、学生証番号を記して Google Classroom 上で提出すること。
対面授業 1回目	授業内容	・対面授業の進め方
	事前学修	・オンデマンド授業の確認と復習
	事後学修	・コンピュータシステム
対面授業 2回目	授業内容	オンデマンド授業で学んだ内容をノートで再確認し、コンピュータの基本的な構成と役割、システム構成の特徴を復習すること。
	事前学修	配布資料を読んで、授業内容を再確認し理解しておくこと。
	事後学修	・情報に関する理論（情報量の単位、デジタル化、AI）
対面授業 3回目	授業内容	・データの利活用
	事前学修	・統計の基礎
	事後学修	配布資料を確認し、アナログとデジタルの特徴や統計量の概念について調べておくこと。
対面授業 4回目	授業内容	今回の授業内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を再確認し理解しておくこと。
	事前学修	・マルチメディア（マルチメディア技術、応用）
	事後学修	・データベース方式、設計、データ操作など
対面授業 5回目	授業内容	配布資料に目を通して、マルチメディアの代表的なファイル形式の特徴を理解する。
	事前学修	今回の授業内容をノートに整理し、配布資料を読んで、授業内容を再確認し理解しておくこと。
	事後学修	・ネットワーク方式、通信プロトコル
対面授業	授業内容	・情報セキュリティ、管理、対策・実装技術

6回目	事前学修	配布資料に目を通しておくこと。情報セキュリティ技術の現状を理解しておくこと。
	事後学修	今回の授業内容をノートに整理、確認し、理解しておくこと。

**◆授業概要**

「博物館」（以下、特に断わらない限り「博物館」は、歴史系博物館・資料館、美術館、文学館、自然科学系博物館、動物園、植物園、プラネタリウム等の総称とする）とは、生涯学習機関であり、文化遺産の次世代継承を使命とする施設である。この「博物館」を支える専門職員が学芸員であるが、学芸員である以上、最低限共有しておきたい「博物館」に関する情報（知識）を15回分の講義を通じて提供する。

**◆学修到達目標**

本講義により、「博物館」の歴史・役割・現状・課題等について詳しく学び、学芸員に必要な知識・問題意識を身に付けることが出来る。

**◆授業方法**

講義形式で行う。講義で用いた PowerPoint のスライドや PDF ファイルは、講義終了後に受講生に提供する。また、上記の「授業概要」に掲げた様々な「博物館」を訪問して「現場」から学び、同時に実際の学芸員から業務に必要な様々なスキルを教授してもらうの理想であるが、限られた講義時間では不可能である。従って、講義では様々な映像資料を効果的に使用する。

**◆履修条件**

なし

**◆成績評価基準**

出席率が7割以上の受講生は、試験レポートを提出することが出来る。  
成績は、試験レポートを採点して評価する。

**◆教科書**

使用しない。講義の中で適宜参考文献を紹介する

**◆参考書**

使用しない。講義の中で適宜参考文献を紹介する

**◆授業相談先（連絡先）**

Classroom 上にて行う



◆授業計画

オンデマ ンド	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「博物館」・学芸員とは何か</li> <li>・博物館法・博物館法施行規則を読む</li> <li>・世界の「博物館」史（１）</li> <li>・世界の「博物館」史（２）</li> <li>・日本の「博物館」史（１）</li> </ul>
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「博物館」・学芸員の定義を考えておく</li> <li>・博物館法・博物館法施行規則を事前に読んでおく</li> <li>・大英博物館について調べておく</li> <li>・2つの故宮博物院について調べておく</li> <li>・岡倉天心について調べておく</li> </ul>
	事後学修	講義の中で出された課題に取り組む
対面授業 1回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の「博物館」が抱える諸問題</li> <li>・「博物館」資料の収集について</li> </ul>
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京国立博物館の入館料の値上げについて調べておく</li> <li>・「博物館」資料の収集方法について調べておく</li> </ul>
	事後学修	講義の中で出された課題に取り組む
対面授業 2回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「博物館」資料の保管について</li> <li>・「博物館」資料の修復について</li> </ul>
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IPM（総合的有害生物管理）について調べておく</li> <li>・ダ・ヴィンチ『最後の晩餐』の修復について調べておく</li> </ul>
	事後学修	講義の中で出された課題に取り組む
対面授業 3回目	授業内容	・「博物館」資料の展示について
	事前学修	・「博物館」展示の記録化について”
	事後学修	・常設展示と企画展示との違いについて考えておく
対面授業 4回目	授業内容	・文学館と歴史系博物館
	事前学修	・「博物館」・学芸員の調査・研究について”
	事後学修	・文学館の展示と歴史系博物館の展示との違いについて考えておく
対面授業 5回目	授業内容	・各「博物館」の研究紀要を図書館やインターネット上で見ておく
	事前学修	講義の中で出された課題に取り組む
	事後学修	・「博物館」・学芸員のパートナーたち
対面授業 6回目	授業内容	・コンサバター、レジストラ、クーリエについて調べておく
	事前学修	講義の中で出された課題に取り組む
	事後学修	・学芸員として就職するために

**◆授業概要**

「自主創造の基礎1」では、大学生としての基本的な資質を育成することをねらいとした、日本大学全ての学部で実施する共通科目として設定されました。この科目は、各学部・学科専攻の専門教育の前提となる基礎教育ではなく、社会人として学修することの意義やその在り方について理解できるようになること、「学び続けていく力」をつけるために設けられました。日本大学では、それを「自主創造型パーソン」と呼称しています。「自主創造型パーソン」を実現するために必要な知識・技能・姿勢を、オンデマンドと対面（一部グループ活動）を通じて学びます。

**◆学修到達目標**

“一般目標：日本大学教育憲章の「自主創造」を構成する3つの構成要素及びその能力を学修スキルの修得を通して理解し、グループの一員として課題に取り組む能力を身に付ける。

行動目標：①「日本大学マインド」と「自主創造」の3つの構成要素及びその能力を説明できる、②予習の内容をもとにグループ討議で論理的・批判的に意見を述べ、解決策を討議できる、③コミュニケーションを通じて相互理解、相手を尊重できる、④自己・他者の評価をもとに振り返りができる、⑤効果的なプレゼンテーションができる。”

**◆授業方法****・オンデマンド**

事前に指示された動画をみて、各自で課題に取り組んで受講してください。オンデマンドの授業は「講義形式」となりますが、この期間にも毎回課題が出されます。この課題は対面授業時に必要な「資料」として利用します。よって課題に取り組んでいない（課題未提出）場合は、対面授業のグループ作業を止めてしまうなどの影響を与えます。必ず各回の課題に取り組み、その成果物を提出してください。

**・対面授業**

事前に指示された課題に取り組んで受講してください。授業では、講義形式のほか、アクティブ・ラーニングの形態で進めます。双方向かつ対話型でおこなう「学生参加型」ですので、受け身ではない能動的な活動となります。基本的には「個人ワーク」、「グループワーク」、「発表・共有」を繰り返します。対面初日にグループ分けをします。欠席の受講生がいるとグループ作業が成立せず、以後の学修・成果発表に影響が出ます。受講する場合は、必ず全ての授業に出席できることを確認した上で受講してください。

**◆履修条件**

以前に、「総合科目 I ～VI」を「自主創造の基礎1」の内容で単位修得した人は、担当者・授業計画の異同を問わず、受講することはできません。

**◆成績評価基準**

“課題設定、問題探究、グループ内における議論、成果のまとめなどを総合的に判断して評価を行います。

事前学修・事後学修での提出物（30%）、当日の作業シートやプロダクト・報告（50%）、相互評価や授業参画度（20%）で評価します。なお、全回出席を100%の評価の前提とします。”

◆教科書

毎時間、作業シートを配付します。

『ミライヨツクル Learning Guide』 日本大学（※大学ホームページFD推進センター PDF）

◆参考書

授業中に適宜紹介します。

◆授業相談先（連絡先）

開講時に指示します。

◆授業計画

オンデマ ンド	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スタートアップ（この授業のねらい・展開・到達点）</li> <li>●大学で学ぶとは —日本大学とは—</li> <li>●大学で学ぶとは —日本大学の通信教育部のあゆみ—</li> <li>●大学での学修で必要なこと</li> <li>●大学での学修で必要なこと —通信教育部での学修—</li> </ul>
	事前学修	各單元において指定した事前学修シートの課題に取り組み、指定された期間中に提出する。『学修要覧』（通信教育部）や『ミライヨツクル Learning Guide』（日本大学ホームページ FD推進センター）を熟読しておく。
	事後学修	各單元において学んだ内容を整理し、当該單元で理解できなかった点を動画や資料で補う。指定した事後学修シートの課題に取り組み、指定された期間中に提出する。
対面授業 1回目	授業内容	”●図書館の効果的な利用と情報収集
	事前学修	●情報収集と整理・編集 —ノートテイク—”
	事後学修	指定した事前学修シートの課題に取り組む（授業当日必ず持参する）。自身の作成している講義ノート（オンデマンド授業・対面問わない）を見て、自身の受講姿勢の特徴を把握しておく（自身が受講している講義のノート〔科目不問〕を1冊持参する）。
対面授業 2回目	授業内容	配付資料とノートを読み返し、学んだ内容を実践する。当日の講義ノート、過去の講義ノートを比較しながら、改善策を考える。
	事前学修	”●コミュニケーションの基本要素
	事後学修	●論理的な文章を書く —文章を要約すること—”
対面授業 3回目	授業内容	指定した事前学修シートの課題に取り組む（授業当日必ず持参する）。コミュニケーション力とは何か、必要な資質についてまとめておく。事前に配付された資料を読み、事前課題に取り組んでおく。
	事前学修	配付資料とノート、当日の作業を振り返り、再度、自己評価する。当日の講義をふまえて、事前課題をやり直し、練度を上げる。
	事後学修	”●レポート作成の基礎 —アウトラインの作成—

対面授業 4回目	授業内容	●プレゼンテーションの方法 —発表の準備—
	事前学修	指定した事前学修シートの課題に取り組む(授業当日必ず持参する)。事前に配付される資料を読み、レポート(または論文)の基本ルールやプレゼン資料の作成ルールを把握し、課題作成(レポート)に取り組む。
	事後学修	当日の自己点検をふまえて、再度レポートを書き直し、修正していく。自身が作成したプレゼン素案を振り返り、より効果的な方法を考える。
対面授業 5回目	授業内容	“●グループ内プレゼンテーション —発表の練習—
	事前学修	●グループワーク —テーマの決定と討論—
	事後学修	指定した事前学修シートの課題に取り組む(授業当日必ず持参する)。事前に配付された資料を読み、「話す」時の基本姿勢を把握しておく。これまでに学んだ「学びの方法」を復習し、与えられた課題について考える。
対面授業 6回目	授業内容	当日の発表練習や相互評価をふまえ、高評価・低評価の点についてまとめておく。特に低評価の点は改善策を考える。当日のグループワークで討論したことをまとめ、報告のアウトラインについて整理する。
	事前学修	●グループワーク —討論と準備—
	事後学修	指定した事前学修シートの課題に取り組む(授業当日必ず持参する)。前週の内容を踏まえた報告のためのエビデンス収集をおこない、当日人数分の資料を用意する。

## ◆授業概要

無味乾燥な暗記から脱却し、「使える英文法」の修得を目指します。

## ◆学修到達目標

本授業では、以下の到達目標を設定します。

- ①これまでに学習してきた（暗記してきたであろう）英文法のいくつかの焦点を当て、その働きと有機的な関連性について理解し、活用することができる。
- ②「英文学（英語学）」を専攻するものとして知っておかなければならない英文法の知識・素質を身につけ、それらをわかりやすい言葉で説明することができる。

## ◆授業方法

## ・オンデマンド

Google Classroom上に公開される授業動画を視聴し、その後、課題に取り組み、期限までに課題を提出してください。授業内容で不明な点がある場合、Google Classroom上に質問を受け付ける場所を用意しておきますので、そちらに質問を書き込んでください。

## ・対面授業

オンデマンドでの学修を前提に、授業計画に示してある文法項目について解説と実践を通して学んでいきます。ただし、受講者の様子（理解度）を見ながら進めていきますので、授業計画はあくまで‘目安’とお考え下さい（変更が生じた場合はその際あらためてお伝えします）。

## ◆履修条件

なし

## ◆成績評価基準

課題（25%）、授業参画度（25%）、試験（50%）

## ◆教科書

適宜、資料を配布します。

## ◆参考書

市販本 『英文法解説』 江川泰一郎 第三版 金子書房 1991年

市販本 『英文法ビフォー&アフター（普及版）』 豊永彰 南雲堂 2009年

市販本 『ジーニアス総合英語』 中邑光男・山岡憲史・柏野健次 大修館 2017年

## ◆授業相談先（連絡先）

Google Classroom上、あるいはGoogleフォームにて質問を受け付けます。

◆授業計画

オンデマ ンド	授業内容	授業概要の説明、なぜ英文法が必要か 動詞の見極め：自動詞と他動詞 押さえておくべき英文法項目 品詞と文法（4大品詞）、文の構成要素（語・句・節）、相当語句 主語・述語・目的語・補語
	事前学修	①本授業のシラバスをよく確認しておくこと ②授業日初日の数日前までに Google Classroom の登録を済ませておくこと（Google Classroom への入り方、使い方等がわからなければ教務課へ連絡） ③Classroom の構成を確認し、配布資料がある場合、動画視聴前に入手（ダウンロード）しておくこと
	事後学修	①対面授業日までに各回の授業動画を繰り返し視聴しておくこと ②不明な点や動画に不備があると思われる場合は、Classroom 上で質問すること
対面授業 1回目	授業内容	オンデマンド授業のおさらい 名詞修飾系品詞：形容詞・前置詞・不定詞・分詞・関係代名詞について、実践問題を通して理解を深める
	事前学修	①Google Classroom から資料を入手（ダウンロード）しておくこと ②準備をしっかりとって授業に臨むこと
	事後学修	本時の授業内容を復習し、日々の学修・実践に活かすこと
対面授業 2回目	授業内容	対面1日目の続き：名詞修飾系品詞について、より実践的な問題を通してさらに理解を深める
	事前学修	①Google Classroom から資料を入手（ダウンロード）しておくこと
	事後学修	②準備をしっかりとって授業に臨むこと
対面授業 3回目	授業内容	文修飾系品詞：副詞・前置詞・不定詞・分詞について、実践問題を通して理解を深める
	事前学修	①Google Classroom から資料を入手（ダウンロード）しておくこと
	事後学修	②準備をしっかりとって授業に臨むこと
対面授業 4回目	授業内容	本時の授業内容を復習し、日々の学修・実践に活かすこと
	事前学修	対面3日目の続き：文修飾系品詞について、より実践的な問題を通してさらに理解を深める

	事後学修	①Google Classroom から資料を入手（ダウンロード）しておくこと
対面授業 5回目	授業内容	②準備をしっかりとって授業に臨むこと
	事前学修	本時の授業内容を復習し、日々の学修・実践に活かすこと
	事後学修	現在完了について、実践問題を通して理解を深める
対面授業 6回目	授業内容	①Google Classroom から資料を入手（ダウンロード）しておくこと
	事前学修	②準備をしっかりとって授業に臨むこと
	事後学修	本時の授業内容を復習し、日々の学修・実践に活かすこと

# 講座内容（シラバス）

## 〔西洋史概説 / 西洋史概論〕

荒木 洋育

- ◆**授業概要** 「西洋」地域は、現在の政治・経済の「世界標準」のほとんどの起源を持ち、同時に現在世界で最も激動の時代を迎えつつある地域でもある。この地域の歴史に関しては、中等教育の「世界史」の枠組みの中ではしばしば把握が分節的となり、かつ現代史が手薄となりがちであるが、実際には総合的な理解、また21世紀の現在に至る把握が求められるであろう。本講義はこの問題意識に基づき、西洋地域の歴史を一通り概観する。
- ◆**学修到達目標** 現代（21世紀前半）に至る西洋（ヨーロッパに加えアメリカ等の地域も含む）の歴史の全体像を捉えることにより、自身が関心を持つ個別の地域・時代についてもより大きな視野からの理解を深めることができる。また学問として「西洋史」を研究する際に、出発点として最低限必要となる程度の基本的知識を、授業を通じ一通り身につけることができる。
- ◆**授業方法**
  - ・オンデマンド  
下記のように時代区分を設定し、授業動画の送信を行う。受講者の方々にはオンライン提出の課題と同時に対面時の口頭発表の準備をしていただく。
  - ・対面授業  
下記のように時代区分を設定し、各回の中で更に細かく時期を区分して西洋諸地域の歴史を全体論、各地域の動向の二つの面から概観する。毎回配布するプリントに基づいて授業を行うが、双方向的な授業を求める立場から、受講者の方々とコミュニケーションをとる時間を口頭発表など毎回設定するので、受講者の方々には能動的な受講姿勢を求めたい。
- ◆**履修条件** なし
- ◆**教科書** [資料配布 \(Classroom\)](#) 資料配布
- ◆**参考書** [丸沼](#)『西洋世界の歴史』近藤和彦編 山川出版社 1999年  
[丸沼](#)『悪の歴史 西洋編（下）』堀越孝一編 清水書院 2018年
- ◆**成績評価基準** 平常点（50%）、試験（50%）。平常点については2/3以上の出席（オンラインは時間内の閲覧をもって出席とする）を前提とし、オンライン提出課題、口頭発表、対面授業時小レポート（1回）を対象として評価を行う。
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画（各 90 分）**
  - ・オンデマンド

授業内容	西洋古代・中世の展開 以下の順番に従い、5回分のファイルを発信する。 ①地域としての「西洋」の定義、特徴、また「西洋史」で用いる史料とその変遷 ②「古代統一帝国」＝「ローマ帝国」までの古代地中海世界の歴史 ③「ローマ帝国」衰亡から「西欧」「東欧」各世界の成立 ④「教皇」「皇帝」を軸とする西洋中世世界の成立 ⑤中世盛期における西洋各地域の展開 ⑥「中世末の危機」からルネサンス、大航海時代の開始＝近世への移行
事前学修	各回の配布教材は映像発信の数日前に発信するので、それを使用して予習し、参考書の該当箇所を読んでおくこと。
事後学修	（各回につき）配布教材の内容を復習すること。オンライン提出分の課題を作成・提出し、対面授業開始後の口頭発表の準備をしておくこと。

### ・対面授業

1回目	授業内容	16世紀の西洋世界 世紀前半についてはルネサンス、宗教改革、大航海時代の展開について説明する。世紀後半については「スペインの時代」を「西洋世界の拡大」と「新旧両宗派の抗争」の二つの側面から説明する。
	事前学修	参考書のあらかじめ指定した箇所について読み、口頭発表の場合はその準備をしておくこと。
	事後学修	配布教材の内容を復習し、予習作業として指定した語句について検索・調査すること。
2回目	授業内容	西洋近世の展開 三十年戦争とウェストファリア条約（1648年）による西洋「主権国家体制」の成立、および英仏の対立を軸に大陸、植民地を舞台とした各主権国家の競合、興亡について説明を加える。「バロック」から「ロココ」への変遷を中心とした文化面の展開についても説明を加えたい。
	事前学修	参考書のあらかじめ指定した箇所について読み、口頭発表の場合はその準備をしておくこと。
	事後学修	配布教材の内容を復習し、予習作業として指定した語句について検索・調査すること。
3回目	授業内容	西洋近代の始まり：大西洋二重革命 「大西洋二重革命」＝アメリカ独立戦争、フランス大革命、産業革命の展開を説明する。更にそれに伴う社会・経済体制の変化、また国家関係の再編成＝「ウィーン体制」の性格についても説明を加えたい。
	事前学修	参考書のあらかじめ指定した箇所について読み、口頭発表の場合はその準備をしておくこと。
	事後学修	配布教材の内容を復習し、予習作業として指定した語句について検索・調査すること。
4回目	授業内容	19世紀後半：「西洋の覇権」の時代 「革命の年」1848年から第一次世界大戦に至る時期を「西洋の覇権の時代＝全盛期」ととらえ、各国民国家の成立とその興亡、「第二次産業革命」とその経済や社会への影響、帝国主義とそれによる「世界分割」＝植民地獲得と各国間の緊張の激化について説明を加えたい。
	事前学修	参考書のあらかじめ指定した箇所について読み、口頭発表の場合はその準備をしておくこと。
	事後学修	配布教材の内容を復習し、予習作業として指定した語句について検索・調査すること。期末試験についての準備を進めておくこと。
5回目	授業内容	20世紀の西洋世界：世界戦争の時代 20世紀を「世界戦争の時代」「米国の時代」としてとらえ、二つの世界大戦の背景・経過・影響、そして世紀後半の「米ソ冷戦」＝自由主義と共産主義の対立と秩序化の歴史事象としての意義について説明を加える。
	事前学修	参考書のあらかじめ指定した箇所について読み、口頭発表の場合はその準備をしておくこと。
	事後学修	配布教材の内容を復習し、予習作業として指定した語句について検索・調査すること。期末試験についての準備を勧めておくこと。



6回目	授業内容	現代の西洋世界：競争と変容，情報革命 冷戦終結後，現在（2021年）までの西洋世界の流れをとらえ，今後の見通しについても触れる。後半に試験を行う。
	事前学修	参考書のあらかじめ指定した箇所について読み，口頭発表の場合はその準備をしておくこと。
	事後学修	配布教材の内容を復習しておくこと。

# 講座内容（シラバス）

## 〔現代教職論〕

古賀 徹

◆**授業概要** 「理想とする教師像」とはどのようなものか。本授業では、教職の意義、教員の資質、および教員の役割、教員の職務内容等に関する理解を深めることをねらいとしている。特に現代の教育の現実的問題に焦点をあてて考えていくことにより、受講者が教職への意識を高めていくようにしていきたい。

◆**学修到達目標** 次の事項について理解を深め、教員としての意識を高めることができる。さらに教育者としての責務を認識し、ふさわしい行動をとることができるようになる。①教職の意義とは何か。②教員に必要とされる資質・能力とは何か。③学校教育という独特の社会における意義や教員の同僚性について。④教員の職務や身分上の問題について。⑤生徒の成長・発達差の理解。【以上を、歴史的、国際的、および現代の課題という点から作成した教材により考え、理解を深める】学修者は、以上の学びにより教員に必要とされる資質・技能が何であるかを考え深め、それを自身の課題としてとらえ、他者に説明することができるようになる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

オンデマンド教材を視聴し、Google Classroom 上の設題に取り組む。とくに対面授業のための「反転授業」としての役割を意識して、教材を作成する。

・対面授業

講義形式を中心とするが、アクティブ・ラーニング型の授業方式もとり入れるかについては検討する。アクティブ・ラーニング形式は、通常であれば個人の活動からペア学習、3人組み、4人組みと、授業回数毎に複雑さを増すようにし、取り扱う課題についても具体的で簡易なものから複雑で抽象的なものへと組み替えていく。今年度はそれがどの程度できるのかが課題となる。できる環境や条件を大学が整えることができない際はご容赦いただきたい。とにかく「教員集団としての考え方」という最終目標に近づいていけるように講義全体をデザインしていく。活動・学習ごとにワークシート（ミニレポート）を書くこととそのフィードバック（次の回）により、さらに学習効果があがるよう試みる。事後学修では説明文を中心に人前で話すための文章作成に取り組んでもらう。その説明文をもとに最終回で仮想集団面接のような発信の機会をつくる。

◆**履修条件** なし

◆**教科書**

◆**参考書**

◆**成績評価基準** この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行わない。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	①講義の全体の流れについて解説 ②答申等で求められる「理想の教師像」 ③最近の子ども事情（非行・刑法犯） ④最近の子ども事情（いじめ問題） ⑤最近の子ども事情（不登校）
事前学修	オンデマンド教材では①②で「教員の資質・能力として何が求められているのか」について学ぶ。資料や考えていただく設題を用意するので、その問いについて考え、調査等を行っていただきたい。③④⑤も社会的データに関心をもつための授業なので、関連する事項やデータを調べ、自分なりに「問題点の把握」を行っていただきたい。
事後学修	教材の①②の間に関連のある事項を調べ、自分で整理する。また①と③④⑤の間に関連する問い（残された課題）について考え深め、自分の「教員」としての判断基準（核）をつくることができるようにする。その学修時間として使っていただきたい。

・対面授業

1 回目	授業内容	対面授業の展開について説明。①教育における「他者理解能力」とは何か。②教員生活と研修の記録から。
	事前学修	オンデマンド教材で学修したことをまとめて臨む。①「わかる」（理解する）とはどのようなことか。その説明概念を（複数）考えておく。②教員と生徒との関係性に関するイメージすることを手元に「教員」書き出しておく。
	事後学修	学校でのコミュニケーションの意味や意義について（短い論述で）まとめる。
2 回目	授業内容	「チーム学校」とは何か。①学校外活動を行う教員チームという観点から考える。②チーム学校に関する文部科学大臣の文章等（資料）を読み、必要とされる理由を理解する。
	事前学修	「チーム学校」に関する情報を整理しておく。文献や web 上の資料の論点を読んで理解しておくというレベルでもよい。新しい問題なので、関連する文献や記事は多くある。数点を読んで、意味（概要）をつかんでおくこと。
	事後学修	授業で紹介された事例や資料の記述内容で、疑問点や興味をもった点を調べて、自身のノートにまとめていく作業を行う。
3 回目	授業内容	「教員養成の仕組み」を理解する。①教師観・教員養成の歴史の変遷。②諸外国における教員養成の仕組み。
	事前学修	教員養成に関する歴史的な概説が記された文献等を読んでおく。また日本以外の国の「教育（学校）」についてイメージできることをメモとしてまとめておく。
	事後学修	①と②の学修の結果として、「歴史的視点」と「欧米との比較」という二つの視覚から考えて、日本の教員養成を評価・講評できる文章を執筆できるようにする。
4 回目	授業内容	「教員」の法律・法令・制度上の位置づけを理解する。①各種審議会の答申や審議事項を読み、求められる教師像を理解する。②教育基本法の改正に示された「教員」像とその意義を理解する。
	事前学修	各種の文献や web で入手可能な複数の「法令」類を一読しておく。とくに関連する審議会答申等について読み取れたことをメモとして用意しておく。
	事後学修	「教員に求められる資質・能力」の法令上における変化について文章で示すことができるようにしておく。教育基本法の改正の「前後」で何が変わったのか、どのような可能性があり得るのかを論述できるようにしておく。
5 回目	授業内容	最近の子ども事情をデータから読み取り、その対応を考える。①子どもの問題行動。②子どもの進路相談・傾向等について。
	事前学修	オンデマンド教材③④⑤で基本的な（大きな）データの読み方を説明しているが、その事後学修で学び深めたことを授業でコメントできるように文章化しておく。
	事後学修	「生徒理解」と「適切な早期対応」という「自分の教員としての対応方針」を論述できるようにしておく。そのことによって面接時などで、自身の方針として主張することが可能となる。

6回目	授業内容	「教育実習」現場（学校）により求められる「次代の教師像」とはどのようなものか。
	事前学修	各々の教科ごとの授業イメージをメモとしてまとめておく。また前回までの課題を見直し、それぞれ1分間で話せるレベルでの要約を準備する。
	事後学修	学修した内容を自身で整理する。

# 講座内容（シラバス）

〔博物館展示論〕 オープン受講：不可

岡部 幹彦

◆**授業概要** 展示について、ICOMの博物館定義にある「有形、無形の人類の遺産とその環境」をキーワードに、ヒト、モノ、コトと環境、時間軸、空間軸の間に成立する相互の係性を捉え、展示の本質的な意味を理解するとともに、展示準備プロセスの実際を学び、展示に係る基礎的な知識と能力を身につける。担当者の博物館学芸員としての経験をもとに、国内外の多くの事例を紹介・評価し、展示の理論と実務を理解する授業を行う。

◆**学修到達目標** 1. 展示テーマとこれを成立させる資料構成を企画立案することができ、観覧者の主体的で能動的な“観る”行為を引き出す展示計画を立案できる。2. 企画立案から展示・撤去までの具体的な作業とその手順を理解し、これを計画することができる。3. モノの展示と情報の提供との関係を理解した解説資料を作成することができる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

各回とも配信する講義動画を視聴することにより授業を行う。また、各講義動画に対応する講義資料を事前に配信する。視聴時に参照し、メモを取るとともに、視聴後の学習に利用する。要点確認の小レポートを求める。

・対面授業

毎回の授業時に講義資料を配布し、PowerPointを用いて講義形式で進行することを基本とする。積極的な学修姿勢と理解を促すため、適宜テーマを設けて発言を求める。展示に係る映像資料等を用いて多角的な視点から授業を進める。

◆**履修条件** 令和2年度夜間スクーリング（春期）『博物館展示論』（岡部幹彦）との積み重ね不可。

◆**教科書** **資料配布（Classroom）** 各授業時に講義資料として配信・配布する。

◆**参考書** **通材**『博物館概論 Y20300』通信教育教材（教材コード00092）

◆**成績評価基準** オンデマンド授業における小レポート（20%）、対面授業における授業への参画度（20%）、試験（60%）

◆**授業相談（連絡先）**：e-mail:hey\_miki@hotmail.co.jp

◆**授業計画（各90分）**

・オンデマンド

授業内容	動画1の内容：ガイダンスとして授業の進め方、授業に臨む姿勢、留意点等、授業に関して必要な事項の説明を行う。また、博物館の定義・機能と展示、統計に見る博物館像、展示の歴史、ICOMの定義と展示の事例、について学ぶ。 動画2の内容：博物館の種類と展示の形式・種類、野外展示、動態展示、生態展示、再現展示、収蔵展示、総合展示、体験型展示などについて解説する。 動画3の内容：観覧行為の3つの側面、《知る》《体験する》、望ましい観覧について解説する。 動画4の内容：能動的な観覧と受動的な観覧、能動スイッチONのトリガーについて解説し、あわせて観覧者を能動的観覧に導く展示事例について紹介する。 動画5の内容：浮世絵版画のヒト・モノ・コト・環境の分析をつうじて展示を構成すること、展示テーマとは、などについて解説する。 各動画に対応する講義資料を事前に配信するので、動画視聴の前後に熟読し、理解を深めること。
事前学修	・都内の特色ある企業博物館とその展示内容を調べておく。 ・フィールドミュージアムの事例を探し、その特色を理解する。 ・美術館と文学館の観覧行為に差違があるか考えておく。 ・海外の博物館のウェブサイトを開覧し、特色のある展示を探す。 ・展覧会図録を開覧し、資料構成と展示テーマについて考察し、ノートに記録する。
事後学修	・事前学習で調べた都内の博物館について、展示の特色を整理する。 ・フィールドミュージアムの現状を調べ、課題を整理する。 ・資料分野と《歴史的価値》《学術的価値》《芸術的価値》について整理する。 ・自らの関心にもとじて展示テーマを立て、それを構成する代表的な資料数点を挙げて展示を考える。

・対面授業

1回目	授業内容	1. 展示の企画立案とテーマ・サブテーマ、企画決定のプロセス、展示企画書の作成について、企画展準備作業とその流れ、展覧会の構想と検討項目、企画立案シートの作成、企画書の作成などについて解説する。 2. 展示の環境と資料保存、ファシリティーレポートについて学ぶ。
	事前学修	・絶対湿度と相対湿度について調べ、理解しておく。 ・資料保存に必要な事項を調べ、整理しておく。
	事後学修	・オンデマンドの事後学修で立てた展示テーマと構成する代表的な資料をもとに、企画立案シートを作成する。
2回目	授業内容	1. 展示の方法と技術、展示計画の作成、展示と支持具、展示における演出、照明とその効果について解説する。あわせて展示機材・用具について紹介する。 2. 展示の実際(1)：展覧会開催要項の作成、開催形態と経費負担、実務上の検討事項、日本の展覧会の特殊性などについて解説する。
	事前学修	・展示を観覧し、資料と観覧者の安全、展示効果などがどのように工夫されているかを観察しておく。 ・博物館ウェブサイトの企画展案内や展覧会図録などにより、いくつかの展覧会の主催者、共催者、後援、協力、協賛などを調べておく。
	事後学修	・展覧会図録・ウェブサイト等を開覧し、開催要項を再現的に作成する。 ・事前学習で調べた主催者、共催者には、美術館、博物館以外にどのような組織があるか整理しておく。
3回目	授業内容	1. 展示の実際(2)：借用から返却までの主な事項（事務作業の流れと資料を中心とする流れ）、輸送の実際、展示作業の流れ、海外展の輸送と展示について解説する。 2. 展示の実際(3)：カタログ・各種印刷物の制作、図録制作作業の流れ、図録の構成、ページ立て、紙の種類と性質、文字校正と色校正、などについて解説する。
	事前学修	・学芸員が輸送に同行する目的・理由を考えておく。 ・一冊の図録の構成について調べ、一覧表にしておく（図版、論文のみでなく、表紙、謝辞や奥付を含む全てのページ）。
	事後学修	・事前学習で調べた図録の構成について、ページ立て表を作成する。

4回目	授業内容	1. 展示と情報(キャプション・解説パネル・画像情報)、音声ガイド、モバイルデバイスによる情報提供、マルチメディア時代における展示と映像の課題について事例を紹介し、解説する。 2. 展示のリスクマネジメント、総合的なリスクマネジメント、民間保険と国による補償制度について学ぶ。
	事前学修	・博物館や観光地等のスマートフォンを用いた情報提供システムについて調べておく。(SNS、ウェブサイト上での一般的な方法での情報提供を除く) ・「動産総合保険」について調べておく。
	事後学修	・一点の有形文化財を選び、その解説文を250字以内にまとめる。ただし、観覧者がモノそのものを能動的に観て、気づき得ることを促す解説とする。
5回目	授業内容	1. 展示と関連法規:文化財保護法、銃砲刀剣等所持取締法、海外美術品等公開促進法、著作権法等について解説する。 2. 海外の展示から学ぶわが国の博物館の課題:海外の展示事例を多数紹介し、そこに示された理念・理論について解説する。
	事前学修	・《著作権なるほど質問箱》( <a href="https://pf.bunka.go.jp/chosaku/chosakuken/naruhodo/index.asp">https://pf.bunka.go.jp/chosaku/chosakuken/naruhodo/index.asp</a> )のQ & Aを読み、基本事項を理解しておく
	事後学修	・文化財保護法の第三者公開について要点を整理しておく。
6回目	授業内容	1. これまでの授業の振り返りと要点のまとめ 2. 【試験】 3. 総括とミュージアムリテラシー
	事前学修	・毎回の講義資料を再読し、主要項目の目次またはINDEXを作成する。
	事後学修	・講義内容の記憶が鮮明なうちに、博物館の展示を観覧し、展示論の視点から多角的に捉え、評価を加えてノートにまとめておく。

# 講座内容（シラバス）

〔英語 B〕

北原 安治

◆**授業概要** 五文型に基づき、英文の構造を把握して初学者でも正しい訳ができるようになる。

前期・後期の連続受講が望ましい。テキストの第6章「カナダ」をやる。

◆**学修到達目標** 全体的に英文の構造が理解できるようになり、文の構造に基づいた正しい和訳ができるようになる。五文型の基本理解、自動詞と他動詞の区別、目的語と補語の区別、完了形の理解、仮定法の理解など基本文法が理解できるようになる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

前半は英語関連の動画を視聴する。英文法、発音、英会話、英米文化に関する動画を見る。後半は指定範囲の英文の音読、文法解説、構文解説、和訳などをテキストに即して学習する。課題が出された場合はその正解と解説は講義動画で行う。課題をいつやるかはグループクラスルームで知らせる。

・対面授業

前半は英語関連の動画を視聴する。英文法、発音、英会話、英米文化に関する動画を見る。後半はテキストの指定範囲の英文の音読を行い、文法解説、構文解説、和訳などを板書して、学習する。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 〔丸〕『Major Countries in the World～世界の主要国～』小泉和弘編、鳳書房（Tel/Fax (03) 3483 - 3723）この本は講義で使う。

◆**参考書** 〔丸〕『ロイヤル英文法』綿貫陽 旺文社 2000年 1,890円。この本は講義では使わない推薦英文法書。

◆**成績評価基準** オンデマンド授業で出される課題は評価対象であるのですべて提出すること（全体の20%）。小テスト（全体の20%）。最終試験（全体の60%）。

◆**授業相談（連絡先）**：fra3in5@yahoo.co.jp

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	最初の2週はオンデマンド講義。 英語・英米文化関係映像視聴。 第6章「カナダ」の英文構造と和訳の説明動画視聴。 基本英文法の確認。 自動詞・他動詞の区別の理解。 目的語・補語の区別の理解。 句・節の区別の理解。
事前学修	第6章「カナダ」の英文をノートに書き写す。(2週で15行ほど)。単語を調べて自分なりの和訳をする。
事後学修	予習段階の和訳と講義の和訳を比べてどこが間違ったか確認する。課題がある場合は課題をやる。

・対面授業

1回目	授業内容	講義の進め方の説明。英語・英米文化関係映像視聴。第6章の英文構造と和訳の説明。面接での5文型の確認。
	事前学修	第6章「カナダ」の英文をノートに書き写す。(15行ほど)。単語を調べて自分なりの和訳をする。5文型の予習。
	事後学修	予習段階の和訳と講義の和訳を比べてどこが間違ったか確認する。5文型の復習。
2回目	授業内容	英語・英米文化関係映像視聴。第6章の英文構造と和訳の説明。文の種類の確認
	事前学修	第6章「カナダ」の英文をノートに書き写す。(15行ほど)。単語を調べて自分なりの和訳をする。文の種類の予習。
	事後学修	予習段階の和訳と講義の和訳を比べてどこが間違ったか確認する。文の種類の復習。
3回目	授業内容	英語・英米文化関係映像視聴。第6章の英文構造と和訳の説明。群動詞の確認。
	事前学修	第6章「カナダ」の英文をノートに書き写す。(15行ほど)。単語を調べて自分なりの和訳をする。群動詞の予習。
	事後学修	予習段階の和訳と講義の和訳を比べてどこが間違ったか確認する。群動詞の復習。
4回目	授業内容	英語・英米文化関係映像視聴。第6章の英文構造と和訳の説明。冠詞・名詞の確認。第7章に進む場合もある。第6章最後の練習問題はやらない。
	事前学修	第6章「カナダ」の英文をノートに書き写す。(15行ほど)。単語を調べて自分なりの和訳をする。冠詞・名詞の予習。
	事後学修	予習段階の和訳と講義の和訳を比べてどこが間違ったか確認する。冠詞・名詞の復習。
5回目	授業内容	英語・英米文化関係映像視聴。第6章の英文構造と和訳の説明。関係代名詞と関係副詞の確認。第7章に進む場合もある。第6章最後の練習問題はやらない。
	事前学修	第6章「カナダ」の英文をノートに書き写す。(15行ほど)。単語を調べて自分なりの和訳をする。関係代名詞と関係副詞の予習。
	事後学修	予習段階の和訳と講義の和訳を比べてどこが間違ったか確認する。関係代名詞と関係副詞の復習。
6回目	授業内容	英語・英米文化関係映像視聴。第6章の英文構造と和訳の説明。文法事項のまとめ。最終試験と解説。
	事前学修	学習した構文・基本文法事項のまとめ。
	事後学修	学んだ文法事項を参考書などで再確認する。



# 講座内容（シラバス）

## 〔民法Ⅱ〕

根本 晋一

- ◆**授業概要** 物権法総論、占有権、所有権、用益物権（地上権、永小作権、地役権、入会権）、法定担保物権（留置権、先取特権）、約定担保物権（質権、抵当権）、非典型担保、のうち、用益物権あたりまでを学修する。
- ◆**学修到達目標** 民法学における物権法の位置づけ、物権と債権の異同、物権に関する主要な論点を理解する。併せて、授業概要の箇所ですした専門用語を、具体例を用いて説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式（オンデマンドを含む）を採用する。社会情勢の変化、法改正、新判例の追加などにより、シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し、ノートを作らせ、勉強の仕方を教えるので、ノートをしっかりと録取すること。
- ◆**履修条件** 根本の民法Ⅱ（後半）と、根本以外の民法Ⅱとの積み重ね可
- ◆**教科書** 指定しない
- ◆**参考書** **通材** 民法Ⅱ（通信教育教材）
- ◆**成績評価基準** 全回出席（視聴を含む）を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度や質疑応答 20%。オンデマンドの場合は筆記試験等の評価 100%。
- ◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：GD、【物権法総論】物権の意義、直接支配性、排他性など 事前学修：必要なし 事後学修：その日のうちの板書事項の読み込み
2 回	授業内容：物権の債権に対する優先的効力（売買は賃貸借を破る）、物権的請求権、対抗力など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
3 回	授業内容：物権と債権の異同、物権法定主義と契約自由の原則など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
4 回	授業内容：物権変動、意思表示に基づく物権変動、意思表示に基づかない物権変動など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
5 回	授業内容：物権変動意思主義の原則、形式主義との違いなど 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
6 回	授業内容：物権変動公示の原則、公信の原則、動産物権変動と不動産物権変動など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
7 回	授業内容：不動産物権変動と登記、登記を必要とする物権変動など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
8 回	授業内容：民法第 177 条における「第三者」の意義、実体的無権利者、背信的悪意者、不法行為者を含むのか？ 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
9 回	授業内容：動産物権変動と占有（引渡し）、即時取得とその例外、【占有権】など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
10 回	授業内容：【所有権】所有権絶対の原則、完全物権と制限物権、相隣関係、所有権の効力など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
11 回	授業内容：所有権の取得原因、原始取得と承継取得、国庫帰属、無主物先占、遺失物拾得、遺失物法、埋蔵物発見など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
12 回	授業内容：添付、附合、混和、加工、その効果など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
13 回	授業内容：共有、狭義の共有、合有、総有、共有物の保存、管理、変更、準共有、建物区分所有法など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
14 回	授業内容：【用益物権】地上権、借地借家法との関係など 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認
15 回	授業内容：地役権、永小作権、入会権、民法Ⅱ（前半）の補遺とおさらいなど 事前学修：その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修：前回授業時の板書事項の再確認

# 講座内容（シラバス）

## 〔行政法Ⅱ〕

小澤 久仁男

### ◆授業概要

◆**学修到達目標** 行政法Ⅰで学んだように、行政活動は法律による行政の原理の下、法律に基づいて行われている必要があります。けれども、現実には、行政活動が違法に行われることが多くあります。そのため、国民の権利救済をどのようにして行っていくのが重要な問題となります。本講義においては、わが国の行政救済制度について概観していくこととなります。なお、本講義は、行政法Ⅰ（行政法総論部分）を事前に受講しておくことで、より効果的な知識獲得になるため、行政法Ⅰを受講しておくことが望ましい科目となります。

### ◆授業方法

- ・オンデマンド  
音声付き PDF を Google クラウドなどにて配付をいたします。
- ・対面授業  
講義形式で行います。定期試験の解説を後日配信します。

### ◆履修条件

◆**教科書** **【教材】**『行政法Ⅱ K31000』通信教育教材（教材コード 000565）3,800 円（送料込）  
〈この教材は市販の池村正道編『行政法（第3版）』弘文堂（2017年）と同一です。〉  
**【丸沼】**宇賀克也ほか編『行政判例百選Ⅱ（第7版）』有斐閣（2017年）

◆**参考書** **【丸沼】**宇賀克也ほか編『行政判例百選Ⅰ（第7版）』有斐閣（2017年）【上記の判例集の行政法総論部分となります】

◆**成績評価基準** 本講義のテーマである行政救済法にかかわる基本的な知識を習得できているかを問うための定期試験またはレポート課題（50%）によって判定を行います。また、課題の提出（50%）を行っていただきます。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

### ◆授業計画〔各 90 分〕

- ・オンデマンド

授業内容	行政救済制度の概観 行政訴訟の概観と司法権 行政訴訟の類型（抗告訴訟、当事者訴訟、客観訴訟） 取消訴訟(1)；訴訟要件 取消訴訟(2)；処分性
事前学修	配付された音声付き PDF を視聴していただき、かつ、音声を視聴する前に教科書および参考資料に目を通していただくと効果的です。
事後学修	再度教科書および参考資料に目を通していただくと共に、課題に取り組んでいただきたいと思います。

### ・対面授業

1 回目	授業内容	取消訴訟(3)；原告適格 取消訴訟(4)；訴えの利益、取消訴訟の審理、取消訴訟の判決と効果、仮処分
	事前学修	教科書の該当箇所をよく読んでおいてください。
	事後学修	授業で行った内容と教科書・配布資料をつき合わせて、さらに理解を深めてください。
2 回目	授業内容	行政不服審査法 国家補償法の概観
	事前学修	教科書の該当箇所をよく読んでおいてください。
	事後学修	授業で行った内容と教科書・配布資料をつき合わせて、さらに理解を深めてください。
3 回目	授業内容	国賠法 1 条(1)；賠償責任の根拠 国賠法 1 条(2)；公権力の行使、職務関連性
	事前学修	教科書の該当箇所をよく読んでおいてください。
	事後学修	授業で行った内容と教科書・配布資料をつき合わせて、さらに理解を深めてください。
4 回目	授業内容	国賠法 1 条(3)；違法性、過失 国賠法 2 条(1)；公の営造物概念、瑕疵概念
	事前学修	教科書の該当箇所をよく読んでおいてください。
	事後学修	授業で行った内容と教科書・配布資料をつき合わせて、さらに理解を深めてください。
5 回目	授業内容	国賠法 2 条(2)；道路設置管理瑕疵、河川設置管理瑕疵 損失補償—損失補償の根拠と要件、損失補償の内容
	事前学修	教科書の該当箇所をよく読んでおいてください。
	事後学修	授業で行った内容と教科書・配布資料をつき合わせて、さらに理解を深めてください。
6 回目	授業内容	総括 試験（またはレポート課題）の説明
	事前学修	教科書の分からない箇所・分からないテーマについて、質問が出来るようにしておいてください。
	事後学修	授業で行った内容と教科書・配布資料をつき合わせて、さらに理解を深めてください。



## ◆授業概要

知的財産権法（特許・実用新案・意匠・商標・著作権）及び関連条約に関する基礎的講義を行う。具体的には、各権利の成立要件やその権利内容を講義する。

## ◆学修到達目標

知的財産権は、企業の運命を左右する重要な財産である。本講義は、知的財産権の中でも中核をなす特許法・実用新案法を中心に、概要及び制度を理解することを目的とし、また意匠法・商標法・著作権法・関連条約についても基礎的な知識の習得を行うことを目的とする。さらに、知的財産権を巡り、どのような争いがなされているのかを理解する

## ◆授業方法

- ・オンデマンド

オンデマンドに相当する2回は、Zoomによるライブ講義を行う予定です。

- ・対面授業

講義では、各法毎に、法目的などの基本的な解説から始め、さらに、PPTを用いることにより視覚を通じて法律の理解を深めるような工夫をしている。一方で、扱う法が多岐に渡るため、事前の学習準備は必須である。授業では条文を参照することが多いので、工業所有権法令集（アプリでも可）を持参すること

## ◆履修条件

知財を勉強したい気持ちがあれば、その他の条件はありません。尚、過去の受講者は、再度受講は不可。

## ◆成績評価基準

毎回出席することを前提に、試験（60%）、授業への参加や貢献による平常点（40%）により行う。

## ◆教科書

市販本 知的財産法入門第三版（茶園成樹）有斐閣

## ◆参考書

市販本 工業所有権情報・研修館 「産業財産権標準テキスト（総合編）第5版」

※極めて初級用

## ◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

オンデマ ンド	授業内容	知的財産権法の概要 特許法（１）：特許法の目的及び特許権成立までの概略
	事前学修	参考書 P1-36 を事前に読んでおく。知的財産権にはどのような法律があるのか理解する。
	事後学修	参考書 P41-42 を事前に読んでおく。なぜ特許法が制定されたのか理解する。特許法が無かった場合の世界を想像する。参考書 P86-89 を事前に読んでおき、特許成立までの流れの概略を理解する。
対面授業 1回目	授業内容	今まで自己が考えてきた無体財産はどのような法律で守られているのか認識する。また、知財の現状を理解し、今後、日本はどのような方向に進むべきか考える。尚、以下、特に重要な部分については特記しているが、基本的には、教科書にて対応する講義主題を確認する。
	事前学修	特許法 1 条の各用語の意味を再確認する。特許成立までの流れにおいて、各段階での手続きの内容を教科書で確認する。
	事後学修	特許法（２）：特許要件（発明性、産業上の利用可能性）
対面授業 2回目	授業内容	特許法（３）：特許要件（新規性、進歩性）
	事前学修	参考書 P43-45, 66 を事前に読んでおく。一般的に使用されている「発明」と特許法で規定する「発明」の意味の相違を理解する。特許成立に必要である「産業上の利用性」を理解する。
	事後学修	参考書 P67-69 を事前に読んでおく。新規であるという状況をいうのか理解する。また、新しい発明をしても、従来のものから容易に発明できるものは特許とはならないという進歩性の判断基準を理解する。
対面授業 3回目	授業内容	授業内で、特定の分野において、特許庁に出願されているアイデアが、法上の発明にあたるか否かをレポートする宿題を実施する。
	事前学修	新しさの時間的・地域的基準や公然の意味など、教科書で確認する。
	事後学修	特許法（４）：新規性喪失の例外及び不特許事由
対面授業 4回目	授業内容	特許法（５）：先願主義と拡大された先願の地位
	事前学修	参考書 P68 を事前に読んでおく。新規ではない状態となっても一定条件のもと、新規性を失わない場合はどのような場合であるか、理解をしておく。
	事後学修	参考書 P71 を事前に読んでおく。上記の要件を満足しても、特許化すべきではない発明がある。どのような発明が、特許化すべきではないのか、またその理由は何であるか、学習しておく。

対面授業 5回目	授業内容	参考書 P70 を事前に読んでおく。先願主義とは何かを理解する。同一の発明が同日に時間を異にして出願された場合の取り扱いが、異日出願お場合と異なる点を十分に理解しておく。
	事前学修	同ページのコラム内の説明も事前に読んでおく。特に、「拡大された先願の地位：は、理解が難しい規定であるため、繰り返し読み、規定の内容を理解する。
	事後学修	通常、新規性を喪失した発明は特許化が不可能であることは、研究者は知っているはずであるが、どの様な場合に、この規定の適用を受けることになるのか、考えてみる。
対面授業 6回目	授業内容	授業で取り上げていない事例なども、自己で考えて、結論を導く。
	事前学修	先願主義と先発明主義に比べ、日本が採用する先願主義には、どの様な利点があるか考える。また、先発明主義を採用していた国の制度を教科書で確認する。
	事後学修	本規定の条文である 29 条の 2 について、授業後の再度読み返し、規定の内容と条文の文言を確認する。

# 講座内容（シラバス）

## 〔英語史〕

真野 一雄

- ◆**授業概要** 英語の外史、すなわち英語と英国社会との関わり、英国の歴史が英語にどう影響を与えたか、そして英語がどう変化していったかをテキスト（英文）を読みながら概観します。
- ◆**学修到達目標** 英文の読解力を高めるとともに、英語がどのような発達・変化を遂げて今日の姿になったか、歴史的な流れの基礎的な知識を修得する。過去の歴史を振り返り、英語の未来の姿を想像してみましょう。
- ◆**授業方法**
  - ・**オンデマンド**  
テキスト第1章「英語の発達」を、『学習指導書』を併用しながら、読みます。テキストは私達にとって必要な箇所を重点的に読みます。授業動画は内容にそって分割し、番号を付している。まずは、全体を順に視聴すること。一度の視聴で分からなかった内容の動画は重点的に繰り返し視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。なお、課題がある場合は、STREAMで行う。
  - ・**対面授業**  
オンデマンド授業で提示された動画は必ず視聴していること。テキストは必要な箇所を重点的に読む、というのは対面授業でも同じ。パラグラフの分析を行い、その分析を踏まえながら説明を加える。学習指導書を参考に内容の要約を皆さんが作成し、学習指導書の問の解答も考える。そうしてテキストの理解を深める。また、参考プリント等でテキストと関連する事項を取り上げ、幅広い英語という言語についての知識を深める。
- ◆**履修条件** 令和2年度昼間スクーリング（前期）、令和2年度メディア（前期）『英語史』（真野一雄）とは積み重ね不可。
- ◆**教科書** **教材**『英語史 0441』通信教育部教材（教材コード0001117）
- ◆**参考書** **丸沼**『英語の歴史—過去から未来への物語』寺澤盾著 中公新書 1971  
**丸沼**『英語の歴史』中尾俊夫著 講談社現代新書 958  
他の参考書については、初回授業時に紹介  
（※自学用で授業中に参照することはありません。）
- ◆**成績評価基準** 試験を中心に受講状況その他を加味して評価の予定。
- ◆**授業相談（連絡先）**：Google Classroom のストリームでご質問下さい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**
  - ・**オンデマンド**

授業内容	序、語彙の類似性、借用語と同語源語 英語とドイツ語、フランス語とラテン語の関係 インド・ヨーロッパ語族の起源と時期 インド・ヨーロッパ語族の分類 インド・ヨーロッパ祖語とインド・ヨーロッパ語族
事前学修	語彙の類似性、借用語とは何か、調べておく。インド・ヨーロッパ祖語はいつ頃、どの辺りで生じた言語か、考えてくる。また、どんな言語がインド・ヨーロッパ語族に属するか、考えてくる。
事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。

### ・対面授業

1 回目	授業内容	ゲルマン語派の特徴と分類
	事前学修	インド・ヨーロッパ祖語からのゲルマン祖語の分岐を考えてみる。また、どんな言語がゲルマン語派に属するか、考えてくる。
2 回目	事前学修	英語はいつ生じたのか、考えてくる。古英語が今日の英語といかに異なるかを感じてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
3 回目	授業内容	古英語の実例と特徴 中英語期のフランス語の影響
	事前学修	古英語と今日の英語との違いを考えてみる。また、中英語期のノルマン人の征服とは何か、調べてみる。
4 回目	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
	授業内容	中英語 英語の復活 中英語の特徴
5 回目	事前学修	また、英語の復活とはどういうことか、考えてみる。古英語と中英語、中英語と今日の英語との違いを考えてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
6 回目	授業内容	近代英語 印刷術、ルネサンス 大母音推移、標準英語の成立
	事前学修	印刷術、ルネサンスは英語にどのような影響を与えたか、考えてみる。そして、大母音推移とは何かも、考えてみる。
6 回目	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
	授業内容	近代英語(3) 近代の借用語 試験とその解説
6 回目	事前学修	近代の借用語の特徴とは、何か考えてみる。今までの授業の総復習をする。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。特に試験問題で間違えたところを確認する。

## ◆授業概要

各学校の教育活動・指導内容の土台のなっている学習指導要領について学ぶ。その際、新学習指導要領がどのような背景でどのような議論を経て作成されていったのかそのプロセスを学ぶことを通して、新学習指導要領のポイントを理解する。公立高等学校教員、教育委員会指導主事、国立教育政策研究所教育課程調査官の経験を踏まえて授業内容に反映させる。

## ◆学修到達目標

- 1 学習指導要領の変遷と、それらとの比較における新学習指導要領の特色について理解し説明することができる。
- 2 学校教育における教育課程の役割と、教育課程編成の実際について理解し説明することができる。
- 3 学校教育におけるマネジメントの意義・重要性和カリキュラム・マネジメントについて理解し説明することができる。

## ◆授業方法

## ・オンデマンド

- 1 本時の授業テーマに関する講義を受講する。
- 2 提示された課題について情報を収集する。
- 3 提示された課題に関して自分なりの考えをまとめる。
- 4 授業レポートを作成し提出する。

## ・対面授業

- 1 本時の授業テーマに関する講義を受講する。
- 2 本時の授業テーマに関する話題について自分の考えをまとめる。
- 3 本時の授業テーマに関する話題についてグループディスカッションを行い意見交換する。
- 4 他者と意見交換したことを踏まえて再度自分の考えをまとめる。
- 5 授業レポートを作成し提出する。

## ◆履修条件

令和3年度夏期スクーリング「教育課程論」との積み重ねは不可。

## ◆成績評価基準

授業レポート及び課題提出（70%）、グループディスカッション及び発表内容（30%）等を総合的に判断する。毎回出席することを前提に評価する。

## ◆教科書

資料配布（Classroom）

## ◆参考書

中学校学習指導要領（平成29年告示 文部科学省）

高等学校学習指導要領（平成30年告示 文部科学省）

## ◆授業相談先（連絡先）

対面授業の初回に連絡する。

◆授業計画

オンデマ ンド	授業内容	学習指導要領改訂のプロセスを通して、各学校の教育活動・指導内容の土台のなっている学習指導要領について学ぶ。 学習指導要領の変遷 学習指導要領改訂の背景と経緯一中教審への諮問から一 学習指導要領作成のプロセス一論点整理から一 中央教育審議会答申の内容から 新学習指導要領について 授業動画 40 分程度を視聴した後、課題について授業レポートを作成する。
	事前学修	最近の教育関係の話題やニュースについて情報収集しておくこと。
	事後学修	授業で示された課題に対して自分なりの考えをまとめて授業レポートを作成すること。
対面授業 1 回目	授業内容	今後の講義について授業ガイダンス
	事前学修	学習指導要領改訂の背景等について、グループディスカッションや全体討議を通して議論を深める。
	事後学修	オンデマンド授業で配布された資料について、関係するところを読み返しておくこと。
対面授業 2 回目	授業内容	授業で示された課題に対して自分なりの考えをまとめて授業レポートを作成すること。
	事前学修	学習指導要領改訂の考え方等について、グループディスカッションや全体討議を通して議論を深める。
	事後学修	オンデマンド授業で配布された資料について、関係するところを読み返しておくこと。
対面授業 3 回目	授業内容	授業で示された課題に対して自分なりの考えをまとめて授業レポートを作成すること。
	事前学修	学習指導要領と育成を目指す資質・能力の関係等について、グループディスカッションや全体討議を通して議論を深める。
	事後学修	オンデマンド授業で配布された資料について、関係するところを読み返しておくこと。
対面授業 4 回目	授業内容	授業で示された課題に対して自分なりの考えをまとめて授業レポートを作成すること。
	事前学修	主体的で対話的で深い学びからの授業改善やカリキュラムマネジメント等について、グループディスカッションや全体討議を通して議論を深める。
	事後学修	オンデマンド授業で配布された資料について、関係するところを読み返しておくこと。

対面授業 5回目	授業内容	授業で示された課題に対して自分なりの考えをまとめて授業レポートを作成すること。
	事前学修	今までの学習を踏まえてどのような授業を構成したいかなどについて各自の考えを発表する。
	事後学修	オンデマンド授業で配布された資料について、関係するところを読み返しておくこと。
対面授業 6回目	授業内容	授業で示された課題に対して自分なりの考えをまとめて授業レポートを作成すること。
	事前学修	今までの学習を踏まえてどのような授業を構成したいかなどについて各自の考えを発表する。
	事後学修	オンデマンド授業で配布された資料について、関係するところを読み返しておくこと。

# 講座内容（シラバス）

〔英語 C〕

常名 朗央

◆**授業概要** 正確な英文読解には英文法の理解が不可欠です。本講義では、「品詞」（名詞・形容詞・動詞等）を学んでいきます。文法のベースとなっている品詞の理解を通じて正確な文章読解力を身に付けていただきたいと思います。特に副詞には時間をかけます。授業後半には、英作文の基本を学び、さらに履修者にはテーマを定めて英作文を書いてもらい、添削指導を同時に行います。

◆**学修到達目標** 英文法を品詞ごと（名詞・動詞・形容詞・副詞・前置詞・接続詞）に学習し、英作文作成の演習を通じて、英語の運用能力を身につけることができます。外国語学習には、S（主語）とV（動詞）の位置付けが重要なので、英文読解と英作文作成を交互に行い、文章構造を瞬時に理解し使える能力を身に付けることが出来る。

◆**授業方法**

・オンデマンド

前半は、指定した文法・品詞の説明を行い、後半は、指定した英文記事、イギリス小説の読解を行います。文法事項の説明をしますので、何度も映像を見て理解できない箇所は質問してください。

・対面授業

前半では、指定した文法・品詞の説明を文章読解を行いながら理解していただきます。事前にプリントを配布する場合がありますので、忘れずに持参するようにしてください。授業後半では、以前に学生が執筆した英作文を参考にして文章作成講座を実施します。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 資料配布 (Classroom) 『当日配布資料』 授業当日プリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『英文法総覧』 安い稔著 開拓社 1996年

◆**成績評価基準** 授業への取り組み、最終日に実施する定期考査・提出英作文により総合的に判断します。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各 90 分〕**

・オンデマンド

授業内容	名詞 (noun) の使い方について。1～5文型の構造とその役割。 形容詞 (adjective) の役割と2つの用法について。 副詞 (adverb) の使い方とその多様性。TOEIC 文法問題への応用。 接続詞 (conjunction) の定義について。 助動詞 (auxiliary verb) の使い分けについて。
事前学修	本講義で学習する文法事項 (名詞・形容詞・副詞・動詞・接続詞・前置詞) について各自で調べて意味をまとめておくように。さらに、冠詞 (a, the) の違いについて考えておくこと。
事後学修	以下の事項について確認・復習すること。1. 名詞の6つの役割について。2. 叙述用法と限定用法の形容詞。3. 副詞の使い方全般。4. 接続詞の定義。5. Formal な助動詞の使用法について。

・対面授業

1回目	授業内容	前置詞 (preposition) の役割と形容詞化と副詞化について。
	事前学修	事前に GoogleClassroom 上に配布する「前置詞クイズ」プリントを解いてきてください。代表的な前置詞 (at,on,in) などの使い方を学んでください。
2回目	事後学修	再度プリントを配布しますので、前置詞の使い方を確認するように。
	授業内容	定冠詞 (the)、不定冠詞 (a) の違いと使い方について。英作文講義①
3回目	事前学修	英作文を執筆してもらいますので、各自書く内容を考えておくように。
	事後学修	冠詞と無冠詞の使い方を確認すること。無冠詞は固有名詞だけでないことを理解しましょう。
4回目	授業内容	関係代名詞の使い方と接続詞 (主に that) の使い方について。混同する that の理解に努めます。
	事前学修	that の使い方を各自考えてくるように。具体的には代名詞・接続詞・関係代名詞です。例文を作っておくとよいでしょう。
5回目	事後学修	接続詞 that を使った英文を5つ以上作っておくこと。
	授業内容	強調構文・倒置表現について。英作文講義②
6回目	事前学修	事前にプリントを配布しますので、基本構文を読解しておくこと。
	事後学修	英作文の構造 (序文・本論・結語) に基づいて再度英作文を作成すること。
7回目	授業内容	英作文提出と添削指導
	事前学修	SVOC を意識して5文型の英作文を作成してください。
8回目	事後学修	各英作文を添削しますので、分法的に弱点となる箇所を見つけて直しておくように。
	授業内容	定期考査・文法事項の理解度をチェックします。
9回目	事前学修	提出用に短い英作文を作ってもらいます。
	事後学修	全ての授業内容を復習・理解するようにしてください。



# 講座内容（シラバス）

## 〔英語V〕

水野 隆之

◆**授業概要** 英語Vは英文学専攻の学生を対象とした、専門科目で必要となる英語力の完成を目指す授業です。この授業では下記のテキストを使用して様々な英語表現を学んでいき、英作文などもしていきます。文法の基礎知識を確認するとともに、日本語との発想の違いや、文化、社会背景にも着目し、文法的にも発想上も適切な英語を書けることを目指します。

◆**学習到達目標** 英語で考える習慣を身につけ、日常生活でよく使う表現を使うことができる。  
簡単な会話ができるようになる。  
短い日本語を文法にかなった英文に直すことができる。  
英語の基礎的音声を聞き分けることができる。

### ◆**授業方法**

#### ・オンデマンド

テキストのUnit 1～Unit 5を学習します。それぞれのUnitでの前半は、講義形式でOpening DialogueとUseful Expressionsの解説をします。後半は各学生がGoogle classroomにアップされた課題(テキストのExercisesの箇所に相当)に取り組み、その課題を提出をもって授業の出席とします。解答例は後日Classroomにアップされます。

#### ・対面授業

一日の授業でUnit 2つを学習する予定ですが、受講学生に理解度に応じて進度を変更することがあります。それぞれのUnitの前半はOpening DialogueとUseful Expressionsを学習し、後半はExercisesに取り組みます。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 丸沼『Common Expressions in English Writing 英作文のコア表現 180』木塚晴夫 2008年 音羽書房鶴見書店

### ◆**参考書**

◆**成績評価基準** 試験(70%)、授業時の発言、予習、復習、課題など授業への取り組み(30%)。  
毎回出席することを前提として評価します。

◆**授業相談(連絡先)**: Classroom上にて行う

### ◆**授業計画〔各90分〕**

#### ・オンデマンド

授業内容	Unit 1～Unit 5を扱う。 各UnitにあるOpening DialogueとUseful Expressionsの解説。 Google Classroomの課題に取り組み。 提案・勧誘、挨拶、お礼・お詫び、お祝い・ほめ言葉、反対・賛成・同意・不同意の表現を身につける。
事前学修	Opening DialogueとUseful Expressionsの箇所を読んでおく。
事後学修	課題を確認し、Useful Expressionsを暗記する。

#### ・対面授業

1回目	授業内容	Unit 6, Unit 7 相づち・応答・つながりの表現、希望・意図・考え・計画の表現を身につける。
	事前学修	Opening DialogueとUseful Expressionsの箇所を読み、ExercisesAとBを事前にやっておく。
	事後学修	Exercisesの確認をし、Useful Expressionsを暗記する。
2回目	授業内容	Unit 8, Unit 9 趣味・関心の表現、許可・命令・禁止の表現を身につける。
	事前学修	Opening DialogueとUseful Expressionsの箇所を読み、ExercisesAとBを事前にやっておく。
	事後学修	Exercisesの確認をし、Useful Expressionsを暗記する。
3回目	授業内容	Unit 10, Unit 11 忠告・助言・注意・激励の表現、判断・選択・評価・決断の表現を身につける。
	事前学修	Opening DialogueとUseful Expressionsの箇所を読み、ExercisesAとBを事前にやっておく。
	事後学修	Exercisesの確認をし、Useful Expressionsを暗記する。
4回目	授業内容	Unit 12, Unit 13 喜び・悲しみの表現、驚き・怒り・不満の表現を身につける。
	事前学修	Opening DialogueとUseful Expressionsの箇所を読み、ExercisesAとBを事前にやっておく。
	事後学修	Exercisesの確認をし、Useful Expressionsを暗記する。
5回目	授業内容	Unit 14, Unit 15 学校生活の関する表現、交通・旅行に関する表現を身につける。
	事前学修	Opening DialogueとUseful Expressionsの箇所を読み、ExercisesAとBを事前にやっておく。
	事後学修	Exercisesの確認をし、Useful Expressionsを暗記する。
6回目	授業内容	Unit 16 買い物に関する表現を身につける。理解度の確認(試験)
	事前学修	Opening DialogueとUseful Expressionsの箇所を読み、ExercisesAとBを事前にやっておく。
	事後学修	Exercisesの確認をし、Useful Expressionsを暗記する。

# 講座内容（シラバス）

## 〔国文学基礎講義〕

布村 浩一

◆**授業概要** 文学研究における「テキスト読解」という分析行為は、日常的な読書行為とは異なる行為である。また、目的意識を持たない漠然とした読解では、本当の意味で客観的なテキストの分析はできない。そこで本講義では、まず、文学研究の基礎手続きについて学んだ後、テキストを自覚的に分析するための方法について教授する。

◆**学修到達目標** 分析的読解の方法を知ること、文学研究や教材研究・開発に生かすことができる。研究の基礎手続きを知ること、読み手・聞き手にわかりやすい資料・教材の作成ができる。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

オンデマンド授業で配信されている動画は、通し番号順に視聴すること。動画を視聴してわかりにくい点があれば、繰り返しの視聴や、一時停止による画面内容の確認なども、適宜、行っておくこと。なお、課題やレポートに関する説明も含まれる場合があるので注意すること。

#### ・対面授業

オンデマンド授業で配信された動画は必ず視聴しておくこと。授業は配布プリントや視聴覚資料で補足を行いながら、教科書を通読する形で行う。なお、学生のみなさん一人一人による教科書の音読や、少人数でグループによる授業で取り扱うテーマに関するディベートも、適宜、実施する予定である。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 資料配布 (Classroom) 配布資料 (研究の手続, テキストの分析方法, テキスト本文など)

◆**参考書** 丸沼『日本文学の論じ方一体系的研究法』鈴木貞美 [著] 世界思想社 2014年

丸沼『ハンドブック 日本近代文学研究の方法』日本近代文学会 [編] ひつじ書房 2016年

丸沼『物語論 基礎と応用』橋本陽介 [著] 講談社選書メチエ 2017年

丸沼『小説はわかってくればおもしろい—文学研究の基本 15 講』小平麻衣子 [著] 慶應義塾大学出版会 2019年

◆**成績評価基準** ①オンデマンド授業で出題する課題・対面授業1日目の授業内レポート(50%), ②対面授業2日目の授業内試験(50%)で、総合的に評価する。また、オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねるため、必ず提出すること。なお、授業内レポート・試験については、第5回の動画の中で、詳細を告知する。

◆**授業相談 (連絡先)**: 質問・相談は、下記のメールや Classroom 上にて行う。  
kouichinunomura@gmail.com

### ◆授業計画 [各 90 分]

#### ・オンデマンド

授業内容	動画①: 先行研究の調べ方・データベースの活用法について講義する。 動画②: 研究カード・ノートの作り方や文章作法 (レポート・論文の書式) について講義と実践を行う。 動画③: 文学を学ぶ意味や「物語論」の定義・意義について講義する。 動画④: 物語の構造を支える「型」と「機能」などについて講義する。 動画⑤: 「物語内容 (何を語っているか)」と「物語言説 (いかに語っているか)」の問題などについて講義する。 ※動画は、通し番号順に視聴すること。
事前学修	各回の動画を見る前の事前学修として、以下の調査を行っておくこと。 ・シラバスに目を通し、授業の概要・目的・計画などを確認しておく。 ・各回の配布資料に予め目を通して、内容の確認をしておく。 ・各回で取り扱っているテーマやテキストについて、わかりにくいものがあれば (参考書なども活用して)、調査しておく。
事後学修	・各回の授業内容をノートに整理し、改めて配布資料の該当箇所を読んでおくこと。 ・取り扱ったテーマについて、特に興味を持った点を自分で追加調査なども行い、まとめておく。 ・不明の点がある場合は、自分で予め調査を行った上で、メールで質問すること。

#### ・対面授業

1回目	授業内容	「作者」と「語り手」との関係、「語り手」と「(語りの) 視点」の問題、「語りの人称 (一人称語り・三人称語りなど)」などについて講義する。
	事前学修	・今回の配布資料に予め目を通して、内容の確認をしておく。 ・授業で取り扱っているテーマやテキストについて、わかりにくいものがあれば (参考書なども活用して)、調査しておく。
	事後学修	・授業内容をノートに整理し、改めて配布資料の該当箇所を読んでおくこと。 ・取り扱ったテーマについて、特に興味を持った点を自分で追加調査なども行い、まとめておく。 ・不明の点がある場合は、自分で予め調査を行った上で質問すること。
2回目	授業内容	語りの文章形式 (地の文・会話文・心内文) や話法 (直接話法・間接話法) の問題、語りの視点の移動 (没入する視点・後退する視点) や、語りの速度 (省略された語り・詳細な語り) などについて講義する。
	事前学修	・今回の配布資料に予め目を通して、内容の確認をしておく。 ・授業で取り扱っているテーマやテキストについて、わかりにくいものがあれば (参考書なども活用して)、調査しておく。
	事後学修	・授業内容をノートに整理し、改めて配布資料の該当箇所を読んでおくこと。 ・取り扱ったテーマについて、特に興味を持った点を自分で追加調査なども行い、まとめておく。 ・不明の点がある場合は、自分で予め調査を行った上で質問すること。
3回目	授業内容	「読者」と「話型」「引用」「コード」との関係、およびテキスト論の問題点などについて講義する。
	事前学修	・今回の配布資料に予め目を通して、内容の確認をしておく。 ・授業で取り扱っているテーマやテキストについて、わかりにくいものがあれば (参考書なども活用して)、調査しておく。
	事後学修	・授業内容をノートに整理し、改めて配布資料の該当箇所を読んでおくこと。 ・取り扱ったテーマについて、特に興味を持った点を自分で追加調査なども行い、まとめておく。 ・不明の点がある場合は、自分で予め調査を行った上で質問すること。
4回目	授業内容	テキストの改定・改作、模倣・盗作の問題と著作権との関わりなどについて講義する。
	事前学修	・今回の配布資料に予め目を通して、内容の確認をしておく。 ・授業で取り扱っているテーマやテキストについて、わかりにくいものがあれば (参考書なども活用して)、調査しておく。
	事後学修	・授業内容をノートに整理し、改めて配布資料の該当箇所を読んでおくこと。 ・取り扱ったテーマについて、特に興味を持った点を自分で追加調査なども行い、まとめておく。 ・不明の点がある場合は、自分で予め調査を行った上で質問すること。

5回目	授業内容	「ジャンル」と物語の構造との関係や、「文学研究」の対象などについて講義する。
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の配布資料に予め目を通して、内容の確認しておく。</li> <li>・ 授業で取り扱っているテーマやテキストについて、わかりにくいものがあれば（参考書なども活用して）、調査しておく。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内容をノートに整理し、改めて配布資料の該当箇所を読んでおくこと。</li> <li>・ 取り扱ったテーマについて、特に興味を持った点を自分で追加調査などを行い、まとめておく。</li> <li>・ 不明の点がある場合は、自分で予め調査を行った上で質問すること。</li> </ul>
6回目	授業内容	「文学史」のテキスト解釈への影響の問題（「正典化」など）などについて講義し、授業の総括を行う。
	事前学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の配布資料に予め目を通して、内容の確認しておく。</li> <li>・ 授業で取り扱っているテーマやテキストについて、わかりにくいものがあれば（参考書なども活用して）、調査しておく。</li> </ul>
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内容をノートに整理し、改めて配布資料全体を読んでおくこと。</li> <li>・ 不明の点がある場合は、自分で予め調査を行った上で質問すること。</li> <li>・ 参考文献として紹介している文献などを参照して、文学理論に対する理解をより深めてみる。また、授業中に他の文献についても紹介する予定。</li> </ul>

# 講座内容（シラバス）

## 〔英米文学演習Ⅰ～Ⅲ〕

小田井 勝彦

◆**授業概要** 文学作品を鑑賞する、そして分析して論じるにはどうしたらよいのだろうか。この授業では、20世紀を代表するジョージ・ジョイスの短編小説集『ダブリン人』を精読することを通じて、文学作品に対するアプローチの仕方を学び、文学作品で卒業論文を作成する上での基礎を学びます。そして作品を通じて英米文化の理解、現代社会の諸問題について考えます。担当教員は翻訳実務の経験があり、解釈の仕方なども講義します。

◆**学修到達目標** ・英語で書かれた文学作品について、英語のニュアンスをくみ取り、作品を正しく理解する。

- ・文学作品を鑑賞、論じる上でどのような点に注目すべきかを理解する。
- ・英米文化についてより深く知る。
- ・現代社会の諸問題について考察する。

### ◆授業方法

#### ・オンデマンド

文学の解釈の仕方、作家、作品についての講義動画を視聴します。その後それを参考に作品の読解を各自を進め、作品の語彙と内容に関するオンデマンド課題を提出します。

#### ・対面授業

作品を丁寧に精読していきます。作品の細部に関して質疑応答をすることで、一緒に作品の解釈を試みていきます。学生の積極的な発言を求めます。授業後、授業内容を踏まえてレポートを作成していただきます。

◆**履修条件** なし

◆**教科書** 〔丸〕 *Dubliners* James Joyce, Penguin Classic, 2000

◆**参考書** 〔丸〕 学習用英和辞典

◆**成績評価基準** オンデマンド課題（30%）、授業での貢献度（40%）、レポート（30%）です。オンデマンド課題、レポートはすべて提出、対面授業はすべて出席が原則です。

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

### ◆授業計画〔各 90 分〕

#### ・オンデマンド

授業内容	文学作品の解釈の仕方、作家ジェームズ・ジョイスについて、作品 <i>Dubliners</i> についての動画（各 30 分）を視聴します。その後各自作品を読んで下さい。 今回のスクーリングは“Araby” “The Boarding House” “A Painful Case” の3作品を扱います。
事前学修	ジェームズ・ジョイスに関する情報を収集し、イメージを作る。
事後学修	オンデマンド課題の解答を作成し、提出する。

#### ・対面授業

1回目	授業内容	Araby 前半を精読します。各段落の内容を振り返り、学生の皆さんと一緒に考えながら解釈を試みていきます。各自で読んでみてわからなかった箇所等は質問に答えます。
	事前学修	Araby 前半を読み、授業で質問できるようわからない箇所などを整理する。
	事後学修	Araby 前半について授業で話し合ったことを振り返り、自分なりの考えを作り、レポート作成に備えます。
2回目	授業内容	Araby 後半を精読します。各段落の内容を振り返り、学生の皆さんと一緒に考えながら解釈を試みていきます。各自で読んでみてわからなかった箇所等は質問に答えます。
	事前学修	Araby 後半を読み、授業で質問できるようわからない箇所などを整理する。
	事後学修	Araby 全体について授業で話し合ったことを振り返り、自分なりの考えを作り、レポート作成に備えます。
3回目	授業内容	The Boarding House 前半を精読します。各段落の内容を振り返り、学生の皆さんと一緒に考えながら解釈を試みていきます。各自で読んでみてわからなかった箇所等は質問に答えます。
	事前学修	The Boarding House 前半を読み、授業で質問できるようわからない箇所などを整理する。
	事後学修	The Boarding House 前半について授業で話し合ったことを振り返り、自分なりの考えを作り、レポート作成に備えます。
4回目	授業内容	The Boarding House 後半を精読します。各段落の内容を振り返り、学生の皆さんと一緒に考えながら解釈を試みていきます。各自で読んでみてわからなかった箇所等は質問に答えます。
	事前学修	The Boarding House 後半を読み、授業で質問できるようわからない箇所などを整理する。
	事後学修	The Boarding House 全体について授業で話し合ったことを振り返り、自分なりの考えを作り、レポート作成に備えます。
5回目	授業内容	A Painful Case 前半を精読します。各段落の内容を振り返り、学生の皆さんと一緒に考えながら解釈を試みていきます。各自で読んでみてわからなかった箇所等は質問に答えます。
	事前学修	A Painful Case 前半を読み、授業で質問できるようわからない箇所などを整理する。
	事後学修	A Painful Case 前半について授業で話し合ったことを振り返り、自分なりの考えを作り、レポート作成に備えます。
6回目	授業内容	A Painful Case 後半を精読します。各段落の内容を振り返り、学生の皆さんと一緒に考えながら解釈を試みていきます。各自で読んでみてわからなかった箇所等は質問に答えます。また、最終日ですのでこれまでの授業を振り返ります。
	事前学修	A Painful Case 後半を読み、授業で質問できるようわからない箇所などを整理する。
	事後学修	3作品すべてを振り返り、レポートを作成する。



# 講座内容（シラバス）

## 〔日本経済史〕

飯島 正義

- ◆**授業概要** 1900年代初頭の日本資本主義の確立から第2次世界大戦までの日本経済を構造的な視点から見ていきます。確立期の日本資本主義の構造的特徴を理解し、その後の経済発展によりそれがどのようになっていったのか、戦時経済体制の構築にあたってどのような問題を惹起したのか、さらに戦争経済力にどのような影響をもたらしたのかを学んでいきます。
- ◆**学修到達目標** 1900年代初頭の日本資本主義の確立期から第2次世界大戦までの日本経済の構造的特徴とその構造的特徴がその後の日本経済にどのような影響をもたらしたのかを説明できるようになる。
- ◆**授業方法**
  - ・オンデマンド  
授業資料（PDF）はClassroomで配布します。1回の授業で授業動画を2本配信し、視聴していただく予定ですが、ZOOMが使用可能な場合にはそれも組み合わせたいと考えています。その場合には、改めてClassroomで連絡します。また、授業内容の理解を確認するために「確認問題」を授業資料に添付しています。確認問題の解答は期限内に提出してください（遅延は不可、解答の提出は出席を兼ねます）。確認問題の解答と解説は次回の授業の中で行います。授業内容等の質問は、GmailあるいはClassroomで受け付けます。
  - ・対面授業  
授業は対面授業1日目に6日目までの授業資料を配布し、それを使用して進めていきます。授業内で「確認問題」をやっていたら、解答と解説を行います。また、授業内容等の質問も授業内で行います。
- ◆**履修条件** 令和2年度夏期スクーリング「日本経済史」との積み重ね不可
- ◆**教科書** 資料配布（Classroom） 授業資料はClassroomで配布します。
- ◆**参考書** 丸沼『概説日本経済史 近現代 第3版』三和良一 東京大学出版会 2012年
- ◆**成績評価基準** 授業資料の確認問題の解答提出（30%）と最終試験（70%）で総合的に評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）**：ecma90182@g.nihon-u.ac.jp
- ◆**授業計画〔各90分〕**
  - ・オンデマンド

授業内容	オンデマンド授業では、以下の内容について学んでいきます。 1. 日本の産業革命—産業の発展 2. 確立期日本資本主義の特徴 3. 日清・日露の戦後経営と日本経済 4. 日本の財閥 5. 第1次世界大戦と日本経済
事前学修	まず、オンデマンド授業、対面授業のシラバスを読み、全体の授業内容を確認してください。次に、Classroomで配布された授業資料をよく読むとともに、参考文献等で関係するところを予め読んで理解を深めておいてください。
事後学修	確立期の日本資本主義の構造的特徴と日清・日露の戦後経営から第1次世界大戦までの日本経済について整理し、まとめておいてください。

### ・対面授業

1回目	授業内容	・オンデマンド授業内容の復習と確認 ・重化学工業の発展
	事前学修	まず、これまでのオンライン授業の内容を再度確認してください。次に、今回の授業内容に関係するところを参考文献等で読んで、理解を深めておいてください。
	事後学修	日露戦後からの重化学工業の発展について整理し、まとめておいてください。
2回目	授業内容	・第1次世界大戦後の日本経済の変化—労使関係の変化と地主制の後退 ・1920年代の日本経済
	事前学修	前回の授業資料と今回の授業資料を読むとともに、参考文献等で関係するところを読み、理解を深めておいてください。
	事後学修	第1次世界大戦後の日本経済の変化と1920年代の日本経済についてまとめておくこと。
3回目	授業内容	・井上財政と金解禁 ・昭和恐慌と高橋財政
	事前学修	前回の授業資料と今回の授業資料を読むとともに、参考文献等で関係するところを読み、理解を深めておいてください。
	事後学修	金解禁と昭和恐慌、高橋財政について整理し、まとめておいてください。
4回目	授業内容	・戦時経済体制の構築 ・統制経済の再編・強化
	事前学修	前回の授業資料と今回の授業資料を読むとともに、参考文献等で関係するところを読み、理解を深めておいてください。
	事後学修	戦時経済体制を構築する上での課題、戦時経済体制の構築・再編・強化の過程についてまとめておいてください。
5回目	授業内容	・戦争経済力の崩壊 ・戦時経済体制の帰結
	事前学修	前回の授業資料と今回の授業資料を読むとともに、参考文献等で関係するところを読み、理解を深めておいてください。
	事後学修	戦時経済体制の帰結（結果）について整理し、まとめておいてください。
6回目	授業内容	総まとめと試験
	事前学修	オンデマンド授業も含め、これまでの授業資料を読み返し、日清・日露の時期から第2次世界大戦までの日本経済の全体の流れとポイントを確認しておく。
	事後学修	設題に対する記述内容が重要事項を落とさずに、また論理的に記述することができたかどうかを確認する。